

エディション・シナプス & ユーリカ・プレス

# 英国文化・ 文学・歴史・ 日英交流史研究



洋書学術史資料

新刊書案内 & 全在庫タイトルリスト

Primary English Sources

British Culture - Literature - History

New Titles & Stock List



Edition Synapse / Eureka Press

# CONTENTS

## 英国のジャポニスム：

ヴィクトリア朝・エドワード朝期雑誌・新聞記事集成	3
ウィリアム・モリスの芸術と社会主義運動：	
同時代パンフレット復刻集成	4
アーサー王伝説 - 19世紀初期物語集成 -	5
マティルド夫人(初代イタリア公使夫人)の日本内地紀行	6
西洋人女性の明治日本記：英文書誌事典	8
19世紀アイルランド旅行ガイドコレクション	9
ミンストレルショーと音楽	10
アメリカ黒人霊歌	11
万国風刺漫画大全	12
シリーズ 英国シェイクスピア俳優と上演史	14
トマス・パウドラー編	
19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集	15
マリオ・ブラーツ編 文学、歴史、芸術の饗宴	16
ボズウェル著 ジョンソン伝【初版】	17
ドライデン、トンソン編 英国 17-18世紀詞華集	18
18世紀英国の風刺作品に描かれた日本	19
日英交流史近世書誌年表	20
日本関連英語文献書誌 1555-1800	20
英国女性の初期旅行記：ロマン主義時代の記録	21
ポケット版 18世紀英国旅行便覧	22
スコットランドの旅	
18-19世紀旅行記・案内書コレクション復刻集成	23
ウェールズへの旅：英国 18-19世紀紀行記・案内書復刻集成	24
英国湖水地方への旅：18-19世紀旅行記・案内書コレクション	25
19世紀初頭ロンドン・イギリス漫遊探訪記	26
スタンリー・ウェルズ編・解説	
19世紀のシェイクスピア・バーレスク集成	26
スモレット編 世界の旅行記	27
ジョサイア・コンダー編 世界旅行者大全	28
英領インド人の旅した世界	30
ワールド・イン・ミニチュア：	
日本・中国・東南アジア・南洋諸島	32
写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園	34
『ロイタラー』1789-1790	35
ボーイズ・オウン・ペーパー 1879-1882年	36
プリンセス・ノヴェレット	37
ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生	38
アーサー・ミー編集 イギリス児童大百科	40
女性のための医学読本：	
ヴィクトリア期から20世紀初頭の英米文献集成	41
帝国史のなかの子ども	41
女子学園小説：18～20世紀初頭英語圏作品復刻集成	42
ヴィクトリア朝セレブリティ大事典	43
子どものためのチャップブック	43
女性フェアリー・テイル作家復刻選集	44
ロバート・チェンバース編著	
スコットランド歌謡・バラッド・伝承詩集成	45
チェンバース編 インフォメーション・フォー・ザ・ピープル	45
19世紀英国家庭と子どものための職業読本	46
エイダ・バリン著作集	47

シリーズ 子どもの文化史：英国 16-18世紀文献集成	48
マザーグース初期英米選集コレクション	50
英国妖精文学：	
19世紀文献集成シリーズ 第2集：物語集 第1期	50
スピリチュアリズムと近代社会：	
英米スピリチュアリスト文献集成	51
ファン誌選集コレクション	52
英国近代郵便の成立：19世紀文献集成	53
イングランドの地方都市：	
ヴィクトリア期・エドワード期のガイドブックコレクション	54
英国芸術家列伝	56
ヴィクトリア朝 産業デザイン・技術教育百科	57
ヴィクトリア朝の生活と芸術	58
ヴィクトリア期女性の「美とファッション」	59
ジェームズ・ロード・ボウス日本美術工芸関連著作集成	60
日英博覧会(1910年)：公式史料と関連文献集成	61
1862年国際博覧(第2回ロンドン万国博覧会)資料総覧	61
広告とモダン・アート	62
ナショナル・トラスト創設関連文献復刻集成	63
フェミニズムとキリスト教信仰	64
20世紀初頭の反フェミニズム文献	65
フリー・ウーマン	65
アイルランドのフェミニズム	66
メアリー・ヘイズ編著 英国・ヨーロッパ女性伝記大事典	67
オシアン協会会報 1853-1858	68
ガヴァネス・ノヴェルズ	69
ウィリアム・ホーン『英国歳時暦』	70
英国モダニズム文学に描かれた女性参政権	70
英語教育(ELT)と英語音声学	70
坂本達哉英文著作集	71
経済学史研究と日本	
田中敏弘(関西学院大学名誉教授)英文論文集	72
名古屋大学附属図書館蔵『水田文庫貴重書目録』	73
校訂版 W・スタンレー・ジェヴォンズ選集	74
J・S・ミル フランス日記 1820年5月～1821年7月	76
マルサス人口論の源泉：17-18世紀文献復刻集成	77
幕末・明治初期邦訳経済学書	77
シリーズ 西洋女性宣教師の語った日本	78



# 英国のジャポニズム 新刊

ヴィクトリア朝・エドワード朝期雑誌・新聞記事集成 全 3 巻+別冊日本語解説

Japonisme in Britain, Selected Articles from British Periodicals, 1825-1911

編集・解説 ■ 小野文子 (信州大学准教授)

前文 ■ マーガレット・F・マクドナルド (グラスゴー大学名誉教授)

2022 年 1 月刊行 A4 判・全約 850 頁 (図版多数) 限定 100 部

本体セット価 ¥98,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-224-9



←収録文献の詳細はこちら  
からご覧いただけます。

- 日本美術・工芸品の人気の高まるヴィクトリア朝の前期から、日英博覧会が開催されエドワード朝が終わりを迎える 20 世紀初頭に、英国の定期刊行物に発表された日本芸術・美術工芸・建築に関する文献約 150 点を復刻集成する資料コレクション。
- シリーズ第 1 回配本 (英文単行本集成) に収録した、オルコック、ジャーヴス、アンダーソン、ヒュイッシュら英語圏ジャポニズムの立役者や、リバティー、ピニョン、フライ等この時代の著名文化人が主要美術雑誌に執筆した記事をはじめ、評論誌、文芸誌に掲載された評論や書評などを 25 タイトル以上の雑誌、新聞から選書。また、専門家の論評だけでなく、ロンドン万国博覧会やジャポニズム期の日本美術展についての多くの無署名記事等も加え、英国での日本美術・工芸の初期受容史を、同時代の多様な文献で通観することを可能にする。
- ホイッスラー研究の第一人者マーガレット・F・マクドナルド氏の前文および编者 (Routledge 刊 *Japonisme in Britain - Whistler, Menpes, Henry, Hornel and Nineteenth-century Japan* の著者) による解説 (英語および日本語) を含み、ジャポニズム研究のみならず、広く英国での日本文化受容史研究・教育用の資料として貴重な資料集。



FROM A MODERN JAPANESE CARVING

## 推薦文 馬淵明子 (ジャポニズム学会顧問・日本女子大学名誉教授)

このたび、『英国のジャポニズム—ヴィクトリア朝・エドワード朝雑誌・新聞記事集成』が刊行の運びとなった。言うまでもなく、19 世紀の英国は、中国をはじめとするアジアへの経済的・外交的な高い関心のもとに、多くの人材を派遣し、情報収集に努めた。日本の鎖国政策はそうした英国の姿勢に対して長い間高い壁であり続けたのだが、彼らは開国前後には他の西欧諸国に先んじていち早く多くの情報を得、またその分析に取り組んでいる。今回刊行される論文や記事は、日本では入手できにくい雑誌や新聞を含み、日本の開国前後から日英博覧会が行われた 1910 年頃までをターゲットに、長い期間の英国の日本文化、日本美術観を読み解くための、極めて有効な試みと言えよう。

日本の文物が流入して、いち早くジャポニズムを展開したのも英国はフランスと並んで最も早い国の一つだった。外交官や旅行者として来日し、質の高いコレクションを形成した人々のみならず、お雇いとして日本に生活の拠点をもち本格的に日本美術を学んだアンダーソンのような人物もいて、いっぽう美術家たちはその強い好奇心から新しい造形原理をかぎつけた。

このシリーズで、英国の人々が日本と日本美術に何を見、どんなジャポニズムを生み出したのか、さらに研究が深まることを期待する。そしてこれだけの貴重な資料を惜しみなく提供して下さった小野文子氏に心から感謝したい。



TEMPLE, &c., AT THE JAPANESE VILLAGE.

# ウィリアム・モリスの芸術と社会主義運動 同時代パンフレット復刻集成 全3巻+別冊解説

## William Morris, Art and Socialist Movements: A Collection of Contemporary Pamphlets

【編集・解説】川端康雄（日本女子大学教授）

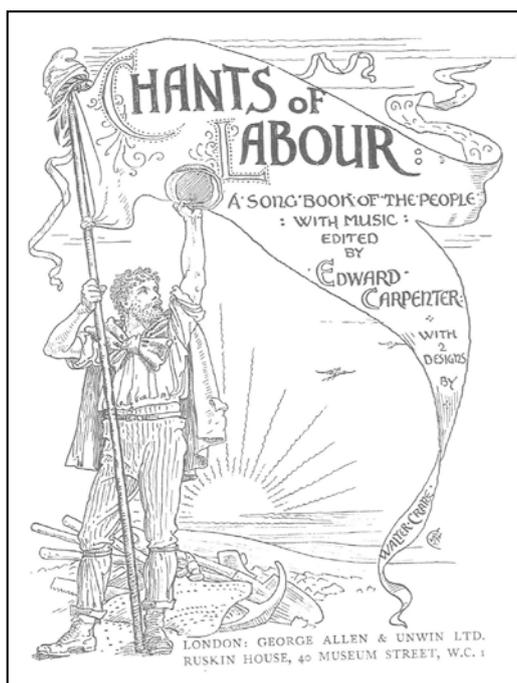
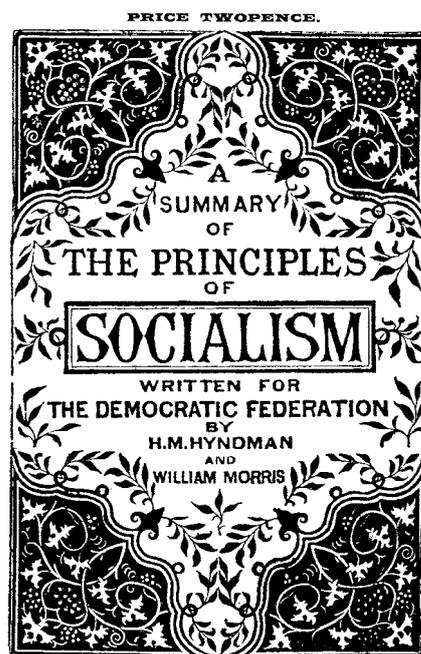
2019年9月刊行 A5判・全約1,250頁

本体セット価：¥98,000-（+税）※限定100部 ISBN: 978-4-86166-210-2

ヴィクトリア朝時代英国を代表する文筆・芸術家であるウィリアム・モリスの文学創作や装飾芸術作品の制作が、彼の社会主義思想と深く関わるものであることはつとに知られています。実際、彼の著作の多くはその活動の拠点となった Socialist League（社会主義同盟）の機関紙やパンフレットなどに当初発表されています。本集は、モリスが所属したこの同盟の公式パンフレットを中心にその周辺で刊行された様々な小冊子類47点をまとめる復刻資料集です。

第1巻には社会主義同盟の2つのパンフレットシリーズ全点とこの同盟の報告書等の史料類、第2巻は、モリスおよび彼の盟友たちが発表した社会主義に関する小冊子や、モリス自身も編集に加わった労働歌集など、そして第3巻にはモリスが行った社会主義と芸術に関する講演録を収録。

ウォルター・クレインによる挿画入りの冊子やモリス自身がデザインした活字体（ゴールデン・タイプ）によって印刷されたものなど、初出時の版面をできる限り再現し、モリスの思想と芸術の神髄の視覚的な研究や教育の手助けとなるよう編集されています。編者による書下ろし解説（日本語）付きです。



### CONTENTS

#### Volume 1

- I. *Socialist Pamphlets Series*
- II. Miscellaneous Documents related to the Foundation of the Socialist League
- III. *Socialist Platform Series*

#### Volume 2

- IV. Miscellaneous Pamphlets on Socialism
- V. Songs for Socialists

#### Volume 3

- VI. Art and Socialism

# アーサー王伝説 – 19世紀初期物語集成 –

## 全7巻+別冊日本語解説

### The Morte Darthur: A Collection of Early-Nineteenth-Century Editions

【解説】不破有理（慶應義塾大学）

2017年2月刊行 B6判 & B5判・総約3,250頁 本体セット価 ¥168,000- (+税) ISBN 978-4-902454-41-3

#### 本書の特色

- キーツ、ワーズース、テニソンなどロマン派の詩人やウィリアム・モリスやエドワード・バーン＝ジョーンズなどラファエロ前派の作家たちが親しみ、創作の源とした十九世紀版マス・マロリー『アーサー王の死』のテキスト。ロバート・サウジーの大型判を含む3種の異版をファクシミリで復刻。
- 監修者による詳細な書誌解題（英文&和文）付き。

#### 【収録文献】

第1-2巻：(約1,010頁) [1816年ポケット版①]

\* 原本を約140%拡大B6判にて復刻。

*THE HISTORY OF THE RENOWNED PRINCE ARTHUR, KING OF BRITAIN;...*

LONDON: Printed for Walker and Edwards... 1816.

第3-5巻：(約1,200頁) [1816年ポケット版②]

\* 原本を約140%拡大B6判にて復刻。

*LA MORT D'ARTHUR. ....*, London. Printed & Published by R. Wilks, 1816.

第6-7巻：(約995頁) [1817年大型版] (原寸B5判変形)

*THE BYRTH, LYF, AND ACTES OF KYNG ARTHUR; ...*,

LONDON: Printed from Caxton's Edition, 1485, FOR LONGMAN, ... 1817.



#### ■ 1816年版と1817年版の『アーサーの死』 ■

不破有理

Sir Thomas Malory のテキスト刊行の歴史は改変の歴史といつてよい。改変とは写本から活字への段階における読み違いを含めた誤り、William Caxton をその嚆矢として出版・編集人のテキストへの介入、また活字から活字への段階におけるミスプリントのレベルから、編集者の宗教上道徳上の理由から行う意図的な改変にいたるまで、種々諸々の差異がテキスト間には存在する。1816年に二社から刊行された Walker 版と R. Wilks 版および1817年の Southey 版は現在、ほとんど入手不可能な上、仮にまれに古書市場に登場しても法外な値段がつく。また当時の書籍に含まれていた口絵や広告文などは多くの所有者の手を経る過程で、装丁の際に喪失してしまう場合がほとんどである。今回の復刻シリーズでは原テキストに含まれていた資料を可能な限りすべて復刻するという、きわめて贅沢かつ資料性の高い企画である。出版当時の口絵、読者への広告文など、一般読者への出版事業が本格化する19世紀の出版の歴史や読者論的な観点からもきわめて貴重な資料になることは疑いれない。19世紀の中世復興およびアーサー王伝説に復活の息吹を吹き込んだマロリーのテキスト3種類をぜひ堪能していただきたいと願っている。

THE  
BYRTH, LYF, AND ACTES  
OF  
KYNG ARTHUR;  
OF HIS NOBLE KNYGHTES OF THE ROUNDE TABLE,  
THEYR MERVYLLIOUS ENQUESTES AND AVENTURES,  
Chachyng of the Sanc Graal;  
AND IN THE END  
LE MORTE DARTHUR,  
WITH THE DOLOUROUS DETH AND DEPARTYNG OUT OF THIS WORLDE  
OF THEM AL.  
WITH AN  
INTRODUCTION AND NOTES,  
BY ROBERT SOUTHEY, ESQ.  
VOL. II.



LONDON:  
Printed from Caxton's Edition, 1485,  
FOR LONGMAN, HURST, REES, ORME, AND BROWN, PATERNOSTER-ROW.  
BY THOMAS DAVISON, WHITEFRIARS.  
1817.

# マティルド夫人（初代イタリア公使夫人） の日本内地紀行 全2巻

## The Travel Journals of Mathilde, Contessa Sallier de La Tour into the Interior of Japan, 1867-1870 including Letters, Notes and Sketches

編集・解説：Giulio Antonio BERTELLI（ベルテッリ ジュリオ アントニオ 大阪大学言語文化研究科）

2021年1月刊行 クロス装 B5判・総約610頁（全2巻）＊図版多数（一部カラー）含む

本体セット価：¥78,000（＋税）＊限定100部出版 ISBN：978-4-86166-223-2

### イザベラ・バードの約10年前、明治2年に西洋人女性として初めて日本内地を旅し記録した、マティルド夫人の手稿の待望の公刊。

- 旅の日記に加え、スケッチブックや書簡、横浜・江戸での生活記など、6つの文書（ド・ラ・トゥール家に残るマティルド夫人の日本関連文書全点）のフランス語翻刻とその英訳に、2か国語の解説、解題、註を加えた学究版。多数の図版入り。
- 戊辰戦争終結直後、いまだ大きな危険が伴う居留地外への初の外国視察団だったイタリア養蚕地視察団に同行し、数年後（明治5年）に富岡製糸場が設立される地域を含む関東北部養蚕業の中心地（上尾、前橋、渋川、大宮、八王子、町田等）を20日かけて旅した日記。各地の人々の生活、風俗の克明な記録と旅行中に描いたスケッチを含む。
- 併録される居留地のノートは、イタリア公使館の整備に奔走する夫人の日常、英国公使パークス一家やフランス公使ロッシュをはじめとする横浜の要人との交流など、開国期の外交官の生活や幕末・維新史の裏側を語る貴重な情報源。
- また、イタリアの家族、友人に宛てた、日本へ向かう船旅や日本・中国滞在中の本音を吐露する書簡や、明治2～3年の大阪、神戸、瀬戸内海、長崎から上海、廈門、香港への旅を中心とした旅行記も収録。
- 本資料がイタリアで発見された後、2017年には研究者間だけでなく日本の新聞紙上でも話題となったが、私文書の上、判読の非常に難しいフランス語手稿であったため、その詳細を知ることは困難であった。本書は長年にわたる編者の原資料の解説、調査、研究をまとめ公刊するもので、幕末・明治期の西洋と日本の研究に新たな一石を投じる画期的出版。

#### Chapter 2: Notes about Yokohama and Edo (1867)

the joists decorated with dragons painted in red, and the pious Japanese that we had seen taking his shower [at the waterfall] legitimately came to bow down on the steps and with a bang struck the bell of the heavy cord that was dragging down on the ground. Do not forget the beautiful green trees which stand out against the blue sky and frame the red-painted temple, with a black and white roof gilded and decorated with different bronzes, flowers and fantastic figures; and the statues which are in front on sentry duty, and the silence, and the murmur of the waterfall, and you will admit that it is a really beautiful scene.

Here is another excursion of a different kind, which deserves to be pointed out. The Baron von Brandt<sup>85</sup>, the Prussian chargé d'affaires, invited us to come to dine or have lunch at Oggi [sic]<sup>86</sup>, a tea house in the surroundings of Yeddo. We were 6 people going there.

"Tea house" is the usual name for anything that falls into the category of restaurants, cafes, or hotels. The one we went to was renowned as the Ledoyen<sup>87</sup> of the Capital, two hours from the Legations district and in the middle of the countryside. The site was, as always, well chosen, on the edge of a small river, a waterfall, a thicket of trees and the house in the middle.

フランス語手稿の翻刻と英訳、序文、各文書の解説、注釈などすべて英仏二か国語にて記載しています。

que leur chat se penche sur les jalousies et se met à miauler.  
[ic] comme des petits chats, qui ont commencé à se mettre à 6 autour de  
les broderies de geai<sup>91</sup> de mon jupon qui a fait l'objet de leur admiration.

August Scipio Von Brandt (1835-1920) était un diplomate allemand qui est  
okohama en 1862, et de 1872 à 1875, il a été ministre plénipotentiaire résidant  
plié de nombreux ouvrages sur le Japon, la Chine et l'Asie orientale. Voir:

est également écrit en diagonale sur le côté gauche de la page. L'endroit que  
est probablement la célèbre maison de thé Ōgi-ya (扇屋) à Ōji (王子), un  
ans la partie nord de Tokyo, face au Sumidagawa. Cette maison de thé a été  
on activité se poursuit aujourd'hui sous le même nom comme magasin de plats  
dans l'atsuyaki-tamago (厚焼き卵 - une sorte d'omelette aux œufs mous).  
oyen est un célèbre et ancien restaurant parisien, ouvert en 1779, et, à partir  
ns les jardins des Champs-Élysées (son emplacement actuel).

tre parenthèses carrées sont restés vides: Mathilde avait probablement  
re la taille moyenne d'un tatami (environ 1800x900 mm).  
appelle sudare (簾) en japonais.

<sup>90</sup> Ce mot se réfère à la ozen (お膳), c'est-à-dire un plateau avec des pieds, semblable à une petite table traditionnellement utilisée au Japon pour servir la nourriture.

<sup>91</sup> Il s'agit d'oiseaux européens à plumes bleues, de la famille des corbeaux.

プロイセン代理公使フォン・ブランドと王子の扇屋で日本料理を会食した際の日誌

## CONTENTS

### Volume 1: [手稿フランス語翻刻および解説、写真、スケッチ]

Transcriptions of Mathilde's Manuscripts in French & Sketchbook

Images and Photographs & Manuscripts

Preface & General Introduction (in French)

Acknowledgements & Editorial Notes (in French)

Part I: Le cahier de croquis de Mathilde / Mathilde's Sketchbook (1869)

Part II: Transcriptions of Mathilde's Notes, Letters and Travel Journals

Chapitre 1: Le voyage jusqu'au Japon - Égypte et Asie (avril-juin 1867)

Chapitre 2: Notes à propos de Yokohama et Edo (1867)

Chapitre 3: Cinq lettres envoyées du Japon et de la Chine (1867-70)

Chapitre 4: Une expedition dans l'intérieur du Japon (8-28 juin 1869)

Chapitre 5: Le voyage dans la mer intérieure du Japon et en Chine (1869-70)

### Volume 2: [手稿英訳および解説、参考文献、索引]

English Translations of Mathilde's Writings

Preface & General Introduction (in English)

Acknowledgements & Editorial Notes (in English)

Part III: Translations of Mathilde's Notes, Letters and Travel Journals

Chapter 1: The Journey to Japan - Egypt and Asia (April-June 1867)

Chapter 2: Notes about Yokohama and Edo (1867)

Chapter 3: Five Letters sent from Japan and China (1867-70)

Chapter 4: An Expedition into the Interior of Japan (June 8th-28th, 1869)

Chapter 5: A Journey in the Inland Sea of Japan and China (1869-70)

References & Index

#### ●本書に登場する主な人物●

L・ロッシュ、H・パークス夫妻、M・フォン・ブラント、J・ブリュネ、イタリア王妃マルゲリータ、F・デ・レセップス、ホッグ兄弟、クレッサー夫妻、明治天皇、徳川慶喜、瀧善三郎、寺島宗則、榎本武揚など

11- page 20 / page 21 (Sketch 13)



F: Le croquis 13 représente une traversée aventureuse de la rivière Tone, telle qu'elle est décrite dans le journal. En bas à droite de la page 21, il y a une petite inscription en italien: "Tonengawa 13 giu." (Tonengawa, 13 juin).

E: Sketch 13 depicts an adventurous crossing of the Tone river, as it is described in the journal. On the lower right side of page 21 there is a small inscription in Italian: "Tonengawa 13 giu." (Tonengawa, June 13th).

12- page 22 / page 23 (Sketches 14 & 15)



F: Les croquis 14 et 15 illustrent quelques figures japonaises: des femmes portant des enfants, un groupe de curieux ou une famille, des hommes et des femmes assis, etc...

E: Sketches 14 and 15 depict some Japanese people: women carrying children, a group of curious people or a family, men and women sitting, and so on.

## 編者からの言葉

バルテッリ ジュリオ アントニオ  
(大阪大学言語文化研究科准教授)

本書にて初めて全文翻刻、英訳とともに公刊される初代イタリア公使夫人マティルドの手稿一式は、西洋人女性の観点から明治維新前後の日本を注意深く観察する傍ら、未知なる日本の内地を旅する女性の記録として最も早いものである上に、多彩な魅力を秘める貴重な一次資料であると言える。

第一に、新鮮味がある。1880年に刊行物として公開されたイサベラ・バードの『日本奥地紀行』と異なり、マティルドの史料は全て家族や友人に宛てた生の私文書であるため、刊行物に必要な文体の整理や修正が行われておらず、自己検閲の影響も受けていないため、150年前に彼女の心を揺さぶったあらゆる感情はありのままに、現在を生きる我々にも新鮮に伝わる。

第二に、鋭い観察力に満ちた描写とユーモラスな逸話のバランスは絶妙である。マティルドは長期滞在者かつ外交官の妻であったため、彼女の日本とその文化に対する好奇心と理解力は特に深く、広範囲にわたる。彼女は日本の自然、美術、政治、歴史、日本人の文化、生活様式、美的感覚、外国人に対する接し方等に注目しながら、時折ユーモアと皮肉に満ちた逸話や刺のあるコメントで読者を驚愕させ、退屈させない。

総じて、繊細な心の持ち主であるマティルドと極度に刺激的な環境である日本との出会いは非常に興味深い成果をもたらしたと言える。そしてこの成果を公開しようという忘れられたマティルドの夢は150年の年月を経て、ついに実現した。

日本内地旅行中のスケッチブック（縮小掲載）。彩色された1点を除き42点の素描は鉛筆によるもので識別が難しいものがありますが、解説（二か国語）により、本文日誌と相互参照が可能になっています。

# 西洋人女性の明治日本記 英文書誌事典 全1巻

## Meiji Japan as Western Women Saw It A Bibliographic Companion

【編・著】 Ronald D. Klein / ロナルド・クライン (元広島女学院大学教授)

2016年10月刊行 B5判 クロス装 | 約345頁 (カラー図版・白黒写真入り)

本体価¥34,800 (+税) | ISBN: 978-4-902454-93-2 [Series: *Victorian Lady Travellers in Asia*]



Isabella Bird

- 明治日本を著した西洋人女性約200名の詳しい人物情報と主著600点の解題、さらに雑誌記事や二次文献も含めた1,200件近い書誌情報をまとめた初の本格的英文書誌。
- 著者を①旅行者、②キリスト教宣教師、③日本滞在者、④小説家に分類し、各項目にはその分野での西洋と日本との接触・関係史を詳説する序文が書き下ろされ、さらに原書カバーや挿絵のカラー図版や著者の肖像写真など視覚資料も掲載。

### CONTENTS

Book Covers and Illustrations

General Introduction

#### Chapter I: Tourists and Travelers

[Travel Writers 40 / Annotations 45 / Bibliography 109]

Portraits of Women Travelers

Introduction

1. Victorian Women Travelers
2. Women Tourists and Travelers to Japan
3. Guide Books for Tourists
4. Varieties of Women Tourists and Travelers to Japan
5. Conclusion

Key Works by Women Tourists and Travelers

- Part 1: Early Impressions—1860s and 1870s
- Part 2: The Second Wave—1880s
- Part 3: The Latecomers—1890s
- Part 4: The Last Wave—1900 to the End of the Meiji Era

Bibliography

- Part 1: Works by Women Tourists and Travelers
- Part 2: Secondary Sources
- Part 3: Secondary Sources on Specific Authors

#### Chapter II: Missionaries

[Missionaries Writers 59 / Annotations 155 Bibliography 574]

Portraits of Women Missionaries

Introduction

1. Women's Work for Women Worldwide
2. The Protestant Church
3. The Roman Catholic Church
4. The Greek Orthodox Church
5. The Church Missionary Society
6. Other Christian Institutions



Mrs. Fraser

7. Women's Education

8. Social Services

9. Conclusion

Key Works by or about Meiji Women Missionaries

- Part 1: Works by Missionaries
- Part 2: Secondary Sources

Appendix 1: Early Women's Missionary Societies

Appendix 2: List of Annual Letters from the Field by CMS Missionaries

Appendix 3: Leading Missionaries in Women's Education

Appendix 4: Key Japanese Women Influenced by Missionaries

Appendix 5: Girls' Schools Founded 1870-1912

#### Chapter III: Sojourners

[Sojourners Writers 36 / Annotations 133 / Bibliography 159]

Portraits of Women Sojourners

Introduction

Key Works by Sojourners

Bibliography

- Part 1: Works by Sojourners
- Part 2: Secondary Sources

#### Chapter IV: Writers

[Writers (Authors) 74 / Annotations 286 / Bibliography 330]

Portraits of Women Writers

Introduction

Key Works by Writers

Bibliography

- Part 1: Works by Writers
- Part 2: Secondary Sources

Author Index

# 19世紀アイルランド 旅行ガイドコレクション

全5巻+別冊日本語解説

## Ireland in the 19th Century through Travellers' Guides

【監修・解説】勝田俊輔（東京大学）

2015年6月刊行 A5判・約2,400頁（地図・図版多数） 本体セット価¥128,000-（+税） ISBN 978-4-902454-90-1

1801年にブリテン（イギリス）とアイルランドが合同し連合王国が発足して以降に連合王国で刊行された旅行ガイドを、数多くの図版や折込み地図などを含め復刻するコレクション。合同から世紀半ばの大飢饉、自治を求める運動が盛んになる世紀後半へと、激しく変化するアイルランドの19世紀が俯瞰できるよう、それぞれの時代の特色ある5種の文献を収録。

### ●収録タイトル●

Vol. 1: *The Travellers Guide through Ireland/ or, a Topographical Description of that Kingdom*, Rev. Jo. Robertson, Edinburgh & London: Denham & Dick - Vernon, Hood, and Sharp, 1806, c.350 pp., incl. a fold-out, hand-coloured map.

Vol. 2: *The Traveller's New Guide through Ireland*, London: Longman, Hurst, Rees, Orme, and Brown, 1815, c. 580 pp. incl. a fold-out map

Vol. 3: *A Hand Book for Travellers in Ireland, Descriptive of Its Scenery, Towns, Seats, Antiquities, etc., with Various Statistical Tables...*, James Fraser, Dublin: William Curry, 1844, c. 748 pp., incl. a fold-out map

Vol. 4: *The Irish Tourist's Illustrated Handbook for Visitors to Ireland in 1852*, 2nd ed., London: Office of the National Illustrated Library, 1852, c.200 pp., incl. 3 fold-out maps

Vol. 5: *Black's Tourist's Guide to Ireland*, 19th ed., Edinburgh: Adam & Charles Black, 1886, c. 478 pp. incl. 4 fold-out maps

KILLARNEY AND THE SOUTH OF IRELAND  
BY  
GREAT SOUTHERN & WESTERN RAILWAY.

*Via* Mallow Junction by railway direct.  
*Via* Cork, thence to Bantry, and on by car *via* Glengariffe and Kenmare. Prince of Wales Route, p. 160.  
*Via* Cork, thence to Macroom and on by car *via* Glengariffe, p. 167.

I.—FROM DUBLIN TO CORK.

ON RIGHT FROM DUBLIN.	From Cork.	STATIONS, ETC.	From Dublin.	ON LEFT FROM DUBLIN.
	164	Dublin. Kingsbridge Terminus.	0	Royal Hospital of KILMAINHAM, on the site of Priory of the Knights Hospitallers.
INCHICORE HOUSE	163		1	LOCOMOTIVE DEPOT AT INCHICORE. Coke ovens and workshops attached.
" <sup>3</sup> CHAPELIZOD 1 m. A village on the river Liffey, of great antiquity. Here William III. encamped in 1690, after his victory on the Boyne.	162		2	JAMESTOWN HOUSE.
BALLYFERMOT, castle and church. The latter dedicated to St. Lawrence.	161		3	
	160	Clondalkin. The name of the village is supposed to be derived from a church founded by St. Mochua, called <i>Cluain Doluain</i> . See p. 117.	4	Round tower seen from the line. One hundred feet in height. One of the most perfect in Ireland. CLONBURRIS. The plantations of CASTLEBAGGOT.
LUCAN CHURCH.	158	" <sup>3</sup> Lucan,	6	
" <sup>3</sup> LEIXLIP village is 8 miles distant. The castle dates from the 12th century.	157	1 1/2 m. distant, a fashionable spa prettily situated on the Liffey near the waterfall called the Salmon	7	

SCALE OF HOTEL CHARGES.

Name of Hotel.	Proprietor.	Bed.		Breakfast.		Lunch.		Dinner.		Tea.		Supper.		Attendance.		Private Rooms.
		s.	d.	s.	d.	s.	d.	s.	d.	s.	d.	s.	d.	s.	d.	
ANTRIM.	M'Quillan	1 0	0 6	1 6	1 0	1 8	2 6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	6 0
MANROSE ARMS.	M'Nally	1 6	1 3	1 6	1 0	1 8	2 6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	6 0
ARKLOW.	Wooden Bridge	1 6	1 8	1 0	2 4	3 0	6 10	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	No charge.
ARMAGH.	Charlemont Arms	1 6	1 3	1 8	1 0	1 6	2 6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 6
ATHLONE.	Gray's Hotel	1 0	1 6	1 0	1 6	2 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0
	Rourke's	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6 to 2 6
	Royal	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	No charge.
BALLYMENA.	J. Greer	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 6
	J. Jellott	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 6
BALLINASLOE.	Craig's	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6
	Gill's	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6
BALLYCASTLE.	W. Nelson	1 6	1 6	1 0	1 6	2 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	Optional.
	Royal	1 6	1 6	1 0	1 6	2 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	No charge.
BANDON.	Doonagh Arms	1 6	1 6	1 0	1 6	2 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	No charge.
	Imperial	1 6	1 6	1 0	1 6	2 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	Optional.
BELFAST.	J. Moore	2 0	2 0	1 4	2 6	1 6	1 6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 3
	Charles Hunt	2 0	2 0	2 0	3 0	1 6	1 6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	3 to 6
BRAY.	J. Quin	2 6	1 8	1 0	3 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 6 to 3 6
BRYANSFORD.	G. Read	1 0	1 8	1 0	2 0	1 3	1 3	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6
BUSHMILLS.	S. Reid	1 0	1 0	0 8	1 8	0 8	0 8	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 6
CLIFDEN.	Mary Carr	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	5 0
	H. Hart	1 6	1 6	1 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6
CLONMEL.	D. Hearn	1 6	1 6	1 5	1 0	1 5	2 0	2 6	1 4	1 4	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6
	Hearn's	1 6	1 6	1 5	1 0	1 5	2 0	2 6	1 4	1 4	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 6

# ミンストレルショーと音楽 —アメリカ初期資料集成—



【復刻集成】全4巻＋別冊日本語解説

Minstrel Shows and Songs,  
An Archival Collection of Early American Books and Documents

【編集・解説】 ウェルズ恵子（立命館大学文学部教授）

2019年12月刊行 B6 & B5判・全約1,600頁 ISBN: 978-4-905211-12-9 本体セット価 118,000円（＋税） ※80部限定出版

- 音楽、寸劇、舞踊を交えた娯楽で、黒塗りの白人が演じ、19世紀アメリカ合衆国の芸能と大衆文化、その後のステレオタイプな黒人像に大きな影響を与えた初期ミンストレルショーに関する初の一次文献集。
- アメリカが急速な変化を迫られていた時代に誕生、大流行し、以後、ポピュラー音楽や映画などに影響を与えたこの芸能が、どのように成立し、後世への方向性を定めていったのかを検証する。
- 「ディキシー」の作者であるダン・エメット（1815-1904）らが創設した初期の人気劇団バージニア・ミンストレルズの楽譜、絶頂期を代表する劇団で作詞作曲家スティープン・フォスターを世に出したクリスティーズ・ミンストレルズのソングブックに加え、当時のアマチュア劇団のマニュアル、初期の歴史解説書を多数の図版も含め収録。

## ●収録文献●

### Volume 1 : Songbooks Part I (B6判・約450頁)

Introduction

*Christy's Plantation Melodies*, Book No. 1-4. Philadelphia, New York, Boston, Baltimore: Fisher and Brother, 1854, 284p

*Christy's New Songster and Black Joker*. New York: Dick & Fitzgerald, 1863, 79pp

*Christy's Bones and Banjo Melodist*. New York: Dick & Fitzgerald, 1867, 76pp.

### Volume 2 : Songbooks Part II (B6判・約430頁)

*Christy's and White's Ethiopian Melodies*. Philadelphia: T. B. Peterson & Bros., [1854?]

1. *Christy and Wood's New Song Book*, 95pp. / 2. *White's New Illustrated Melodeon Song Book*, 82pp. / 3. *White's New Book of Plantation Melodies*, 79pp. / 4. *White's New Ethiopian Song Book*, 84pp. / 5. *Whites's Serenaders' Song Book*, 84pp.

### Volume 3 : Manual & Guide Books (B5判・約500頁)

Dumont, Frank. *The Witmark Amateur Minstrel Guide and Burnt Cork Encyclopedia*. Chicago & London: M. Witmark & Sons, 1899, 176pp.

Powell, Herbert P.. *The World's Best Book of Minstrelsy*, Philadelphia: The Penn Publishing Co., 1926, 319pp.

### Volume 4 : History and Sheet Music (B5判・約350頁)

Paskman, Dailey & Sigmund Spaeth. "*Gentlemen, Be Seated!*": *A Parade of the Old-Time Minstrels*. New York: Doubleday, Doran & Company, 1928, 313pp.

Old Dan Emmitt's Original Banjo Melodies. "My Old Aunt Sally" & "O Lud Gals Me etc." Boston: Chas. H. Keith, 1843, 6pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels: *The Celebrated Negro Melodies*. "Ole Dan Tucker." Boston: Geo. P. Reed, 1843, 4pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels: "Jim Crack Corn." Baltimore: F. D. Benteen, 1846, 3pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels. *Playbills* [Broadside]

# アメリカ黒人霊歌

## 19世紀・20世紀初頭文献復刻集成 全4巻＋別冊解説

### American Negro Spirituals, Compiled with a Japanese Commentary

【監修および和文解説】 ウェルズ恵子（立命館大学文学部）

2012年刊行 総約1,500頁 本体セット価：¥95,000-（＋税） ISBN 978-4-905211-02-0

- アフリカ系アメリカ人とその文化を理解する上で欠かせない黒人霊歌の、展開と受容・研究の歴史を、貴重文献により辿る初の復刻コレクション。
- 文献として記録された最初期の南北戦争の時代から Fisk Jubilee Singers が成功した 19 世紀後半、白人研究者が登場した 1910 年代までの流行期まで、最も重要とされる文献を精選。
- 文学、歴史、音楽史研究のみならず、エスニシティ、宗教、大衆文化、社会運動、文化人類学、民俗学の研究にも有益。

#### 【収録文献】

##### VOL.1:

Higginson, Thomas Wentworth

“*Negro Spirituals*” *The Atlantic Monthly*

Volume XIX(June,1867) 685-94 p.

- ・エミリ・ディキンソンの最初の詩集を編集出版した Higginson (1823-1911) による、黒人の生活と歌の関わりの深さを伝えた最初の報告であり、黒人民謡における宗教歌の重要性、文学としての価値を社会に知らしめた記事とされる。37 曲を掲載。

Allen, William Francis, Charles Pickard Ware and Lucy McKim Garrison

*Slave Songs of the United States*

New York: A. Simpson & Co., 1867, xlv, 115p.

- ・三人の編著者が採録したり、他から提供を受けたりして収集した計 136 曲を掲載したアンソロジー。音楽に関する専門的興味に基づいて編纂され、黒人霊歌の文献として最も重要である。隔離性が高かった奴隷歌を地域に分けて編集した点に、黒人の言葉への深い関心と体系的な歌の保存を目指した編者の意図が表れている。

Pike, G.D

*The Jubilee Singers and Their Campaign for Twenty Thousand Dollars*

Boston: Lee and Shepard. New York: Lee, Shepard and Dillingham. 1873, 219p.

- ・テネシー州フィスク大学の黒人学生の合唱隊ジュビリー・シンガーズ (The Fisk Jubilee Singers) が結成された時代背景および成り立ちや学校の運営資金を得るために実行した講演の苦難と栄光を描く。著者は、解放奴隷の高等教育が可能なること、それによって国に明るい未来が期待できる、というメッセージを掲げている。巻末に合唱団の黒人霊歌レパートリー 61 曲を楽譜とともに収録。同合唱団は欧州、日本にも巡演して好評を博している。

##### VOL.2:

Taylor, Marshall W., D.D

*A Collection of Revival Hymns and Plantation Melodies*

Cincinnati: Marshall W. Taylor and W.C. Echols, 1883, 272p.

- ・黒人起源の聖歌と白人の賛美歌とを区別なく掲載し、最初の奴隷解放から約 30 年たったアメリカ社会での、黒人文化の理解と受容の度合いを、浮き彫りにするアンソロジー。20 世紀に民俗音楽学者から批判をされた編集方針だが、黒人の地位向上を目指した著者の理想を体现しているといえる。

Work, J. Frederick

*Folk Songs of the American Negro, Number One*

Nashville: Work Bros.&Hart Co., 1907. 64p.

- ・書名に Folk Songs(民謡)とあるが、黒人霊歌の古典曲を定着させたフィスク大学のワーク兄弟が収集し、編曲を施した歌唱用の聖歌集。

##### VOL.3:

Marsh, J.B.T

*The Story of the Jubilee Singers, with supplement; Containing an Account of their Six Years' Tour around the world, and many of their New Songs*, by F.J.Loudin. 1881.

Cleveland: The Cleveland Printing & Publishing Co.,1892, vi, 311p.

- ・パイク版ジュビリー・シンガーズ伝 2 著を基にした増補改定版。新たに 78 曲を加え、索引も付記するなど歌集として使いやすくなっている。北米と英国、ドイツ訪問の部分が 1881 年にまず出版され、1882 年から 1888 年までの世界公演旅行を加えたものが 1892 年に刊行された。

##### VOL.4:

Krehbiel, Henry Edward

*Afro-American Folksongs: A Study in Racial and National Music*

New York: G. Schirmer, 1914. xii, 176p.

- ・19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけてのアメリカを代表する音楽評論家書いた、アフロ・アメリカン民謡の全体を扱おうと試みた研究書。アフロ・アメリカンの民謡がアフリカの音楽でも白人からの借り物でもなく、アフリカの伝統をくんだアメリカ独自の音楽であり、黒人がアメリカ文化の生成に寄与しているとした。20 世紀初頭としては、黒人と白人とを同じ「国民」とみなした点で革新的、斬新であった。

Work, John Wesley

*Folk Song of the American Negro*

Nashville: Press of Fisk University, 1915. 132p.

- ・音楽、文学、社会、民俗という複数の視点から総合的に黒人霊歌に分析を試みた最初の研究書。一章と二章でアフリカン・デアスポラとしての歌、三章から民謡として捉えた歌を論じる。

Gospel Pearls

*Edited and Compiled by Music Committee of the Sunday School Publishing Board*

Nashville: Sunday School Publishing Board National Baptist Convention, 1921. 164p.

- ・163 曲を楽譜とともに収録する初期のゴスペル歌集で、編集委員にワーク兄弟を含む。1900 年代、1910 年代に著作権がとられた歌も多く、新しい聖歌も続々と作られていたことがわかる。

# 万国風刺漫画大全

## 第3期：戦間期の世界

【復刻集成版】全3巻+別冊

### Caricatures and Cartoons: A History of the World 1921-1930

■編集・解説■ 橋本順光 (大阪大学文学部)

[British Satirical Periodicals of the Nineteenth Century Series IV]

2018年11月刊行 B5判・1620ページ上製 本体セット価 ¥138,000- (+税) ISBN 978-4-86166-196-9



- 世界各国で発行された雑誌、新聞の風刺画コレクションのシリーズ第3期は、第一次大戦終戦から10年間の戦間期を対象にし、世界35か国で刊行された約360紙誌から、*The Review of Reviews* 『評論の評論』誌に転載された4700点以上の風刺漫画を集成。
- アイルランドやインドでの独立運動など、大英帝国の没落と米ソの台頭が顕著となるこの時代、欧米のメディアだけでなく、インドの *Hindi Punch*、中国の *North China Herald*、日本の『大阪パック』などアジアも含めた各国のプロパガンダとしての風刺漫画が増す一方、20年代前半の政治的な小康状態を反映し、解放された女性たちやそのファッションを揶揄する漫画や、チャップリンのような映画スター、アインシュタインのような科学者やスポーツ選手が風刺の対象として登場、漫画のスタイルも今日の表現方法に近づき大きく変化してゆく。
- 20年代後半になるとファシズムを生む要因の一つとなった移民問題を風刺する漫画なども増加し、ムッソリーニに続いてヒトラーが登場、短かった平和の時代の終焉と第2次大戦へ向かう世界が、この風刺漫画コレクションを通して視覚的にはっきりと読み取れる。



Judge  
Tramp: "I'm darn glad that I haven't any home to go to!"



#### ■好評既刊■ 第1期：世紀転換期の世界 全3巻+別冊

Caricatures and Cartoons, 1890-1905: A History of the World

B5判・約1,200頁 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-186-0

在庫僅少

#### 第2期：戦争の世紀の幕開け 全4巻+別冊

Caricatures and Cartoons: A History of the World 1906-1920

B5判・総1,970頁 本体セット価 ¥148,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-195-2

在庫僅少

ファシズムの時代を諷刺した世界各国の雑誌・新聞漫画約 3,200 点を収録

# 万国風刺漫画大全

## 第4期：第二次大戦へ向かう世界

【復刻集成版】全3巻+別冊

### Caricatures and Cartoons: A History of the World 1931-1940

■編集・解説■ 橋本順光（大阪大学文学部）

[British Satirical Periodicals of the Nineteenth Century Series V]

2020年10月刊行 B5判・総約1,660頁

本体セット価¥138,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-197-6



- 19世紀末から1940年までの世界の風刺画コレクションシリーズが完結。
- 第4期では、第二次世界大戦前の10年間を対象に、世界38か国で刊行された約380紙誌から、*The Review of Reviews* 『評論の評論』誌に転載された3,200点以上の風刺漫画を集成。
- 欧米の主要な全国紙だけでなく地方紙やその他諸国でも数多く諷刺されたヒトラー、ムソリーニ、日本の軍事主義、日中戦争、カンジーとインド独立運動などに関する世界各地の風刺漫画が満載。
- 政治問題に加えて、経済、貿易、教育や文化芸術、女性や人種問題など戦前期の国際社会のあらゆる側面を映し出した視覚資料集。
- シリーズ全13巻で1890年から半世紀の諷刺漫画18,000点以上を収録。



#### 第4期収録漫画の主な風刺テーマ

- ・ ナチスの台頭・ファシズム・共産主義
- ・ 大恐慌の拡大・死の商人・大英帝国の衰退
- ・ アジアの諷刺漫画（中国のサバジュ・インドのシャンカー）
- ・ 日本の軍事主義化・日中戦争・カンジーとインド独立運動
- ・ 国際連盟・軍縮会議
- ・ 反ユダヤ主義・人種問題
- ・ ヘルリンオリンピック・スポーツ
- ・ 映画・性・検閲
- ・ モダンな女性・社会風俗など

# シリーズ 英国シェイクスピア俳優と上演史

## — 18・19世紀一次資料集成 —

### Lives of Shakespearian Actors

監修●喜志哲雄（京都大学名誉教授） シリーズ編集■● Gail Marshall

※すべてプリント・  
オンディマンド版  
となります。

シェイクスピア上演史および英国戯曲史を語る上で欠かせない名優達の足跡とその時代の実像を、同時代の雑誌・新聞に掲載された多数の劇・演技評や様々な記事および書簡・日記などの伝記資料から浮かび上がらせる、画期的な一次資料の復刻コレクションです。原資料の復刻収録だけでなく、今後の研究の補助のため以下の解説、データが各巻の編者により付加されています。

●総合序文 ●ヘッドノート ●脚注 ●参考文献書誌 ●年表 ●巻末インデックス

#### 【第1集】D・ギャリック、C・マクリン、M・ヴォフィントン 全3巻

Part 1: David Garrick, Charles Macklin and Magaret Woffington by their contemporaries

本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-33-8

#### 【第2集】E・キーン、S・シドンズ、J・P・ケンプル、H・スミソン 全3巻

Part 2: Edmund Kean, Sarah Siddons, John Philip Kemble and Harriet Smithson  
by their contemporaries

本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-34-5

#### 【第3集】C・キーン、S・フェルプス、W・C・マクリーディ 全3巻

Part 3: Charles Kean, Samuel Phelps and William Charles Macready by their contemporaries

本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-43-7

#### 【第4集】H・フォーシット、F・ケンプル、E・ヴェストリス 全3巻

Part 4: Helen Faucit, Fanny Kemble and Elizabeth Vestris

本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-44-4

#### 【第5集】H・ビアボーム・トリー、H・アーヴィング、E・テリー 全3巻

Part 4: Herbert Beerbohm Tree, Henry Irving and Ellen Terry

本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-902454-45-1



トマス・バウドラー編

# 19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集

【復刻版】全10巻+別冊日本語解説

**The Family Shakespeare**, in which nothing is added to the original text; but those words and expressions are omitted which cannot with propriety be read aloud in a family.

By Thomas Bowdler.

【復刻版監修・解説】金子雄司（中央大学名誉教授）

2009年9月刊行 本体セット価¥138,000-（+税） ISBN 978-4-902454-16-1

B6判・約3,550頁（1820年改訂第2版ファクリミリ版）

## 本書の特色

- 性的・冒瀆的表現を徹底的に削除、「換骨奪胎」されたシェイクスピア。「バウドラー化する」(boudlerize) という単語を生むほど大衆に浸透し、改版を重ねた大ベストセラー、初の復刻。
- バウドラー自身の編集による改訂第2版全10巻(1820年)を復刻。
- 19世紀イギリスのシェイクスピア受容の実態、また、当時の倫理観を知る上で、不可欠の一次文献。
- カルチュラルスタディーズ、特にセクシュアリティ、身体論の研究にも重要な視座を提供

## 本書を推す。

喜志哲雄（京都大学名誉教授）

シェイクスピアに関わる人は無数にいるが、それが原因で自分の名前から英語の単語が生れた人は、おそらく十指にも満たないであろう。そういう極めて稀な人物のひとりがトマス・バウドラー (Thomas Bowdler, 1754-1825) というイギリス人の医師である。シェイクスピアの作品は確かに名作だが、卑猥な表現や冒瀆的な表現がしばしば現れるので、そのままのかたちで家庭で読むのは具合が悪いと、彼は考え、不適切だと自分が判断した字句を削除したテキストをわざわざこしらえた。それが『19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集』(*The Family Shakespeare*)である。1807年の出版で、シェイクスピア劇20篇の削除版が収められている。これは実は彼の双子児の姉妹ヘンリエッタ・マライア・バウドラー (Henrietta Maria Bowdler, 1754-1830) の仕事であったらしいのだが、いずれにせよ、トマスが残りの作品をやはり無害なものにした版が、1818年に出版され、削除版は完成した。この本は非常によく売れ、文藝作品から差障りのある個所を削除することを意味する「バウドラー化する」(bowdlerize) という単語が生れた。

当然ながら、バウドラーは余計なことをした人間だと見なされている。しかし彼は当時の読者の道徳観を考慮してテキストを作ったのだから、この仕事はシェイクスピア受容史の非常に重要な一面を表していることは誰にも否定できない。19世紀のシェイクスピア受容の実態を知るには、これほど都合な本はない。あいにく大抵の研究者は、バウドラーを悪名高い人物と決めつけ、彼を軽視して来た嫌いがある。だがこの復刻版によって、わが国の研究者にとっても、バウドラーの仕事の詳細がようやく明らかになる。シェイクスピアの作品がどのように受容されて来たかという問題を真剣に研究しようとする人にとっては、これは不可欠の一次資料なのである。

## -TABLE OF CONTENTS-

### VOLUME 1:

Preface by Thomas Bowdler  
Tempest  
Two Gentlemen of Verona  
Merry Wives of Windsor  
Twelfth-Night: or, What You Will

### VOLUME 2:

Preface to the Following Theatre Copy of Measure for Measure by Thomas Bowdler  
Measure for Measure  
Much Ado about Nothing  
Midsummer-night's Dream  
Love's Labour's Lost

### VOLUME 3:

Merchant of Venice  
As You Like It  
All's Well that Ends Well  
Taming of the Shrew

### VOLUME 4:

Winter's Tale  
Comedy of Errors  
Macbeth  
King John

### VOLUME 5:

The Life and Death of King Richard II  
Preface of the Editor to the Two Parts of Henry IV  
First Part of King Henry IV  
Second Part of King Henry IV  
King Henry V

### VOLUME 6:

First Part of King Henry VI  
Second Part of King Henry VI  
Third Part of King Henry VI

### VOLUME 7:

Life and Death of King Richard III

### King Henry VIII

Troilus and Cressida

### Volume 8:

Timon of Athens  
Coriolanus  
Julius Caesar  
Anthony and Cleopatra

### VOLUME 9:

Cymbeline  
Titus Andronicus  
King Lear

### VOLUME 10:

Romeo and Juliet  
Preface to Hamlet by Thomas Bowdler  
Hamlet, Prince of Denmark  
Preface to Othello by Thomas Bowdler  
Othello, the Moor of Venice

マリオ・プラーツ編

# 文学、歴史、芸術の饗宴 全10巻・2回配本

English Miscellany: A Symposium of Literature, History and Arts

Edited by Mario Praz

Reprint of the Complete Collection of Articles in English and Selected Writings in Italian by Mario Praz

【監修・解説】中島俊郎（甲南大学名誉教授） ＊監修者による和文解説書が別冊として付いています。

第1回配本（1950年-1965年）・全5巻 A5判 約2,410頁

2007年9月刊行 本体セット価 ¥98,000-（+税） ISBN 978-4-902454-19-2

第2回配本（1966年-1983年）・全5巻

2008年9月刊行 本体セット価 ¥98,000-（+税） ISBN 978-4-902454-20-8

## 本書の特色

- 現代ヨーロッパを代表する著述家マリオ・プラーツ（1896-1982）が1950年から30年間、編集を主幹した定期刊行誌に掲載された英語論文約230点（プラーツ自身によるイタリア語論文を含む）を収録
- 中世、ルネサンス芸術からモダニズム文学まで、文学・歴史学・哲学・宗教学・美学・美術史・ヴィジュアルカルチャーなど人文学すべての領域を横断する画期的な論考を集成

※収録文献の詳細は、

<http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-20-8.html>

でご覧いただけます。

…すぐれた翻訳者になるためには、文化の障壁をのりこえ、二重のアイデンティティを自らのなかに獲得しなければならないが、プラーツは、文学、文化研究の越境、横断を、個々の文学テキストの翻訳よりもさらに大きなかたちで実践してみせた。その集成が1950年から1982年（没年）にかけて発行された『イングリッシュ・ミセラニー』（*English Miscellany*）である。

その意味で『イングリッシュ・ミセラニー』は編集主幹であるプラーツの研究手法、深度、範囲をみごとに反映している。ロマン主義を中心にした美意識の変遷、イギリス、イタリア文学における影響関係、テキストの遡源追究、文学と視覚芸術の照応、歴史と文学のインターテクスチュアリティなどが主たるテーマであったが、プラーツの知己、友人、俊英たち！が寄稿した論文、エッセイはいずれも水準を凌駕し、いかんなく「プラーツエスコ」（prazzesco）を発揮し、発展させている。だから他には見られない執筆者の充実ぶりも本誌の特徴になっている。ボナミー・ドブレ、W. H. オーデンのエッセイと若き日のヘイドン・ホワイトの論文が同時に掲載されているような研究誌がほかにあるだろうか。

「イタリア通信」（『ロンドン・マーキュリー』）というコラムのなかで、小さな声を英語圏の読者に対して初めて発したプラーツは、『イングリッシュ・ミセラニー』全30巻という、端倪すべからざる広大な森をつくりあげた。文学研究の沈滞化がささやかれる今日こそ、その森のなかでくりひろげられている饗宴の声に耳を傾けるときではあるまいか。

—甲南大学文学部教授 中島俊郎「編者のことば」より—



【復刻版】

ボズウェル著

# ジョンソン伝【初版】全2巻

James Boswell, Esq., *The Life of Samuel Johnson LL.D.*

First issue of first edition. London: Printed by Henry Bladwin, for Charles Dilly, 1791

bound with *The Principal Corrections and Additions to the First Edition of Mr. Boswell's Life of Dr. Johnson.*, 1793

【監修】島田孝右 ■ A4判・約1,160頁（限定115部、ナンバー入り） ■ 底本1791年刊

2003年10月刊行 本体セット価 ¥59,800-（+税） ISBN 978-4-901481-69-4

## ●初版の初めての復刻

英語で表された最高の伝記文学として広く認められている、ボズウェルのジョンソン伝の初版本が初めてファクシミリ・リプリントされました。ジョンソン伝はこの初版以降、各種の異版や校訂本が編集され、現在の研究の大半は1934-50年に刊行されたHill-Powell版全6巻を定本としています。しかしながら、ボズウェル自身の手によるこの初版の、文学史上、そして書誌的 중요性はいまでも決して薄れておらず、原本は稀覯本として古書市場でも非常に高値を呼んでいます。本復刻版は、この初版・初刷本を出来る限り忠実に再現（余白部分のみ若干縮少し、A4判で製本）します。また、ボズウェル自らが初版の購入者用に編集した改訂と増補を収めた42頁の冊子も合わせて収録しています。英文学史上、最も重要な書物の一つをどうぞお手元にお揃えください。

### ■監修者のことば 島田孝右

18世紀のイギリスで代表的な文学者といえばサミュエル・ジョンソンであることに異存をはさむ者はいないであろう。確かに『ロビンソン・クルーソー』や『ガリヴァー旅行記』は大変有名であるが、それらの作者であるダニエル・デフォーやジョナサン・スウィフトは、ジョンソンを凌ぐ文学者ではない。ジョンソンは、『英語辞典』（1755）の偉業によって知られるが、それと同時に、というよりもむしろ、「ボズウェルに描かれた」ジョンソン、つまり『ジョンソン伝』の中のジョンソンとして知られる人物であり、この伝記によって後世に名が残ったとも言えよう。

今回刊行の復刻版は、決して本棚の飾り物などではない。完全とも言える注釈版を離れ、マイクロフィルム、CDなどで読むときの耳障りな機械音が聞こえない図書館のキャレル（Carrel）や書齋で、直接「ボズウェルのジョンソン」に接することができる貴重な場を提供するものである。

## ●記念碑的傑作の実相に肉薄する－『ジョンソン伝』の初版復刻本を推薦します

原田範行（慶應義塾大学）

1781年5月のある日、ボズウェルは、ジョンソンの才能の一側面について、ある「高名な友人」が話すのを聞いてメモを取っていた。何ら個人的偏見を持たずに彼が意見を語るとき、叡智に満ちたその発言は実に圧倒的だ－これが、その「高名な友人」の発言。今日、『ジョンソン伝』の定本となっているHill-Powell版（底本は第3版）でこの箇所を読むと、注釈が付されていて、その友人がウィリアム・ジェラード・ハミルトンであることが分かる。だがボズウェル自身は、初版印刷の段階まで、この「高名な友人」のことを「ハミルトン氏」と記していた。それが、刊行される直前になって、削除・改変を余儀なくされたのである。一体なぜか。初版本には、こうした痛々しい箇所が少なくとも6葉存在する。

初版本の痛々しさは、その記述に関するものばかりではない。第1巻を開くと、まずタイトルページ、献辞、広告と続いて、いきなり索引と訂正表が入る。第1巻と第2巻の分量的なバランスが悪くてこのような苦肉の策が講じられたらしい。タイトルページの前にあるはずのハーフタイトルは、第1巻にも第2巻にも存在しない。ボズウェルがタイトルページの校正稿を受け取ったのは1789年3月。使用する活字を修正し、ヘンリー・ポールドウィンという印刷屋の名前を加えてこの校正稿を返送したものの、印刷が実際に始まるまでには一年の歳月を待たねばならなかった。印刷費用も彼自身の負担である。

さまざまな紆余曲折を経て、この伝記文学における金字塔は、1791年5月16日、浩瀚な四折本2巻として刊行された。初版本における痛々しさは、この傑作誕生にいたる苦悩の道のりを如実に示すものと言えよう。約1700部印刷されたとはいえ、高価でなかなか入手困難なこの記念すべき初版本が、これまた入手困難な著者自身の手による追加・訂正表と共に復刻されることは、本作品誕生の真相に迫る上で極めて重要な貢献であると考えられる。

ドライデン、トンソン編

# 【復刻版】 英国 17-18 世紀詞華集 全 6 卷

## The Dryden-Tonson Miscellanies, 1684-1709

【編集・解説】 David Hopkins, University of Bristol & Stuart Gillespie, University of Glasgow

2007 年 10 月刊行 約 3,100 頁 本体セット価 ¥138,000- (+税) ISBN 978-4-86166-029-0

残部僅少

## 英文学成立の過程を探る貴重な文献、初の復刻

- 17 世紀英国を代表する詩人・劇作家ドライデン (John Dryden) が、「英国近代出版の父」と称されるトンソンの (Jacob Tonson) と共同で、その死に至るまで十数年以上の歳月を費やし編集を続けた著名なアンソロジー全 6 巻の初めて復刻。
- 1684 年から 1709 年まで 6 回に分け刊行された初版 6 巻を完全復刻。原本は古書市場でも入手の極めて困難な稀覯書。
- 既に発表されていた作品の単なる集成であったそれまでのアンソロジーと一線を画し、ドライデンとトンソンの明確な編集方針のもと当時の詩人達に書き下ろしの韻文作品を委嘱、スウィフト、ポープ、アフラ・ベーン、アディソン、コングレーヴらの作品を世に送り出した。
- ギリシャ・ローマ古典から、この時代に求められた韻文作品も英訳。
- 17 世紀から 18 世紀初頭の長期間人気を保ち、この時代の英国文学読者層の嗜好性と、それに応える作家のテーマや作風に多大な影響を与えたといわれる。
- 今日熱く論じられている以下の研究テーマの一次資料として利用可能。
  - 英文学の 17-18 世紀における成立過程
  - 「長い 18 世紀」(The Long Eighteenth Century) 初期の英国文化の変容
  - 英国近代出版業の始まり
  - 17-18 世紀初頭のマイナー詩人の研究
- 編者による詳細な解説 (約 200 頁) や各作品著者の人物情報、異版との収録文献の比較等々、最新の研究データも収録。



### 【各巻明細】

Vol. 1: (1684) Miscellany Poems, c.420pp

Vol. 2: (1685) Sylvae: or, The Second Part of Poetical Miscellanies, c.310pp

Vol. 3: (1693) Examen Poeticum: Being the Third Part of Miscellany Poems, c.546pp

Vol. 4: (1694) The Annual Miscellany Being the Fourth Part of Miscellany Poems, c.327pp

Vol. 5: (1704) Poetical Miscellanies: The Fifth Part, c.616pp

Vol. 6: (1709) Poetical Miscellanies: The Sixth Part, c.659pp

復刻集成

# 18世紀英国の風刺作品に描かれた日本

全5巻+別冊日本語解説

## Japan in Eighteenth-Century English Satirical Writings

【編集・解説】島田孝右

2007年6月刊行 A5判・約1,720頁 本体セット価 円98,000-(+税) ISBN: 978-4-86166-034-4

### ●本文献集について●

風刺の時代を象徴する18世紀に刊行された、日本を舞台にしたフィクション集。イギリスを日本に譬えて、鋭い筆致でイギリスを風刺している作品が中心である。日本人だと自称し、ペテン師として有名なサルマナザールの『台湾の歴史と地誌』は、主人公は日本皇帝であり、モンタヌスの『日本誌』と同じくオランダ人の「踏み絵」を描いている。ピカレスク小説で知られるスモレットの『アトム冒険』は、ケンベルの『日本誌』(1727)から歴代天皇の名前などを借用して、イギリス政界を風刺する。スウィフトの『日本の宮廷と帝国』もイギリスを風刺する。『日本史断章』はイギリスとアイルランドの関係を追及する。『豊後の王シヴァン』(フランス語版、1754からの英訳)は、メンデス・ピントーの『東洋遍歴記』を題材にし、イギリスを日本に譬え、フランスなどを舞台にした小説で、シヴァンは豊後の王オリジヤンドー(大友宗麟)の息子。この作品は、パリで出版されたオーショアの『平戸の王女、ミジリダ』(1738-43)を想起させる。(島田孝右)

#### ■収録文献■

VOL.1: [c390pp]

Psalmanazar, George

*A Historical and Geographical Description of Formosa, ... giving an account of the religion, customs, manners, &c. of the inhabitants. Together with a relation of what happen'd to the author in his travels; particularly his conferences with the Jesuits, and others ... Also the history and reasons of his conversion to Christianity ... To which is prefix'd a preface in vindication of himself from the reflections of a Jesuit lately come from China ...* Illustrated with several cuts. London, 1704, 356pp.

Anon.

*Man Unmask'd: being a wonderful discovery lately made in the Island of Japan: written in the Japanese language by the Spirit of Contradiction, and translated into English ... by Sir Tristan Nerebegood, etc.,* London, 1706, 32pp.

VOL.2: [c420pp]

Jolyot de Crebillon, Claude Prosper

*The Skimmer; or, the history of Tanzai and Neadarne.* [From the French of C. P. J. de C.], London, 1735, 415pp.

VOL.3: [c270pp]

Anon.

*The Perseis; or, secret memoirs for a history of Persia.*

[Translated from the French.], London, 1745, 232pp.

Loon, Van, pseud

*A fragment of the Japanese History: translated from the High Dutch of Mr Van Loon.*

With notes, London, 1749, 24pp

VOL.4: [c420pp]

Swift, Jonathan

*An account of the court and empire of Japan,* 1765, 10pp

Smollett, Tobias George

*The history and adventures of an atom,* Dublin, 1769, 417pp

VOL.5: [c220pp]

Anon.,

*Civan, King of Bungo.* [By J. M. Le Prince de Beaumont.] Translated from the French.

By a young lady of fashion, not more than twelve years old, Tamworth, 1800, 220pp



# 日英交流史近世書誌年表 全1巻

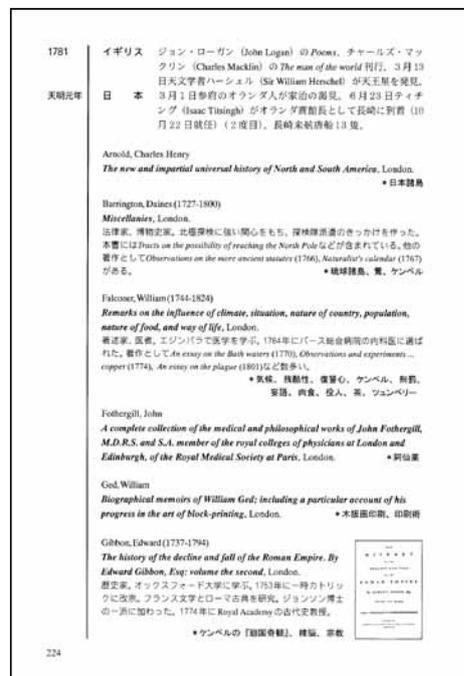
## Bibliographic Chronology of Anglo-Japanese Relations 1497-1800

【編集】島田孝右（元専修大学教授）

2005年1月刊行 B5判・約250頁（上製函入） 本体価 ¥9,333-（+税） ISBN: 4-902454-06-8

### 本書の特色

- 16世紀から18世紀末までに刊行された、日本の記述を含む英文書を網羅した書誌年表
- 日英両国や日欧交流史の主要事項と書物史を並置した例のないレファレンス
- 日英交流史と日本のイメージ形成の主要素であった書物の関係を概観
- 同編者による『近世日本関係英国史料集成』（本の友社刊）を補完する史料としても重要
- 英学史、比較文学・文化、英国近世史、メディア史等の研究・教育に幅広く活用可能



# 日本関連英語文献書誌 1555-1800

## 全1巻

## Japan 1555-1800: A Comprehensive Bibliography of Printed Books in English

【編集】島田孝右（元専修大学教授）

2012年3月刊行 B5判・約325頁 本体価：¥24,800-（+税） ISBN 978-4-86166-147-1

### 本書の特色

- 1800年までに英語で出版された刊本で、日本に関する記述を含む約4,500文献（著者数約2,270名）を網羅した書誌目録。
- 『近世日本関係英国史料集成』全28巻（本の友社）、『日英交流史近世書誌年表』（ユーリカ・プレス）、『近世日英交流地誌地図年表 1576-1800』（雄松堂出版）等、日英交流史研究に必携の史資料を纏めてきた編集者の長年にわたる調査、研究の集大成。
- これまでの編著書に含まれなかった約3,000点のデータを含み、各文献中の日本関連記述のある頁ナンバーを記す画期的書誌目録。
- 巻末の索引により、著者名あるいは雑誌タイトルからの調査も可能。
- 日英交流史研究を始め、18世紀を中心とした英国近世・近代史や文学研究の基本レファレンスとしてご利用ください。

# 英国女性の初期旅行記

## — ロマン主義時代の記録 — 全 8 巻

### Women's Travel Writings: 1750-1850

【編集・解説】 Caroline Franklin, University of Swansea, UK

2006年5月刊行 約3300頁 本体セット価¥180,000-(+税) ISBN 978-4-901481-94-6

残部僅少

- 本書の特色**
- 18世紀末から19世紀のロマン主義期の英国で刊行された女性の旅行記で、現在入手の困難な貴重文献6作を全点完全復刻し集成
  - 「コロニアリズム」「ポスト・コロニアリズム」に関する文化研究の史・資料としても有効

異国へと旅した女性たちの言説は、「グランド・ツアー」や「ピクチャレスク・ツアー」が広く実践されていた18世紀の英国貴族・市民階級の男性社会と一線を画し、社会の「主流」ではなかった女性達の異文化・外部社会へのまなざしであります。今日関心をおつめる「階級、人種、ジェンダー」に関する複合的研究のための一次文献としても多様に活用いただけます。

#### 【収録内容】

##### 第1-2巻

- ヘレン・マライア・ウィリアムズ  
『フランス便り』全2巻

Helen Maria Williams

Letters from France; containing a great variety of information concerning the most important events that have occurred in that country in the years 1790, 1791, 1792, and 1793 ... To which are annexed, the correspondence of Dumourier with Pache, etc., 2 vols. J. Chambers: Dublin, 1794, c. 550pp in total

ロマン主義時代の女性詩人・小説家である作者のフランス革命の記録。革命を熱心に擁護し、恐怖政治時代には投獄もされたウィリムズは、その後もパリに留まり英国へこのレポートを送り続けた。8回に分けて刊行された本書は当時の英国で大きな反響を呼んだ。(2巻に合本された1794年の版を収録。)本書に関しては、エリザベス・ポールズの最近の研究書『美学とジェンダー-女性の旅行記と美の言説』(長野順子訳、ありな書房)が「ピクチャレスクの政治化」という視点から先鋭的に解説している。

##### 第3巻

- アンナ・マリア・ファルコンブリッジ  
『シエラレオネ川への2度の旅』

A.M. Falconbridge

Narrative of two voyages to the River Sierra Leone, during the years 1791-2-3, 2nd edition, Higham: London, 1802, 279pp

著者は、反奴隷貿易の活動家として知られ後にシエラレオネの英総督にもなったアレクサンダー・ファルコンブリッジの妻。夫とともに滞在した植民地での旅の記録。英国女性の西アフリカ旅行記の嚆矢。

- メアリー・シェリー

『フランス、スイス、オランダでの6週間の旅』

Mary Wollstonecraft Shelley, with a preface by Percy Bysshe Shelley

History of a six weeks' tour through a part of France, Switzerland, Germany, and Holland: with letters [by Percy Bysshe Shelley] descriptive of a sail round the Lake of Geneva, and of the Glaciers of Chamouni. (Mont Blanc). Lines written in the Vale of Chamouni [by Percy Bysshe Shelley.] 1817, pp.183

『フランケンシュタイン』で有名なメアリー・シェリーが、1814年にパーシー・シェリーとヨーロッパに駆け落ちした際の各地での旅の記録。母メアリー・ウルストンクラフトの著書 Letters Written during a Short Residence in Sweden, Norway, and Denmark (1796) をモデルにしたと言われる。

##### 第4巻

- イライザ・フェイ  
『インドからの手紙』

Mrs. Eliza Fay

Original Letters from India; containing a narrative of a journey through Egypt, and the author's imprisonment at Calicut by Hyder Ally. To which is added an abstract of three subsequent voyages to India, Calcutta, 1821, 404pp

E. M. フォスターが "A Passage to India" 執筆の参考とし、後にフォスター自身が編集、出版したことで知られる書簡集のインドで刊行されたオリジナル版。18世紀末には、英国から女性が新たな人生を求め植民地インドへと旅を始め、彼女たちの多くが書簡形式で植民地の記録を残している。裁縫婦や教師などの職を経験したフェイも1779年から1816年の間、4回にわたりインドへと旅し、この人間性にあふれる描写を残した。フォスターは 'a work of art' と本書を絶賛した。

##### 第5巻

- ジェミーマ・キンダスリー  
『テネリフェ島、ブラジル、喜望峰、東インド諸島からの手紙』

Jemima Kindersley

Letters from the Island of Tenerife, Brazil, Cape of Good Hope and the East Indies, London, 1777, 301pp

夫とともに各地を旅し、記録を残した著者の中南米での旅行記。奴隷貿易に関する彼女の描写は英国内で衝撃を与えたとされる。

##### 第6-8巻

- シドニー・オウエンソン [モーガン夫人]  
『イタリア』全3巻

Sydney Owenson, Lady Morgan

Italy, London: Henry Colburn & Co., 1821, c. 1500pp in total

19世紀前半に人気を博したアイルランド女性小説家のイタリア旅行記。ラディカルな政治思想を持っていた著者の本書(およびその前作 "France") は保守的な批評家や政府からは激しく攻撃されたが、一方ロマン派文学者達は彼女を熱く支持し、なかでもバイロンはアイルランドの詩人 Thomas Moore への手紙のなかで、"Her work is fearless and excellent on the subject of Italy; pray tell her so. I know the country. I wish she had fallen in with me; I could have told her a thing or two that would have confirmed her position." と本書を称している。

# ポケット版 18世紀英国旅行便覧

## 【復刻版】 全6巻+別冊解説（日本語）

**The British Tourists; or Traveller's Pocket Companion, through England, Wales, Scotland, and Ireland.** Comprehending the most celebrated Tours in the British Islands. Edited by William Mavor

【監修・解説】原田範行（慶應義塾大学）

2009年6月刊行 本体セット価¥98,000 - (+税) ISBN 978-4-902454-53-6

A6判・約2,010頁(折込カラー地図5点) 底本: 増補改訂第2版(London: E. Newbery, 1800)

残部僅少

### 本書の特色

- 特権階級の娯楽であった旅行が、少しずつ中産階級に広がり、ピクチャレスク・ツアーが盛んになり始めた18世紀末に編まれた英国旅行ガイドの嚆矢。イングランド、スコットランド、ウェールズからアイルランドまでを網羅。
- この時代各地を旅し、記録を残したサミュエル・ジョンソン、アーサー・ヤング、トマス・ペナントらの紀行文などを原典に、編者ウィリアム・メイヴァーが編集。
- 旅行者のコンパニオンとして携帯に便利なポケット版として刊行すると同時に、旅をする余裕のない若者や学生のため、英国各地の情報を提供する参考図書を目指した書物。
- 1798年の初版（全5巻）の成功の後、ロンドンとオックスフォード、ケンブリッジ、そして海水浴や温泉など行楽地を収録した巻を加え、全6巻で刊行された増補改訂第2版（1800年）を、ほぼ原寸のポケットサイズで復刻。地名や名所、史跡に関する巻末索引入り。
- 18世紀からロマン主義時代の英国文学、文化、歴史研究および観光・旅行学の史料としても貴重。

### 収録明細

Volume 1: (frontispiece + xii + folding map + 302pp.)

Fist Tour in Scotland by Thomas Pennant, in 1769.

Second Tour in Scotland and a Voyage to the Hebrides, by Thomas Pennant, in 1772.

Volume 2: (iv + folding map + 342)

Journey to the Western Islands of Scotland by Samuel Johnson in 1773.

Tour in Ireland by Richard Twiss in 1775.

Excursion to the Lakes, with a Tour through Part of the North of England by W. Hutchinson in 1773 and 1774.

Tour through Some of the Midland Counties into Derbyshire and Yorkshire by Willam Bray in 1777.

Volume 3: (iv + folding map + 323)

Tour through different Parts of England, Scotland, and Wales by Richard Joseph Sulivan in 1778.

Tour in Ireland by Arthur Young made between 1776 and 1779.

Tour through Monmouthshire and Wales by Henry Penruddocke Wyndham in 1774 and 1777.

Journey from Chester to London by Thomas Pennant in 1780.

Volume 4: (iv + folding map + 313)

Travels through various Parts of England in 1782 by Charles P. Moritz.

Tour in England and Scotland in 1785 by Thomas Newte.

Tour to the West of England by the Rev. Stebbing Shaw.

Volume 5: (iv + 310)

Tour of the Isle of Wight by Mr. J. Hassell in 1789.

Tour through the Isle of Man by David Robertson in 1791

Tour through South Wales, and Some of the adjacent English Counties by Henry Skrine.

Tour through North Wales, and Some of the adjacent English Counties by Henry Skrine.

Journal of the Three Weeks Tour in 1797 through Derbyshire to the Lakes by Johnson Grant.

Index to the Towns, Castles, Abbeys, Gentlemen's Seats, Mountains, Views, etc.[in volumes 1-5]

Volume 6: (viii + folding map + iv + 316)

Tour of London by Thomas Pennant

Tour of the University of Oxford by the Editor.

Tour of the University of Cambridge by a Student, in a Letter to a Friend.

Tour of Health and Pleasure: or a Visit to the Principal Sea-Bathing Places, and Mineral Waters, in England, in a Letter to the Editor.

A List of all the Cities, Boroughs, Market-Towns, and remarkable Villages, in England and Wales; The Days on which their Markets are held, and how far distant from London in measured Miles.

Back Matter / Index / Index to the Colleges, Paintings, Curiosities, &c. Described in the Tour of the University of Cambridge

Index to the Principal Sea-Bathing Places, and Mineral Waters, &c. in England, described in the Tour of Health and Pleasure.

# スコットランドの旅

18-19 世紀旅行記・案内書コレクション復刻集成 全8巻＋別冊解説

**Scottish Tours: A Collection of Travel Writings and Guide Books in the Romantic Era**

【編集・解説】 金津和美（同志社大学文学部）

2012 年 9 月刊行 A5 判 c.3,535 pp. 本体セット価¥148,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-79-6

## 本書の特色

- スコットランド旅行文化の形成に先鞭をつけたジョンソン、ギルピン、ペナントなど、先駆的作品の影響を受けて育まれた、18 世紀末から 19 世紀初頭のロマン主義期に刊行された代表的な旅行記を集成
- ピクチャレスク美学からロマン主義的美学が醸成されていく、ピクチャレスク美学の伝統的規範から逸脱し、より崇高美へと接近した過程を捉える
- スコットやワーズワスらイギリス・ロマン派文学の作品理解、美学研究、また近代ツーリズムの歴史の研究に重要な作品群

## ◆収録文献◆

Volume 1:

A Lady [M.A.Hanway]

*A Journey to the Highlands of Scotland, with Occasional Remarks on Dr. Johnson's Tour*

London: Fielding & N.D.Walker, 1776, xvi, 163 pp.

Dorothy Wordsworths (ed. by J.C. Shairp)

*Recollections of a Tour Made in Scotland A.D. 1803*

New York: G.P. Putnam's Sons, 1874, xlv, 316 pp.

Volume 2:

Mrs. Murray [Sarah Murray]

*A Companion and Useful Guide to the Beauties of Scotland to the lakes of Wentmoreland, Cumberland, and Lancashire; and to the Curiosities in the District of Craven, in the West riding of Yorkshire. Also A Description of Part of Scotland...*, Vol. 1

London: W. Bulmer & Co., 1810, xii, 456 pp.

Volume 3:

Mrs. Murray [Sarah Murray]

*A Companion and Useful Guide to the Beauties of Scotland to the lakes of Wentmoreland, Cumberland, and Lancashire; and to the Curiosities in the District of Craven, in the West riding of Yorkshire. Also A Description of Part of Scotland...*, Vol. 2

London: W. Bulmer & Co., 1810, xvi, 436 pp.

Volume 4:

Robert Heron

*Observations Made in a Journey through the Western Counties of Scotland; In the Autumn of MDCCXCIL*, Vol. 1

Perth: R.Morison, 1793, vi, 387 pp.

Volume 5:

Robert Heron

*Observations Made in a Journey through the Western Counties of Scotland; In the Autumn of MDCCXCIL*, Vol. 2

Perth: R.Morison, 1793, iv, 514 pp.

Volume 6:

John Stoddart

*Remarks on Local Scenery and Manners in Scotland during the years 1799 and 1800*, Vol. 1

London: William Miller, 1801, xxiv, 310 pp. 18 pl.

Volume 7:

John Stoddart

*Remarks on Local Scenery and Manners in Scotland during the years 1799 and 1800*, Vol. 2

London: William Miller, 1801, xiii, 342 pp. 17 pl.

Volume 8:

Walter Scott

*Provincial Antiquities and Picturesque Scenery of Scotland with Descriptive Illustrations*

London, John & Arthur N.D.Arch, Cornhill, 1826, lii, 208 pp. 51 pl.



# ウェールズへの旅

## 英国18-19世紀紀行記・案内書復刻集成 全4巻+別冊解説

### Picturesque Wales - Facsimile Reprints of "Pennant's Tours" and "Wales Illustrated"

Reprint supervised and introduced by Satoko Ito-Morino, Shizuoka University

【監修・解説】森野聡子（静岡大学）

2009年12月刊行 本体セット価¥98,000-(+税) ISBN: 978-4-902454-54-3

判型: A5判 (Vol. 1-3)/B5判 (Vol. 4)・総頁数: 約1860頁 (図版・白黒: 156点)

「連合王国」の周縁にあり独自のルーツを持つウェールズ文化は、同じブリテン島のなかでイングランド文化と複雑に交渉しあいながら共存していますが、英国内でのウェールズへの関心は、18世紀のウェールズ文化復興と期を同じくする英国でのピクチャレスク・ツアーの流行が、景観鑑賞の対象としてウェールズの人気をよび、ウェールズ観光が誕生していった頃に端を発するとされます。この時代ウェールズの知識人やウェールズを訪れたイギリスの作家達は、様々な旅行記や旅行ガイドを執筆、積極的にこの文化復興や観光に関わり、ウェールズの地位向上に貢献します。

今回の集成では、この時代を代表する以下の2種の文献を復刻し、18世紀末から19世紀にかけてのウェールズがどのように描かれ、イメージされていったのかを知るための基本史料として提供します。図版を数多く含むこれらの文献は、視覚資料としても価値が高く、研究、教育に広くご利用いただけます。

#### VOLUME 1-3 (size: A5)

Preface by Satoko Ito-Morino

Thomas Pennant (edited by John Rhys)

Tours in Wales, by Thomas Pennant, with Notes, Preface and Copious Index by John Rhys, Professor of Celtic in the University of Oxford, to which is added, An Account of the Fine Tribes of Cambria, and of the Fifteen Tribes of North Wales, and their Representatives, with their Arms, as given in Pennant's History of Whiteford and Holywell, new edition, 3 vols.

Caernarvon: H. Humphreys, 1883, c.1500pp. (44 plates.)

- 1778年から6年を費やし刊行された、トマス・ペナント（1726-98）による大著。初の総合的ウェールズ・ガイドとして知られる最重要文献。死後1810年にロンドンで刊行された新版が、ウェールズ・ガイドの決定版として19世紀を通し利用されたが、今回は、その1810年の版を底本に19世紀の著名なケルト学者ジョン・リーズ（学生の大半がウェールズ人であったオックスフォード大学ジーザス・カレッジの学寮長）が、解説、注釈、付録資料、索引を加え、ウェールズにて1883年に出版した貴重な学究版を復刻。



Thomas Pennant

#### VOLUME 4 (size: B5)

Henry Gastineau

Wales. Illustrated, in a Series of Views, comprising the picturesque Scenery, Towns, Castles ... Engraved on steel, from Original Drawings, by H. Gastineau. Accompanied by Historical and Topographical Descriptions.

London: Jones & Co., 1830, c. 360pp. (112 plates)

- 英国の風景画家ヘンリー・ガスティノーが描いたウェールズの100箇所強の名所旧跡に、各地の地理や文化、歴史についての簡潔な解説を加えた、19世紀ウェールズのヴィジュアル版百科。



# 英国湖水地方への旅

## 18-19 世紀旅行記・案内書コレクション 全6巻+別冊解説書

### Lake District Tours: A Collection of Travel Writings and Guide Books in the Romantic Era

【編集・解説】小田友弥（山形大学）

2008年2月刊行 A5判・約2,720頁 本体セット価¥138,000-(+税) ISBN 978-4-902454-35-2

#### 本書の特色

- ワーズワースをはじめ多くの英国ロマン主義文学者に賛美され、その自然愛の象徴的対象となった湖水地方に関する同時代の文献集成
- ピクチャレスク・ツアーが流行した時代の主要旅行記と案内書8点を図版、地図とともに復刻
- 英国ロマン主義文学を生んだ時代の一次資料、そして18世紀から19世紀の湖水地方の百科事典的情報源として貴重

#### ■収録文献■

VOL. 1: c.397pp.

William Hutchinson,

An Excursion to the Lakes, in Westmoreland and Cumberland, August 1773., 1st Edition, 1774. 193 pp.

Thomas West,

A Guide to the Lakes., 1st Edition, 1778. 204 pp.

VOL. 2: c.267pp

Joseph Budworth,

A Fortnight's Ramble to the Lakes in Westmoreland, Lancashire and Cumberland., 1st Edition, 1792. xxvii, 267 pp.

VOL. 3: c.536pp

John Hausman,

A Topographical Description of Cumberland, Westmoreland, Lancashire., 1st Edition, 1800. xii, 536 pp.

VOL. 4: c.463pp / VOL.5: c.507pp.

William Green,

The Tourist's New Guide, containing a description of the lakes, mountains, and scenery, in Cumberland, Westmoreland, and Lancashire, ...being the result of observations made during a residence of eighteen years in Ambleside and Keswick., 1st Edition, 1819. xi,vii, 463 pp. / x, 507 pp

VOL. 6: c.547pp.

Joseph Wilkinson and William Wordsworth.

Select Views in Cumberland, Westmoreland and Lancashire., 1st Edition, 1810. xxxiv, 46 pp. plus 48 plates.

Jonathan Otley,

A Concise Description of the English Lakes, the mountains in their vicinity, and the roads by which they may be visited; with remarks on the mineralogy and geology of the district., 2nd Edition, 1825. 141 pp.

Edward Baines,

A Companion to the Lakes of Cumberland, Westmoreland and Lancashire; in a descriptive account of a family tour, and an excursion on horseback ...with a new, copious, and correct itinerary., 2nd Edition, 1830. vii, 312 pp.

# 19世紀初頭ロンドン・イギリス漫遊探訪記

【復刻版】 全8巻+別冊

残部僅少

**Tour, Adventure and Rambles in England:** A Collection of the Early 19th Century Sources

【監修】松村昌家 【解説（別冊・日本語）】中島俊郎（甲南大学名誉教授）

2005年6月刊行 約3,910頁・図版（白黒）多数 本体セット価 ¥148,000-（+税） ISBN 978-4-902454-07-9

- 「鉄道以前」イギリスの都市、地方の社会と生活をエネルギーに活写し、人々の高い支持を得たジャンル=探訪記の知られざる傑作を集成
- クルックシャンク、ロウランドスン他、19世紀英国を代表する挿絵画家による挿画を多数収録
- 19世紀初頭のイギリス社会事情、風俗習慣、言語、制度等の理解に好個の資料



## ■収録文献■

第1-3巻：R・サウジー著『ドン・マニユエル・アルヴァレイス・エスプリエラのロンドン通信』

*Letters from England by Don Manuel Alvarez Espriella*

Written by Robert Southey, London, 1808. Vol.1 ( xvii, 365 pp.), Vol. 2 ( ix, 369 pp.), Vol. 3 ( vii, 365 pp.): 1127pp

第4巻：W・クーム著『シntax博士のロンドン探訪記』

*The Tour of Dr. Syntax through London, or the Pleasures and Miseries of the Metropolis.*

Written by William Combe. Illustration by Thomas Rowlandson., London, 1820, 3rd edition. Vol. 4: ( iv. 319 pp)+ ill. 19 : 361pp

第5-6巻：『ロンドンの実生活』

*Real Life in London, or the rambles and adventures of Bob Tallyho, esq., and his cousin, the Hon. Tom. Daschall, through the metropolis: exhibiting a living picture of fashionable characters, manners, and amusements in high and low life / by an Amateur.*

Illustration by William Heath, Henry Thomas Alken, Richard Dighton, Thomas Rowlandson, etc. London, 1821.

Vol. 5 (iii. X.[3] 656 pp.) Vol. 6: ( i. x. [3] 668 pp.)+ill. 32:1418pp

第7-8巻：C・ウェストマコット著『イングリッシュ・スパイ：バーナード・ブラックマントル氏の英国探訪記』

*The English Spy: an original work, characteristic, satirical, and humorous.*

Comprising scenes and sketches in every rank of society, being portraits of the illustrious, eminent, eccentric, and notorious/ drawn from the life by Bernard Blackmantle. Written by Charles Molloy Westmacot. Illustrations by Robert Cruikshank. London, 1826.

Vol. 7 : ( xxiii, 417 pp.) Vol. 8 : ( xv, 399 pp.)+ ill.73:1000pp

スタンリー・ウェルズ編・解説

# 19世紀のシェイクスピア・バーレスク集成 全5巻

**Nineteenth Century Shakespeare Burlesques**

残部僅少

2004年9月刊行 本体セット価 ¥88,000-（+税） ISBN 978-4-902454-02-4

## 本書の特色

- 19世紀に英米で流行したシェイクスピア風刺戯曲選集
- スタンリー・ウェルズの選書した33（英国27作、米国7作）の台本と各巻毎の詳説に加え、今回の復刊を記念した編者書き下ろし序文入り
- シェイクスピア受容史研究だけでなく、19世紀英米の大衆文化、大衆演劇研究の重要一次文献

スモレット編

# 世界の旅行記 全7巻

## A Compendium of Authentic and Entertaining Voyages

Edited by Tobias Smollett

新序文 ■ Robert Mayhew, University of Wales, Aberystwyth

2003年2月刊行 ■ 底本 1766年第2版 (A5判約2,250頁、図版・折込地図入り)

本体セット価 ¥148,000- (+税) ISBN 978-4-901481-39-7

残部僅少

### 本書の特色

- スモレット編集による世界旅行記の初の復刻
- 18世紀後半英国で大評判となった書物
- 多数の図版、折り込み地図も含め完全復刻
- 原本は稀覯本
- 英文学、比較文化、コロニアリズム研究に

トバイアス・スモレットー Tobias Smollet (1721-71) ーは、今日「ロデリック・ランダム」、「ペリグリノ・ピックル」、「ハンフリー・クリンガー」など旅や冒険を題材にした18世紀の流行作家として知られますが、同時に編集者そして批評家として旺盛な活躍をしたことは見落とされがちです。編集者としての彼は数多くの出版に関わりましたが、従軍医として西インド諸島でスペインと戦い、ジャマイカで出会った女性を妻としたスモレットの体験と力量が最大限発揮され、また同時代に最も評価を得た作品が本書です。コロンブス、バスコ・ダ・ガマ、ドレーク等々、過去の探検記、旅行記をまとめ再編集した本書は、刊行当時大変な人気を博し、模倣出版物が相次いだと言われます。その背景には、覇権を確立しつつあった18世紀後半の英国の、世界各地への旅や地理的発見に対する関心の高さがうかがえます。

18世紀英文学研究に不可欠な文献であると同時に、豊富なイラストや地図とともにこの時代の英国の世界への眼差しを肌で感じさせてくれる本書は、比較文化やコロニアリズム・オリエンタリズムの研究にも大変貴重です。原本 (1766年刊第2版) 刊行以来初の復刻です。



### ■内容明細■

**Volume 1** (286pp, 2 plates, 3 foldouts)

Introduction

Christopher Columbus, Vasco da Gama, Pedro Alvarez de Cabral, Hernando Cortes.

**Volume 2** (288pp, 3 plates, 4 foldouts)

Hernando Cortes, Francis Pizarro, Discovery of Florida

**Volume 3** (285pp, 7 plates, 2 fold-outs )

Discovery of Florida, Voyages of Fernandes Magellan, Francis Drake, Walter Raleigh, Thos Rowe, John Monk.

**Volume 4** (299pp, 3 plates, 5 fold-outs)

Voyages to Greenland and Iceland, Voyages by Thomas James and John Nieuhoff.

**Volume 5** (342pp, 2 plates, 5 fold-outs)

Philip Baldaeus, a Gentleman's Account of North Europe, Lionel Wafer, English Expedition against Carthegene.

**Volume 6** (339pp, 2 plates, 2 fold-outs )

William Dampier, John Francis Gemelli.

**Volume 7** (366pp, 2 plates, 2 fold-outs)

John Francis Gemelli, Woodes Rogers, George Lord Anson.



ジョサイア・コンダー編

# 世界旅行者大全 【復刻版】 全30巻 / 全5回配本

## The Modern Traveller

A Description, Geographical, Historical, and Topographical, of the Various Countries of the Globe  
By Josiah Conder

底本：London: James Duncan, 1830 (2nd edition) [1st edition 1825-1829]

【監修・解説】原田範行（慶應義塾大学）

## ヴィクトリア期直前の『大英帝国』が旅した世界

- 19世紀前期の英国で、The Eclectic Review や The Patriot 紙の編集者として活躍していたジョサイア・コンダー（鹿鳴館の建築などで有名なコンドルの祖父）が、自ら執筆・編集した世界旅行ガイド全30巻を、多くの図版、折り込み地図を含め完全復刻。
- 蒸気機関の発明による交通革命時代の直前、1825年から数年にわたり出版された本書は、それまでに多く出版されていた空想的外国旅行記や航海記の内容とは一線を画し、地球が小さくなり始めていたこの時代の旅行者や一般読者に、最新の客観的情報を出来る限り広く提供する方針で、中東諸国、アジア、アフリカ、南北アメリカなどを旅する際に有用な、各国の地理、歴史、政治状況、文化、風習、そして主要都市や旅行ルートに沿った名所旧跡、景勝地などを詳細に解説。携帯可能なポケット版で刊行された。（今回の復刻では約20%拡大しB6判にて復刻。）
- 18世紀の旅行・紀行記の出版スタイルを残しつつも、本書より約10年後に刊行が始まるマレーの旅行ハンドブックなど、今日につながる各国別の旅行ガイドを予感させる出版物で、近代ツーリズム史の研究にはもちろん、19世紀英国文化研究資料としても貴重な文献。
- 各配本毎に監修者による解説（英文および和文）付。



### 世界旅行記、もしくはヴィクトリア朝覇権戦略の情報源—ジョサイア・コンダー編『世界旅行者大全』の魅力— 原田範行（東京女子大学教授）

ジョサイア・コンダー編『世界旅行者大全』は、1825年から29年にかけて、十二折本全30巻として刊行された。「世界各国の地理、歴史、地誌に関する記述」という副題が示す通り、対象はヨーロッパから中東、アジア、アフリカ、南北アメリカに及び、まさしく世界旅行者のためのポケット版必携書となっている。今回復刻刊行されるのは、地図や図版なども整備されたその第二版（1830年刊）で、原本は初版と同じく十二折本であったが、読みやすさを考え、20%ほど拡大したB6判となっている。

『世界旅行者大全』の魅力は、何と云っても、その記述が詳細で、各国の地理・歴史のみならず、名所・旧跡や景勝地、そしてそれらを結ぶ旅行ルートの解説まで懇切丁寧になされているということである。その情報は、今日でも少なからず役に立つ。だが、それにも増して魅力的なのは、この詳細な記述こそ、1830年の、すなわちヴィクトリア朝をむかえる直前の「大英帝国」が有した世界各地の情報を如実に反映したものであるということだ。それは、この帝国がその後世界中に覇権を展開していくための橋頭堡でもあったと言えるだろう。大英帝国がそれぞれの国をどう捉えていたのか、それがはっきりと分かるのである。

著述と編纂は、ジョサイア・コンダーという一人の精力的な文筆家によってなされた。『パトリオット』をはじめとする雑誌編集や讃美歌作者としても知られるが、イギリスにおける反奴隷制運動の中心的な人物の一人でもあった。鹿鳴館建築で有名な同名の「コンドル」は、彼の孫にあたる。興味深いことに、この『大全』には、実は重要な二つの地域が抜けている。オセアニアと、そして『ガリヴァー旅行記』のような100年前のフィクションにさえ登場する日本だ。その不在の理由をあれこれ詮索してみるだけでも実に楽しい。それだけ『大全』としての完成度が高いのである。

**第 1 回配本：中東諸国編 全 6 巻+別冊解説 (英文・和文)**

**Part 1: Palestine, Syria, Asia Minor, Egypt, Nubia, & Abyssinia**

2012 年 3 月刊行 総約頁 2,300 頁 ISBN: 978-4-902454-67-3 本体セット価 ¥88,000- (+税)

**【第 1 回配本 各巻内容】**

Vol. 1: 『パレスチナ』 Palestine, c. 382 p.

Vol. 4: 『アラブ諸国』 Arabia, c. 372 p.

Vol. 2: 『シリア』 Syria 1, c. 360 p.

Vol. 5: 『エジプト』 Egypt 1, c. 374 p.

Vol. 3: 『シリア & 小アジア地域』 Syria 2 & Asia Minor, c. 370 p.

Vol. 6: 『エジプト、ヌビア & アビシニア』 Egypt 2, Nubia & Abyssinia, c. 376 p.

**第 2 回配本：インド、ビルマ、ペルシャ、中国 全 7 巻+別冊解説 (英文・和文)**

**Part 2: India, Birmah, Persia, & China**

2013 年 2 月刊行 総約 2,700 頁 (図版 25 点、折込地図 4 点) ISBN: 978-4-902454-68-0 本体セット価 ¥88,000- (+税)

●第 2 回配本は、インドおよびビルマ、ペルシャ、中国を対象に、英国の一般読者へ向けてこの時代の「最新情報」を紹介。

●特に支配力を強めていたインドには 4 巻を費やし、ヴィクトリア朝直前の英国人のインド像を語る文献としても重要資料。

**【第 2 回配本 各巻内容】**

Vol. 7-10: 『インド』 India c.1,545 pp.

Vol. 12: 『ペルシャ』 Persia 1, c. 376 p.

Vol. 11: 『ビルマ』 Birmah, c. 387 pp.

Vol. 13 『ペルシャ、中国』 Persia 2 & China, c. 356 p.

**第 3 回配本：トルコ、ギリシャ、ロシア、スペイン、ポルトガル 全 6 巻+別冊解説 (英文・和文)**

**Part 3: Turkey, Greece, Russia, Spain, & Portugal**

2014 年 3 月刊行 総約頁 2,200 頁 (図版約 20 点、折込地図 3 点) ISBN: 978-4-902454-69-7 本体セット価 ¥88,000 - (+税)

●第 3 回配本は西側諸国とイスラム圏の接点であった 5 地域を中心に 6 巻を復刻。帝国主義の時代に、さまざまな国際紛争の舞台となるこれらの地域への、19 世紀初期の英国人の関心や理解を探る資料としても貴重な文献。

**【第 3 回配本 各巻収録地域】**

Vol. 14: 『トルコ』 Turkey, c. 368 p.

Vol. 17: 『ロシア』 Russia, c. 348 p.

Vol. 15: 『ギリシャ①』 Greece 1 & The Morea, c. 382 p.

Vol. 18: 『スペイン①』 Spain 1, c. 379 p.

Vol. 16: 『ギリシャ②』 Greece 2 (The Morea & Hellas), c. 352 p.

Vol. 19: 『スペイン②およびポルトガル』 Spain 2 & Portugal, c. 352 p.

**第 4 回配本：アフリカ、北米 全 5 巻+別冊解説 (英文・和文)**

**Part 4: Africa & North America, c.1,820 p. (incl. 16 plates & 3 folded maps)**

2015 年 6 月刊行 ISBN: 978-4-902454-70-3 本体セット価 ¥88,000 - (+税)

●第 4 回配本はアフリカと北米地域を扱う 5 巻を収録。

●奴隷貿易の禁止にもかかわらず奴隷制度の残る 19 世紀初頭にあつて、前世紀に三角貿易の中心となっていた英国はアフリカをどのように描いたのか、アメリカ独立の経緯やその後の様々な英米間の衝突、そして植民地カナダに対する「近代」イギリスの視線、等々、ヴィクトリア朝直前の英国と世界との複雑な関係を映し出す格好の同時代資料。

**【第 4 回配本 各巻収録地域】**

Vol. 20: 『アフリカ①』 Africa 1, c. 384 p.

Vol. 23: 『北アメリカ①』 North America 1, c. 383 p.

Vol. 21: 『アフリカ②』 Africa 2, c. 364 p.

Vol. 24: 『北アメリカ②』 North America 2, c. 342 p.

Vol. 22: 『アフリカ③』 Africa 3, c. 336 p.

**第 5 回配本『中南米、南米』全 6 巻+別冊解説**

**Part 5: Mexico, Guatemala, Colombia, Peru, Brazil & Buenos Ayres, c. 2,170 p. (incl. 19 plates & 4 maps)**

2016 年 9 月刊行 ISBN: 978-4-902454-71-0 本体セット価 ¥88,000 - (+税)

**【第 5 回配本 各巻収録地域】**

Vol. 25: 『メキシコ①』 Mexico 1, c. 382 p.

Vol. 28: 『ペルー』 Peru, c. 372 p.

Vol. 26: 『メキシコ②およびグアテマラ』 Mexico 2 & Guatemala, c. 332 p.

Vol. 29: 『ブラジル①』 Brazil 1, c. 358 pp.

Vol. 27: 『コロンビア』 Colombia, c. 366 p.

Vol. 30: 『ブラジル②およびブエノスアイレス』

Brazil 2 & Buenos Ayres, c. 354 p.

# 英領インド人の旅した世界

－ 19 世紀～ 20 世紀初頭紀行文集成－ 【復刻集成】 全 5 巻

Indian Travel Writing, 1841-1943

Edited by Pramod K. Nayar, Dept. of English, University of Hyderabad

2016 年 12 月刊行 総約 2,300 頁 本体セット価 ¥128,000- (+税) ISBN : 978-4-86166-193-8

◆英領インド時代に世界各地を旅したインド人が残した英文紀行文。

◆インド人のみた、ヴィクトリア期から戦前期のイギリス、ヨーロッパ、北米、日本含む極東アジア、オセアニア、中東、アフガニスタン、そしてアフリカ。

大英帝国による実質的な植民地化が進んだ 19 世紀半ばのインドでは、西洋の近代的教養を身につけた上流・知識人階級の人々がインド版グランドツアーともいえる海外旅行を始め、その見聞録が英語で出版されるようになります。宗主国イギリスやヨーロッパ大陸だけでなく、アメリカや日本、アジアを旅したこれらの著者の旅の目的はそれぞれですが、支配されている国の支配階級である彼（女）が西洋を旅した際の内からでも外からでもない視線、そして中近東、極東アジアなど非西洋文化圏へ旅したときに抱く西洋人とは異なるエキゾティシズムなど、複雑な植民地言説がこれらの旅行記の中に読み取れます。

本コレクションは、19 世紀～戦前期にインド国内や英米で出版されたインド人による海外旅行記を精選し、それらの抜粋を地域別に編集し復刻にて収録します。王族、政治家、法律家、社会改革家、商人、スポーツ家や芸術家など女性を含む多様な著者による記録で、各地の風俗、地理はもとより、文学・芸術、政治制度、人権、階級といった社会問題など、それぞれ異なる問題意識が特徴的にあらわれている文献を広く集めています。英国・ヨーロッパを 2 巻、北米、極東・オセアニア、中東・アフリカ・アフガニスタンをそれぞれ 1 巻にまとめ、各巻に編者の解説を付します。

植民地史、帝国史やオリエンタリズム、西洋と東洋の間だけでなく非西洋文化圏内の文化接触も含めたグローバル史など、近代史や文化史に関するより深い調査、研究に大変貴重な原資料集です。



## ■各巻内容■

Volume 1-2: England and Europe (Extracts from 17 books)

Volume 3: North America (Extracts from 8 books)

Volume 4: The Far East, Australia and New Zealand (Extracts from 6 books)

Volume 5: Africa, Afghanistan and the Middle-East (Extracts from 7 books)



## ■ 内容明細 ■

### Volume 1: England and Europe

#### Introduction

1. Jehangeer Nowrojee and Hirjeebhoy Merwanjee, 'Tour to the Naval Arsenals and Principle Seaports', in *Journal of a Residence of Two Years and a Half in Great Britain* (London: WH Allen, 1841), pp. 385-450.
2. *Diary of the Late Rajah of Kolhapoor during his Visit to Europe in 1870*, Edward West (ed.), (London: Smith, Elder and Co, 1872), pp. 1-41.
3. Lala Baijnath, *England and India* (Bombay: Jehangir B. Karani, 1893), pp. 21-55, 185-207, 208-219.
4. N. L. Doss, *Reminiscences, English and Australasian* (Calcutta: MC Bhowmick, 1893), pp. 34-93.
5. Jhinda Ram, *My Trip to Europe* (Lahore: Mufid-I-Am Press, 1893), pp. 11-32, 45-9, 53-7, 75-85, 95-122.
6. Jagatjit Singh, *My Travels in Europe and America, 1893* (London: George Routledge, 1895), pp. 162-200.
7. Hajee Sulaiman Shah Mahomed, *Journal of My Tours Round the World, 1886-1887 and 1893-1895* (Bombay: Duftur Ashkara Oil Engine Press, 1895), pp. 264-281.
8. Berhamji Malabari, *The Indian Eye on English Life* (Bombay: Apollo, 1895), pp. 148-171, 246-287.
9. Romesh Chunder Dutt, *Three Years in Europe, 1868-1871* (Calcutta: SK Lahiri, 1896), pp. 204-304.

### Volume 2: England and Europe

#### Introduction

10. T. B. Pandian, *England to an Indian Eye, Or English Pictures from an Indian Camera* (London: Elliot Stock, 1897), pp. 4-18, 20-31, 79-83, 91-94.
11. Rakhal Das Haldar, *The English Diary of an Indian Student, 1861-62* (Dacca: The Asutosh Library, 1903), pp. 26-68, 72-84, 88-93.
12. Syed Mahdi Hussain Bilgrami, *Oxford and 'Varsity Life* (NP: A. Venogopaul Pillya and Sons, 1907), pp. 1-55.
13. D. C. Jessawalla, *The Story of My Life* (Bombay: The Times, 1911), pp. 274-297, 334-341.
14. Cornelia Sorabjee, *India Calling: The Memoirs of Cornelia Sorabji* (London: Nisbet, 1934), pp. 19-53.
15. S. Natarajan, *West of Suez* (Bombay: The Indian Social Reformer, 1938), pp. 12-35, 72-93.
16. Kshitish Chandra Banerjee, *My Impressions of the West* (Calcutta: Phani Bhusan Roy, 1938), pp. 102-143.
17. K. J. Kharas, R. D. Gandhi, R. D. Shroff, *Across the Highways of the World*, 2nd ed. (Bombay: NP, 1941), pp. 28-43.

### Volume 3: North America

#### Introduction

18. A. L. Roy, *Reminiscences English and American: Part I: Three Years among the Americans* (Calcutta: Roy, 1888), pp. 35-64, 88-104.

19. Hajee Sulaiman Shah Mahomed, *Journal of My Tours Round the World, 1886-1887 and 1893-1895* (Bombay: Duftur Ashkara Oil Engine Press, 1895), pp. 108-146.
20. Jagatjit Singh, *My Travels in Europe and America, 1893* (London: George Routledge, 1895), pp. 110-154.
21. Sudhindra Bose, *Fifteen Years in America* (Calcutta: Kar, Majumder & Co. 1920), pp. 24-38, 79-100, 261-279.
22. A. J. Appasamy, *Student Life in the West* (Madras: Christian Literature Society for India, 1929), pp. 9-16, 56-63, 72-83.
23. Cornelia Sorabjee, *India Calling: The Memoirs of Cornelia Sorabji* (London: Nisbet, 1934), pp. 290-299.
24. K. J. Kharas, RD Gandhi, RD Shroff, *Across the Highways of the World*, 3rd ed. (Bombay: NP, 1941.), pp. 98-120.
25. D. F. Karaka, *New York with its Pants Down* (Bombay: Thacker & Co., 1946), pp. 9-24, 33-40, 52-58, 81-87.

### Volume 4: The Far East, Australia and New Zealand

#### Introduction

26. N. L. Doss, *Reminiscences, English and Australasian* (Calcutta: MC Bhowmick, 1893), pp. 163-219.
27. Hajee Sulaiman Shah Mahomed, *Journal of My Tours Round the World, 1886-1887 and 1893-1895* (Bombay: Duftur Ashkara Oil Engine Press, 1895), pp. 60-72.
28. Jagatjit Singh, *My Travels in China, Japan and Java, 1903* (London: Hutchinson & Co., 1905), pp. 5-14, 57-99.
29. Sarat Chandra Das, *A Journey to Lhasa and Central Tibet* (New York: EP Dutton and London: John Murray, 1902), pp. 1-44, 104-121, 171-194.
30. Syed Ross Masood, *Some Impressions of Japan* (Hyderabad: Government Central Press, 1926), pp. 3-22.
31. Lalubhai Samaldas, *My Impressions of Japan* (Bombay: DB Taraporewala Sons & Co., 1933), pp. 5-7, 10-21, 106-129.

### Volume 5: Africa, Afghanistan and the Middle-East

#### Introduction

32. Mohan Lal, *Journal of a Tour through the Panjab, Afghanistan, Turkistan, Khorasan, and part of Persia* (Calcutta: Baptist Mission Press, 1834), pp. 71-124, 252-279, 289-305.
33. Hajee Sulaiman Shah Mahomed, *Journal of My Tours Round the World, 1886-1887 and 1893-1895* (Bombay: Duftur Ashkara Oil Engine Press, 1895), pp. 16-23, 40-50, 306-318.
34. Hamid Yar Jung, *A Trip to Baghdad* (Bombay: The Bombay Gazette Press, 1908), pp. 4-28.
35. C. M. Cursetjee, *The Land of the Date* (Bombay: DB Taraporewala, 1918), pp. 30-39, 42-45, 50-61, 70-73, 87-98, 120-124, 138-141, 150-157, 173-183, 212-222.
36. Sorab K. H. Katrak, *Through Amanullah's Afghanistan* (Karachi: DN Patel for Sind Observer and Mercantile Steam Press, 1929), pp. 25-34, 40-44, 60-65, 79-85.
37. K. J. Kharas, R. D. Gandhi and R. D. Shroff, *Across the Highways of the World* (Bombay, 1941), pp. 41-2, 47-70.
38. Kshitish Chandra Banerjee, *Across the Near East* (Calcutta, 1943), pp. 7-75.

●日本・アジアの服飾・風俗をカラー図版 100 点以上とともに描いた●

# ワールド・イン・ミニチュア

—日本・中国・東南アジア・南洋諸島—

全 7 巻 + 別冊解説

## The World in Miniature; Japan, China, The Asiatic Islands and New Holland, & South Sea Islands

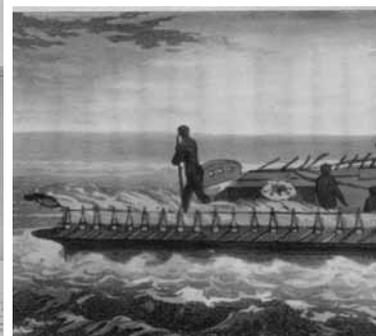
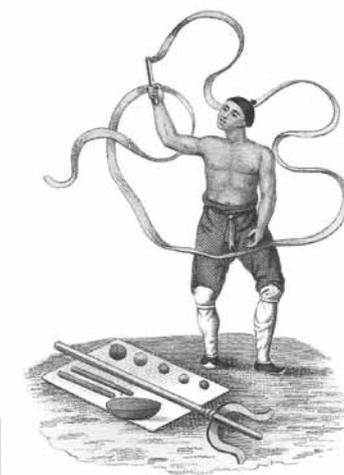
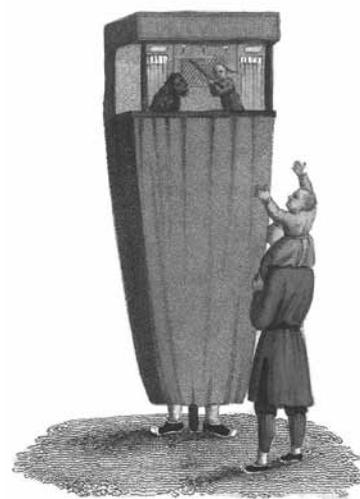
監修・解説●志渡岡理恵（実践女子大学）

2015 年 2 月刊行 A6 判・総約 2,320 頁（カラー図版 102 点）

本体セット価：¥128,000-（+税） ISBN:978-4-86166-185-3

ドイツから移民したルドルフ・アッカーマン（Rudolf Ackermann, 1764-1834）が 1796 年にロンドンに創立したアッカーマン社は、*The Microcosm of London* (3 volumes, 1808-1811), *Westminster Abbey* (2 volumes, 1812) など彩色版画入りの大型絵入り本や、絵入り雑誌 *Repository of Arts, Literature, Fashions* (1809-1829) で知られる、19 世紀の初めの英国を代表する書肆です。なかでも *Repository of Arts* の編集者で、自身イラストレーターでもあったフレデリック・ショバール（Frederic Shoberl, 1775-1853）の編著で刊行した *The World in Miniature* (43 volumes, 1821-6) は、世界各地の地理、文化、風習、服飾などをカラー図版入りで紹介し大成功したシリーズです。文字通り一般読者向けの小型本として製作され、海外に目を向け始めたヴィクトリア期直前の英国近代市民の間で人気を博し、6 年間に全 43 巻が刊行されました。

本集では、この *The World in Miniature* シリーズのなかの、日本（全 1 巻）、中国（全 2 巻）、フィリピン、インドネシアなど東南アジア地域（全 2 巻）、ハワイやニュージーランドを含むミクロネシア・ポリネシア地域（全 2 巻）の計 7 巻を 100 点以上の彩色図版とともに復刻するものです。伝聞や想像をもとに著された 18 世紀の書物の中にある記述とは異なり、この地域を旅し、滞在した西洋人の旅行記などから「事実」を抽出した編集を試みてはいますが、まだそこには多くの誤解や先入観の入ったアジア像が見出されます。産業革命や交通の近代化とともに世界が小さくなりだしたこの時代を象徴する本書は、英国や西洋に日本やアジアの国々がどのように映っていたのかを視覚的にも認識させてくれる興味深い資料です。



## 監修者より

本コレクションは、19世紀初頭に世界各国の情報を一般読者に提供する目的で刊行された43巻シリーズの一部である。編著者ショバールは、幅広い関心の持ち主で、*New Monthly Magazine* や *The Forget-me-Not* をはじめとする雑誌の編集に携わった。また、*A History of the University of Oxford* (1814) のような大学の歴史を辿った本、旅行文学なども多数出版している。雑学も豊富だったに違いないショバールの編んだ日本の巻を開いてみると、まず何と言っても目を惹くのは色鮮やかな図版。そこに描かれているのはどこかヘンテコな日本人。目次には、宗教や農業、政府の形態、軍隊、鎖国の理由といった基本情報のほか、「嬰兒殺し」、「自殺」、「地震」などの項目が並ぶ。「蝦夷」も取りあげられている。序文には、参照した先達の名前—Kämpfer、Thunberg、Charlevoix、Titsingh—が挙げられている。例えば、アジアが一般の人々の旅先のひとつになり始めた19世紀末に書かれたイザベラ・バードの旅行記や現在の歴史教科書と読み比べつつ、誤解のメカニズムについて思いを巡らすなど、多様な読み方が楽しめる作品である。

志渡岡理虔



## ●収録内容●

### VOLUME 1:

**Japan:** containing illustrations of the character, manners, customs, religion, dress, amusements, commerce, agriculture, etc. of the people of that empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, 1823

c. 348 pp. incl. 20 colour plates

Contents: Japanese Islands / Persons of the Japanese / Form of Government / The Dairi, or Spiritual Emperor / Dress of Both Sexes / Houses and Furniture / Marriage / Japanese Language / State of the Roads, Modes of Travelling / Public Festivals and Amusements / Agriculture / Fisheries / Foreigners / Islands of Yesso and Sagaleen, etc.

### VOLUME 2-3:

**China:** containing illustrations of the manners, customs, character, and costumes of the people of the Empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1823]

v. 1: c. 275 pp. incl. 15 colour plates

v. 2: c. 304 pp. incl. 15 colour plates

Contents: Mandarin / A Lady of Distinction / Imperial Sedan-Bearer / A Female Bonze / A Watchman / A Matchlock Soldier / An Infantry Soldier / Juggler / A Chinese with Umbrella / Confectioner / Seamstress / Waterman / Itinerant Fruit-Seller / Fruit Stall / A Bookseller's Stall / An Itinerant Flower-Seller / Pedlar / Dog-Seller / Fisherman / Countryman with a Cloak of Rice Straw / Barber / Viper-Seller / Pigeon-Seller / Puppet-Show / The Miao-Tse / Chinese Mahometans / Eleuth Tartar / Corean Mandarin / Filial Respect of the Chinese / Mourning / Funeral, etc.

### VOLUME 4-5:

**The Asiatic islands and New Holland:** being a description of the manners, customs, character, and state of society of the various tribes by which they are inhabited

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 338 pp. incl. 14 colour plates

v. 2: c. 324 pp. incl. 12 colour plates

Contents: The Philippine Islands / The Marian Islands / Sumatra / Engano / The Nassau or Poggis Islands / Poulo Nias / Nicoabar Islands / The Andaman Islands / Java / Bali / Timor / Savu / Rottie / Ombay / Borneo / Celebes / Amboyna / Rawak / Waigioo / New Guinea / New Holland / Van Diemen's Land

### VOLUME 6-7:

**South Sea Islands:** being a description of the manners, customs, character, religion, and state of society among the various tribes scattered over the Great Ocean, called the Pacific, or the South Sea

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 362 pp. incl. 11 colour plates

v. 2: c. 362 pp. incl. 15 colour plates

Contents: The Friendly Islands / Sandwich Islands / The Marquesas / Easter Island / Society Islands / The Feejee Islands / New Zealand / Radack Islands / The Caroline Islands / New Caledonia / The New Hebrides / Pitcairn's Island

# 写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園

【復刻版】全10巻・3回配本（第1回配本に別冊日本語解説を付録）

English Homes & Gardens, 10 volumes

【編著】H. Avray Tipping 【監修・解説（日本語別冊）】近藤存志（フェリス女学院大学教授）

## 第3回配本

## 初期・後期ジョージアン様式およびイギリスの庭園 全3巻

### Part 3: Early and Late Georgian & English Gardens

残部僅少

2015年8月刊行 A4判・約1,260頁 本体セット価¥88,000-（+税） ISBN: 978-4-86166-184-6

Vol. 8: Period V - Vol. 1: Early Georgian (1714-1760), c.400 pp.

Vol. 9: Period VI - Vol. 1: Late Georgian (1760-1820), c. 413 pp.

Vol. 10: English Gardens, c. 441 pp.（別冊解説は第1回配本に付録されています。）

- 1920～30年に刊行された大型ヴィジュアル本シリーズ。ノルマン期から後期ジョージアン期まで、様式ごとに編集され、各時代に住居として使われた英国の歴史的建築物（城館邸宅、マナー・ハウス、カントリー・ハウス等）約270点を、外貌だけでなくインテリアや調度品も含めた写真4,600点強や建築図面などで紹介した、英国建築に関する重要資料。
- 建築物のシリーズ全9巻に、庭園52を収録した別巻を加え、大型本全10巻を約15%縮小し、使い易いA4判にて復刻。
- 著者のティピングはアーツ&クラフツ運動にもかかわった著名な造園家であると同時に、建築史家として雑誌出版社カントリー・ライフ社の建築部門の編集主幹を務め、同社の資料を縦横に駆使し本シリーズを完結させた。すでに失われた建築物の写真も多く含む、英国建築史に関する記念碑的出版物。
- 第3回はジョージアン様式の邸宅45点を収録する2巻に、英国の代表的な庭園52点を掲載する1巻English Gardensを含む。
- グランドツアーなどで学んだ、ヨーロッパ大陸やイタリア文化・芸術を吸収し成立していったジョージア期の芸術様式は、特に建築や家具などの工芸美術で顕著であり、建築だけでなくインテリアも多数の写真で解説する今回の配本巻は、英国美術・建築研究に必携。
- ゴシック小説『オトランド城奇譚』ので知られるウォルポールの邸宅で、英国ゴシック嗜好家の聖地ともなった「ストロベリーヒルズ」、オースティンの小説『高慢と偏見』の舞台「チャッツワース」、今日も英国首相の公式別荘として使われ政治・外交の舞台ともなる「チェッカーズ」（後者2件は本配本中では庭園を紹介。邸宅は第2回配本巻に収録）など、英国史、文学に登場する邸宅も含まれ、英国文化に関するすべての研究・教育に有用な資料。



### 既刊配本（残部僅少）

#### 第1回配本（全3巻+別冊解説）

#### 中世から初期チューダー様式 Part 1: Medieval and Early Tudor

2013年6月刊行 A4判・約1,260頁 本体セット価：¥88,000-（+税） ISBN: 978-4-86166-182-2

#### 第2回配本（全4巻）

#### 後期チューダーから初期スチュアート様式およびジョン・ヴァンブラとその流派による作品 Part 2: Late Tudor and Early Stuart

在庫切れ

# 【復刻版】『ロイタラー』 1789-1790

## 全2巻+別冊日本語解説

### The Loiterer: A Periodical Work, 2 vols.

First published at Oxford in the years 1789 and 1790. Edited by James Austen & Henry Austen

【復刻監修】向井秀忠（フェリス女学院大学） 協賛■日本オーステイン協会

2007年5月刊行 A5判・約700頁 本体セット価¥48,000- (+税) ISBN 978-4-902454-36-9

残部僅少

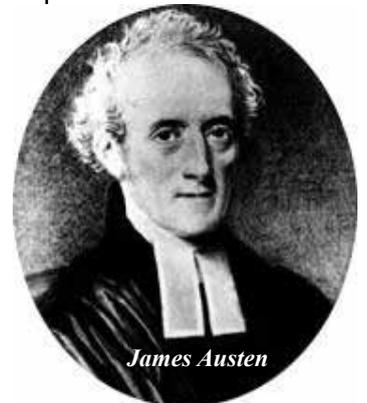
#### 本書の特色

- ジェーン・オーステインの長兄ジェームズが四男ヘンリーとともにオックスフォードで約2年間にわたり発行した College Periodical、*The Loiterer* 全60号の完全復刻
- 13歳のジェーンが習作を始めた頃に兄たちが執筆した本誌の内容には、後のジェーンの小説へのあきらかな影響が認められる点も多く、またジェーン自身の著作ではないかと議論されている記事も含まれる
- ジェーン・オーステイン文学の背景資料として極めて価値の高い文献
- 今回の復刻にあわせ、本誌に関する5点の書き下ろし研究論文（日本語）を別冊として付録

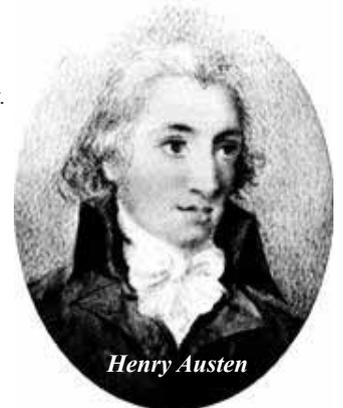
– Jane Austen と <i>The Loiterer</i>	向井秀忠
– <i>The Loiterer</i> と 18世紀イギリスの定期刊行物	高桑晴子
– 18世紀イギリスに流行した学生による定期刊行物	吉野由利
– James Austen とフランス	土平紀子
– <i>The Loiterer</i> に見る兄 Henry Austen の関心事	中村裕子

#### CONTENTS OF THE FIRST VOLUME

Introduction and Plan of the Work.  
 Little adherence to truth in common conversation. ? Sketch of a new Newspaper.  
 The misfortunes of an Oxford Sportsman, in a letter from Christopher Cockney.  
 Art of spending time ? Journal of a modern Oxford Man.  
 Anecdotes of the Doubtfuls, in a letter from one of the family.  
 Different opinions of the Public with respect to the Loiterer, and it's Authors.  
 Use and Advantage of studying History.  
 Disadvantages arising from misconduct at Oxford, in a letter from H. Homely.  
 Letter from Sophia Sentiment. ? Determination of the Loiterer in regard to Tales, Novels, etc.  
 National difference of Character between the French and English ? Plan proposed for improving each.  
 Diversion of Tuft-hunting described ? Memoirs of a Tuft-Hunter in a letter from Luke Lickspittle.  
 Letters from Abraham Steady; Chimericus; D. B. and Tom Witty.  
 Use and Abuse of Reviews? a Visit from Eugenie who had suffered from their attacks.  
 The medicine Virtues of Port-Wine recommended in a letter from Toby Philpot.  
 Heavy expences of a modern University Education; in a letter from Chrysostom.  
 Letter from Philo Morpheus, advising the Loiterer to dream.  
 Modern times vindicated from the charge of Degeneracy.  
 Propriety of perpetual Fellowships considered ? Letters from Dismal Sour Crout, and Jeremie Dozeaway.  
 Variety of meanings annexed to the same word.- Explanation of the term Dash.  
 Study of Heraldry vindicated, in a letter from Edmund Escutcheon.  
 Hints to Young Clergymen respecting their behaviour at a Country Curacy.  
 Observations on several curious Advertisements in the Newspapers.  
 Vexations attending the pursuit, and possession of wealth, in a letter from Indicus.  
 Contempt of Trade absurd, and illiberal.  
 OMAIss's description of British manners, and customs.  
 Pleasure of Elegant Society. ? Some Errors in Conversation pointed out.  
 Thoughts on Education - A New System recommended.  
 Complaint of a Wig.- Letter from Amicus.  
 Absurdity of marrying from Affection.  
 Characters of Dr. Villars, and Mr. Sensitive.



James Austen



Henry Austen

ヴィクトリア朝少年・少女雑誌 復刻シリーズ第2回配本

# ボーイズ・オウン・ペーパー 1879-1882年

全4巻+別冊（解説&索引）

Boy's Own Papers Vol. 1 - 4

【監修・解説】川端有子（日本女子大学） / New Introduction: Kimberley Reynolds, University of Newcastle upon Tyne

2008年11月刊行 本体セット価¥128,000- (+税) ISBN 978-4-902454-18-5

A4判（原寸）・約3,300頁・図版多数（一部カラー）

## 【巻構成】

Volume 1: #1-37 (Jan. 1879 - Sept. 1879)    Volume 2: #38-89 (Oct. 1878 - Sept. 1880)

Volume 3: #90-141 (Oct. 1880 - Sept. 1881)    Volume 4: #142-194 (Oct. 1881 - Sept. 1882)

## 本書の特色

- 19世紀英国で始まった子ども向け教養雑誌のなかで、圧倒的な人気を得た少年向け雑誌 *Boy's Own Paper* の最も稀覯な創刊号から4年間の194号を完全復刻
- マンガのような挿絵や連載小説、読者通信欄など、今日につながる少年向けの大衆メディアの原型を作った雑誌
- 大英帝国の理想とする男児の啓蒙を目的とした本書はイギリス児童文学研究だけでなく、英国近代史、メディア史そして男性性の研究やジェンダー史の資料としても利用価値大
- 監修者による解説と日本語主題付記索引が別冊に収録

## 監修者の言葉

川端有子

1879年1月18日、その後1967年まで続き、英語圏の少年たちに読み物を提供し続けた雑誌、『ボーイズ・オウン・ペーパー』(BOP)が創刊された。出版元は、日曜学校向けの宗教冊子や、子ども向けの雑誌出版で経験をつんだ福音主義系の宗教叢書協会 (Religious Tract Society)。同様の雑誌がひしめくなか、BOPは、群を抜いて売り上げを伸ばし、創刊から5年以内には、25万部の発行部数を誇る成功を収める。ふんだんに挿絵をあしらった連載小説、冒険談やスポーツ記事、ゲームや工作など、少年たちの興味関心を引く話題を惜しげもなく満載しながら、週にたった1ペニーという値段は、容易におこづかいで買える範囲であった。作文コンテストで優勝すれば賞金がもらえ、投稿が採用されれば名前が載る。印刷物が大量生産され、輸送され、消費される社会が整い、識字層の拡大により雑誌文化が花開いた19世紀末のイギリスで、BOPは、文字通り「少年自身」のメディアとして、今日のテレビや携帯に匹敵するコミュニケーションを提供したのである。

しかし宗教叢書協会は、単に少年たちに娯楽を提供するために、この雑誌を発行したわけではなかった。その重要な目的の一つには、やはり1ペニーで巷にはびこる「ペニー・ドレッドフル」と呼ばれる暴力的で扇情的な読み物の悪影響から、青少年を守る、という大義があったのである。現在もその名が残る有名な作家たち、たとえばバルンティン、ジュール・ベルヌ、コナン・ドイルらの書く「健全な」冒険小説や学校小説は、誠実で勇敢なクリスチャンの男性理想を描きだし、わくわくさせながらも、少年たちの想像力を「正しい」方向へ導くことを期待された。「オモシロクテタメニナル」。ともすれば、共倒れになるこの二つの理念を掲げて成功したBOPは、あすをになう少年へ向けて「男らしさ」の理想を描き出す格好の媒体であっただろう。BOPの復刊は、イギリスの19世紀末から20世紀にいたる児童文学の研究にはもちろんのこと、社会変化に伴う男性性の理想、帝国の繁栄とその変容の歴史といった研究に、不可欠の一次資料となるはずである。



ヴィクトリア時代女性のための大衆小説誌

# プリンセス・ノヴェレット【復刻版】全6巻+別冊解説

The Princess's Novelettes, Complete Story, Vol. 1-6 (March 1886 - January 1889)

Edited by Edwin J. Brett <ヴィクトリア朝少年・少女雑誌復刻シリーズ>第3回配本

【監修・解説】川端有子（日本女子大学） / 【協力】村上リコ

2017年2月刊行 A4判・全約2,550頁 本体セット価¥138,000-（+税） ISBN: 978-4-902454-84-0

- ヴィクトリア朝時代、主に労働者階級の女性の間で人気を博した週刊誌『プリンセス・ノヴェレット』の創刊号より3年分（全6巻）全号の原寸復刻版。
- 少年向けの読み物雑誌 *Boys of England* を成功させた編集者 Edwin J. Brett が、若い女性向けに1886年に創刊したペニー・マガジンで、各号に読み切りの小説1点と王室やセレブリティに関する短いゴシップ記事を、多数のイラストとともに掲載。同時代の女性の手記などから、都市部だけでなく農村部でも広く回し読みされたことが知られる。
- ほとんどがロマンスにホラーやミステリの要素を加えたセンセーション・フィクションで、その後の少女向け大衆小説、ハーレクイン・ロマンスやライトノベルの系譜につながる。
- *Girls Own Paper* など中流階級向けの女性誌に対し、より大衆向けの市場をターゲットに広く流通したと考えられ、資料がわずかに散在するだけで、研究の対象になりにくかった労働者階級の女性の生活史・教育史研究の一次文献としても貴重。
- 国内の大学図書館には所蔵がまったく確認されておらず、海外でも初期の巻をまとめて所蔵する図書館は非常に限られていて入手の困難な文献。



## 【各巻内容】

Vol. 1: March 9, 1886 - August 31, 1886 (Vol. I # 1-26, incl. A Summer Number), 432 pp.

Vol. 2: September 7, 1886 - February 22, 1887 (Vol. II # 27-51, incl. A Christmas Number), 416 pp.

Vol. 3: March 1, 1887 - August 9, 1887 (Vol. III # 52-75, incl. A Summer Number), 416 pp.

Vol. 4: August 16, 1887 - January 31, 1888 (Vol. IV # 76-100, incl. A Christmas Number), 416 pp.

Vol. 5: February 7 - July 24, 1888 (Vol. V # 101-125, incl. A Summer Number), 416 pp.

Vol. 6: July 31, 1888 - January 22, 1889 (Vol. VI # 126 - 151, incl. A Christmas Number), 432 pp.

## 監修者の言葉

川端有子（日本女子大学）

『プリンセス・ノヴェレット』(*The Princess's Novelettes*)という雑誌は、エドウィン・J・ブレット (Edwin J. Brett 1827-95) が1886年から刊行し、労働者階級から中流階級の若い女性に非常に人気のあった短編小説を載せた週刊誌である。この雑誌の所在は、たとえば労働者階級の女性の手記や日記などから、題名は知られているが、今までほとんど研究されたことも、内容が吟味されたこともなかった。なぜなら、全世界でこの雑誌を一部でも所蔵しているのは十館程度の図書館にすぎず、大英図書館においてすら全巻を保存はしていないからである。国内の図書館ではまったく所蔵が確認されていない。

また、エドウィン・ブレットはもっぱら研究者の間で、少年読み物の編集者として知られている。彼は、「ペニードレッドフル」を刊行して、スリルとサスペンス、ホラーと冒険で少年たちを魅了し、また絶大な人気を誇っていた、宗教叢書協会発行の『ボーイズ・オウン・ペーパー』(*The Boy's Own Paper*, 1879-1967)の向こうをはった『英国の少年たち』(*The Boys of England*, 1866-99)の編集者として有名であり、二十一種類の少年向け読み物新聞を手がけたことは、つとに知られているが、少女向けの出版に手を染めていたことは、どの研究書や解説を見ても明らかにされていない。

この女性向けの読み物新聞は、おもに上流階級の世界を舞台にしたロマンスや、ロマンティックなミステリーなど、短編小説を一号につき一篇と、ちょっとしたゴシップ記事を一面載せ、一ペニーで売り出されており、そんな華やかな上流の生活とは無縁の、都会の女店員やメイドなどに広く愛読されていたようである。安価なわりには豊富な挿絵の質がかなり高く、ブレットは、若い女性読者を惹きつけるこつもよく知り抜いていたように思われる。

この雑誌の初期の巻の復刻により、今まで「中流階級でない」ため、「若い女性」向けであるため、二重に周縁化されて研究が進んでいなかった層への、ヴィクトリア朝文化研究のすそ野の広がりが、大いに期待される。

# ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生

## 第1回：英国の初期文献・資料集成 全4巻＋別冊

### Boy Scouts and Girl Guides in the UK – A Collection of Early Sources

【編集・解説】 藤本茂生（帝塚山大学）

(The Foundation of Boy & Girl Scout Movements, Series 1)

2012年6月刊行 B5判・約1,550頁 本体セット価¥78,000-（+税） ISBN 978-4-902454-76-5

- 20世紀初頭の英国で始まり、米国や日本を含む世界へと国境を越えて広がったボーイスカウト、ガールスカウト（ガールガイド）運動の成立と初期の活動史を、同時代文献でまとめるシリーズ第1回配本。
- 初回配本では英国の文献全4点を複製集成し、第2回配本で米国の資料をまとめる。
- 運動の創始者ロバート・ベーデン-パウエル自身が執筆し6分冊で刊行した『スカウティング・フォア・ボーイズ』と題するボーイスカウト最初のハンドブック、ベーデン-パウエルが妹アグネスと共著し『少女はいかにして帝国の建設を助け得るか』という副題をもつガールスカウト最初のハンドブック、そして英国ボーイスカウト、ガールガイドそれぞれの連盟が公式な活動史として出版した二つの著作を収録。
- イラスト、写真等も含め原著を忠実に複製。
- 編者の解説（日本語）に加え、日本のボーイスカウト運動の始まりを英文で紹介した戦前の稀覯なパンフレットを付録。
- 英米児童文化・教育史の資料としてだけでなく、国境を越えたグローバルな観点から、20世紀初頭の子どもと革新主義・帝国主義の関係、少年向けと少女向けの資料の対比からのジェンダー史研究、児童教育と環境保護との関係等々、今日の多様な研究テーマのための一次文献として活用可能。

#### ◆収録文献◆

##### VOL. 1:

Preface by Shigeo Fujimoto

Baden-Powell, Robert

*Scouting for Boys: A Handbook for Instruction in Good Citizenship*, Part I-VI

London: Horace Cox, 1908, c. 425 pp.

##### VOL. 2:

Baden-Powell, Agnes, and Robert Baden-Powell

*The Handbook for Girl Guides, or How Girls Can Help to Build the Empire*

London: The Girl Guides Association, 1912, c. 475 pp.

##### VOL. 3:

Wade, Eileen Kirkpatric

*Twenty-One Years of Scouting:*

*The Official History of the Boy Scout Movement from Its Inception*

London: C. Arthur Pearson Ltd., 1929, c. 345 pp.

##### VOL. 4:

Kerr, Rose

*The Story of the Girl Guides*

London: The Girl Guides Association, 1932, c. 300 pp.

別冊：－解説（藤本茂生）

－大日本少年團聯盟編（Dai Nippon Shonendan Renmei, ed）

*Scouting in Japan for Fifteen Years*

Imperial Headquarters of Boy Scouts of Japan, 1937, c. 15pp.

－The Boy Scouts, Chapter CCLIII of *The Times History and*

*Encyclopaedia of the War*

London: The Times Publishing Company, 1918, c. 38pp.



# ボーイスカウトとガールスカウト運動の誕生

## 第2回：米国の初期文献・資料集成 全4巻+別冊

### Boy Scouts and Girl Guides in the USA – A Collection of Early Sources

(The Foundation of the Boy & Girl Scout Movements and Girl Scouts, Series 2)

【編集・解説】 藤本茂生 (帝塚山大学)

2015年4月刊行 A5判・約1,800頁 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-902454-77-2

- 20世紀初頭の英国で始まり、米国や日本を含む世界へと国境を越えて広がったボーイスカウト、ガールスカウト運動の成立と初期の活動史を、同時代文献でまとめるシリーズの第2回完結編。
- 英国編に続く第2回配本では米国での資料7点を収録し、英米編合計全8巻に英米でのスカウト運動の起源と初期の活動に関する同時代の主要史資料を網羅。イラスト、写真等も含め原著を忠実に復刻。編者の詳細な解説を別冊に加える。
- 第2回米国編には、米国で最初に使われたボーイスカウトとガールスカウトの「ハンドブック」とスカウト連盟関係者自身が著した草創期の歴史書に加え、スカウトを含む青少年や女子社会事業全体に関する同時代の文献を収録し、より客観的な視点からも初期の活動を概観しその評価を可能にする。
- 英米児童文化・教育史の資料としてだけでなく、国境を越えたグローバルな観点から、20世紀初頭の子どもと革新主義・帝国主義の関係、少年向けと少女向けの資料の対比からのジェンダー史研究、児童教育と環境保護との関係等々、今日の多様な研究テーマのための一次文献として活用可能。

#### 【収録文献】

Vol. 1: c. 360 pp.

Seton, Ernest Thompson

*Boy Scouts of America: Official Handbook*

New York: Boy Scouts of America, 1910, c. 192pp.

*How Girls Can Help Their Country (Handbook for Girl Scouts)*

New York: Girl Scouts of United States of America, 1917, c. 154pp.

Vol. 2: c. 580 pp.

Murray, William D

*The History of the Boy Scouts of America*

New York: Boy Scouts of America, 1937, c. 574pp.

Vol. 3: c. 310 pp

Forbush, William Byron

*The Boy Problem: A Study in Social Pedagogy*

Boston: Pilgrim Press, 1902, c. 207pp. [4th edition] (1st edition in 1901)

McCormick, William, 1866-1923

*The Boy and his Clubs, ... with a Foreword by Thomas Chew*

New York & Chicago: Fleming H. Revell Co., 1912, 96 p.

Vol. 4: c. 500 pp.

Wright, Katharine O.

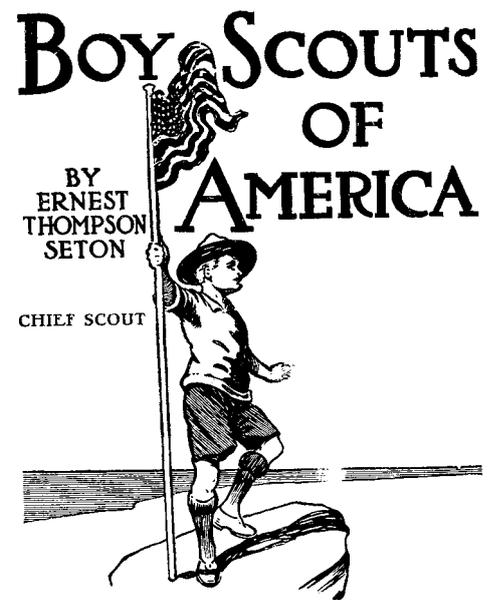
*Twenty-Five Years of Girl Scouting, 1912-1937*

New York: Girl Scouts of United States of America, 1937, c. 107pp.

Ferris, Helen Josephine

*Girl's Clubs, Their Organization and Management: A Manual for Workers*

New York: E.P. Dutton, 1918, c. 383pp.



# アーサー・ミー編集 イギリス児童大百科

Children's Encyclopedia, 10 volumes edited by Arthur Mee

\*全 10 巻 総 7,500 頁を 2 回配本にて復刻\*

## PART 1: VOL. 1-5

別冊解説：高山宏（明治大学国際日本学部教授）

2009 年 1 月刊行

A5 判 約 3,750 頁 図版入（白黒・カラー多数）

本体セット価 ¥128,000-（+税）

ISBN: 978-4-902454-49-9

## PART 2: VOL. 6-10

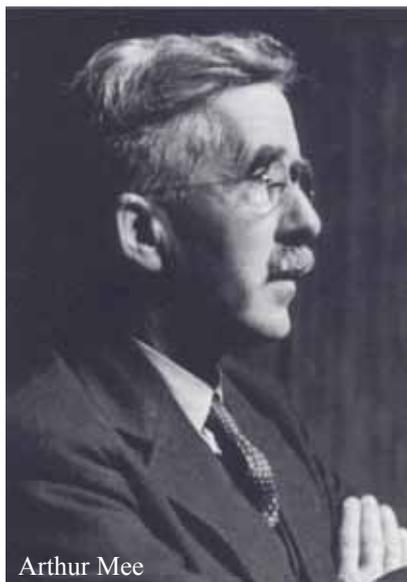
別冊解説：窪田憲子（都留文科大学文学部教授）

2009 年 11 月刊行

A5 判 約 3,700 頁 図版入（白黒・カラー多数）

本体セット価 ¥128,000-（+税）

ISBN: 978-4-902454-50-5



Arthur Mee

20 世紀初頭に編集者アーサー・ミーが発案し隔週刊で創刊、英国家庭向けに大成功した子ども百科が復刻されました。図解百科 *I See All* を始め、子ども向け教育、参考書を数多く企画、編集したミーの代表作で、ヴィクトリア朝末期の英国でもっとも広く予約購読された出版物の一つとされています。その成功は世界各地へと広がり、ヨーロッパ各国語版が出版されています。

日本においても、大正時代に新教育運動を主導し成城学校を創設した沢柳政太郎が、後に玉川学園を創立する小原國芳への外遊土産として英国より本書を持ち帰り、この百科事典をもとに 1932 年小原が『玉川児童百科』全 30 巻を出版したことが知られています。

*I See All* 同様、本書においてもミーの独創性はいかなく発揮されており、従来の A-Z 式の記事の配列をまったく用いず、子どものための知識を〈Earth and Its Neighbours〉、〈Men and Women〉、〈Ourselves〉、〈Things to Make & Do〉など 19 の大項目に分類、各巻中でそれぞれの項目をさらに数件のテーマにわけて解説するという斬新きわまる編集方針が採られています。（各項目の明細は次頁以降を参照ください。）また、ミーが得意とする図版、イラストを多く用いた視覚的な編集方針も全巻を貫いており、いわゆる「引く」ための事典でなく、まさに「読み、見る」ことにより知識を身に付けさせることを目的とした、「本」としての百科事典の真髄がこの事典の魅力でしょう。

出版後一世紀を経た今日、本書は英米児童文学・文化史研究の貴重な資料であると同時に、新たな知や文化の枠組みを形作り、それにより 20 世紀の新しい精神で子どもたちを育てようとした英国出版文化の記念碑的鴻業とも言えます。英米文化、比較文化の広範な研究の資料としてどうぞご利用ください。



# 女性のための医学読本

—ヴィクトリア期から 20 世紀初頭の英米文献集成—

【復刻版】全 5 巻

残部僅少

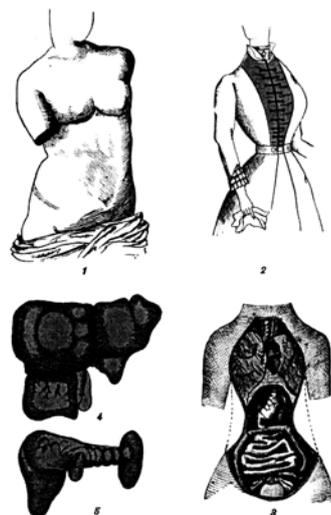
Medical Advice for Women, 1830-1915

【編集 & 解説】 Ruth Robbins, School of Cultural Studies, Leeds Metropolitan University, UK

2008 年 12 月刊行 約 2,300 頁 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-038-2 ※プリント・オンディマンド版

## 本書の特色

- 医学、生物学がめざましい発展を見せた 19 世紀から 20 世紀初頭は、男性中心であった医学界が大きな変動を示した時期であり、今日フェミニズム研究者が強い関心を示しているジェンダーと医学・医療の関係を探る上で、最も注目されている時代です。
- 本コレクションは、年代順に女性のための医学本 9 点を集成し、この時代の女性に関する医学と社会思想、科学、宗教などのかかわりの変革を文献で辿る画期的な史資料集です。
- 科学的に女性の医療を扱った書物と同時に、大衆向けヘルス・ケアのガイドなども収録。
- 編者の詳細な書き下ろし解説付き。



# 帝国史のなかの子ども

—19 世紀～ 20 世紀初頭の史資料復刻集成— 全 4 巻

Children and Empire

Edited and Introduced by Cheryl M. Cassidy & Andrea Kaston-Tange, Eastern Michigan University, USA

2012 年 12 月刊行 234 x 156 mm ・ 約 1,600 頁 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-86166-176-1

- 好評既刊『女性と大英帝国』に続く帝国史関連一次文献集成の第 2 弾
- 英米を中心に子どもと帝国主義に関わる多様な史資料 180 点弱を復刻収録
- 子どものありかたが大きく変わった 19 世紀における、国家の理想とする子ども像や国家間の差違、身体、育児、教育、道徳、遊び、労働、移民、キリスト教宣教など多様な問題に同時代の文献でせまる画期的資料集
- 同時代の新聞・雑誌記事、書籍からの抜粋に加え広告、写真図版も多数掲載。編者による詳細な解題付
- 英米帝国史、英米児童教育・文学・文化研究に必携

## ■各巻構成■

Volume 1: The “Civilizing” Mission: Education, Morality and Conversion

Volume 2: Management of Children: Life in Sickness and in Health

Volume 3: Migrations and Cultural Differences: Children throughout the Empire

Volume 4: Empire’s Children at Home: The Domestic Impact of a Presence Abroad

※収録文献の詳細は、<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-176-1.html> でご覧いただけます。

# 女子学園小説

18～20世紀初頭英語圏作品復刻集成 38文献・全6巻

Girls' School Stories in English, 1749–1929

残部僅少

【編集・解説】 Kristine Moruzi, University of Alberta, Canada & Michelle J. Smith, University of Melbourne, Australia

2013年9月刊行 総約2,400頁 本体セット価¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-180-8

英米文学研究、児童文化、女性史など様々な領域で関心の高まる、女子校を舞台とした小説の初の学術コレクションです。18世紀末に少女向けの道徳、宗教教育の一つの手段として英国で始まったこのジャンルの出版は、19世紀に入ると宗教色を薄め、学校生活のルール、理想的な女性像や女性同士の友情の教えなど、その目的や題材も変化します。女性教育の中流層への拡大や女性の社会意識の向上したこの時代、少女や若い女性向けの小説として英国内で人気が高まると同時にその影響は海外へも広がり、アメリカを始めカナダ、オーストラリアなど大英帝国植民地でも多くのこの分野の小説が発表され、1920年代頃にそのピークを迎えたとされています。

本コレクションはこの女子学園小説の系譜を年代順に追うと同時に、各巻それぞれの時代に特徴的なテーマの代表作品と同一テーマの小説の抜粋や女性誌に掲載された短編小説をまとめ、発表時のテキストそのままに復刻します。英国だけでなく、アメリカやオーストラリア、カナダなど大英帝国植民地の作品も含め計38点を収録、この文学ジャンルの全体像を提示いたします。編者の詳しい解説を入ります。

●収録文献 ●※太字タイトルは全テキスト、その他は抜粋を収録。

## Vol. I: MORAL EDUCATION

1. Sarah Fielding. *The Governess, or The Little Female Academy*. Dublin: 1749.
2. Dorothy Kilner. *Anecdotes of a Boarding School; or, An Antidote to the Vices of Those Useful Seminaries. Vol. I and II., 1790.*
3. Emma Worboise. "Chapter V", "Chapter VI", "Chapter VII." *Grace Hamilton's Schooldays*, 1856.
4. Grace Stebbing. "Mademoiselle Makes Hot Coffee." *That Aggravating School-Girl*, 1885.
5. Elizabeth Westyn Timlow. "Where is Hester?" and "Mrs Conway." *A Nest of Girls, or Boarding-School Days*, 1901.
6. Ethel Hume Bennett. "Putting It Through." *Judy of York Hill*, 1922.

## Vol. II: THE NEW GIRL

7. Anon. "Chapter III." *The Boarding School; or, Familiar Conversations Between a Governess and Her Pupils, Written for the Amusement and Instruction of Young Ladies*, 1823.
8. L.T. Meade. *Wild Kitty*. London: W & R Chambers, 1897. 364 pp.
9. Agnes Adams, "Vic and the Refugee." *Australasian Girl's Annual* (1916).
10. Pamela Hinkson. "Marie." *Collins' Schoolgirls Annual* [1923?].

## Vol. III: UNRULY FEMININITY

11. Mary Hughes, *The Rebellious Schoolgirl*, 1821.
12. Edis Seale. "Our Plot." *Maggie's Mistake: A Schoolgirl's Story*, 1874.
13. Evelyn Sharp, *The Making of a Schoolgirl*, 1897.
14. Raymond Jacberns (Georgiana Mary Isabel Ash). *The Girls of Cromer Hall*, 1905.
15. L.L. Weedon. *Madcap Molly*, 1903.
16. Katherine Newlin. "Teddy vs. Theodora." *Australian Girl's Annual* (1910).
17. Lilian Turner. "The Girl from the Back-Blocks" and "In Ambush." *The Girl from the Backblocks*, 1914.

## Vol. IV: DUTY AND RESPONSIBILITY

18. Juliana Ewing. "Chapter XIII," "Chapter XIV," "Chapter XV," "Chapter XVI," "Chapter XVII," and "Chapter XVIII." *Six to*

*Sixteen: A Story for Girls*. (1874). London: George Bell, 1886.

19. Angela Brazil. "The School Union." *The Patriotic Schoolgirl*, 1918.
20. Elsie Jeanette Oxenham, *The Abbey Girls*, 1920.
21. Margaret C. Field. "Out of Bounds." *Australian Girls Annual* (1925).
22. Jean Ashley. "A True Sport." *Our Girl's Annual 2* (1928).
23. Ethel Talbot. "A Guide and a Ghost." *Girl Guide Stories*, 1929.

## Vol. V: FRIENDSHIP AND FUN

24. Anon. Little Pansy: *A Story of the School Life of a Minister's Orphan Daughter*, 1864.
25. Isabella Fyvie Mayo. "Aunt Winifred's Friends." *Routledge Every Girl's Annual I*(1881).
26. Louise Mack. *Teens: A Story of Australian Schoolgirls*. Sydney: Angus & Robertson, 1897. 266 pp.
27. Jessie Graham Flower. "The Accident of Friendships." *Grace Harlowe's Plebe Year at High School*. Philadelphia: Henry Altemus, 1910. 7-18. 12 pp.
28. Marjorie Stanton, "The Girl Who Kept to Herself." *Schoolgirls Own Annual I*(1923): 195-223. 29 pp.
29. Constance Mackness. "The Annual Dance." *The Glad School*. Sydney: Cornstalk Publishing, 1927. 125-34. 10 pp.
30. Mary Bouchier Sanford. "The Merry Maids of Meridel: A Story of Canadian School Life." *Schoolgirls Story Bumper*. ND, NP. 41 pp.

## Vol. VI: HIGHER EDUCATION AND WOMEN'S RIGHTS

31. SOLA (Olive San Louie Anderson). *An American Girl and Her Four Years in a Boys' College*, 1878.
32. L.T. Meade. "Going Out in the World," "Why Priscilla Peel Went to St. Benet's," "College Life," "Two Extremes," and "Come and Kill the Bogie." *A Sweet Girl Graduate*, 1891.
33. Abbe Carter Goodloe. "Revenge." *College Girls*, 1895.
34. Grace Stebbing. "The New Woman." *Young Woman 4* (1896).
35. L. Elliott. "Woman's Suffrage at St. Austin's." *Girl's Realm 14* (1912)
36. Florence Bone. "The Blues and the Purples." *Margot's Secret, or, The Fourth Form at Victoria College*, 1911.
37. Jean Webster. "The Virgil Strike." *Just Patty*, 1911.
38. Beatrice Embree. "Jill at Work and Play." *The Girls of Miss Clevelands'*, 1920.

# ヴィクトリア朝セレブリティ大事典 全2巻

People of the Period,

a Collection of the Biographies of Upwards of Six Thousands Living Celebrities

【編集】 A. T. Camden Pratt

2005年9月刊行 B5判約1,092頁 本体セット価 ¥78,000-(+税) ISBN 978-4-901481-85-4 ■底本 1897年刊

## 本書の特色

- 19世紀末にロンドンで刊行された Who's Who
- ヴィクトリア期の著名人約 6000 人の人物情報
- 今日の学術人物事典に収録されていない当時の有名人や、英国社会で名の知れた他国人も多数掲載
- 同時代の大衆への知名度や評判を知るための最良の人物資料

## 【復刻集成】 子どものためのチャップブック

— 19世紀英国伝承歌・物語・絵本集— 全1巻+別冊和文解説

Songs and Tales for Children: A Collection of Chapbooks in 19th-Century Britain

【編集・解説】 三宅興子（梅花女子大学名誉教授） 【協力】 梅花女子大学図書館

2008年5月刊行 B5判・約211頁（図版多数） 本体価 ¥19,800-(+税) ISBN 978-4-902454-40-6

## 本書の特色

- 19世紀前半の英国で子ども向けチャップブックのシリーズを発行した重要出版社、ケンドリュー社（ヨーク）、ラッシャー社（バンバリー）の出版物40点（他3点）を完全復刻。いずれも現在、入手は極めて困難な貴重資料。
- 児童文学のみならず広く大衆文化史研究の素材としても重要。



## 編者のことば

三宅興子（梅花女子大学名誉教授）

「チャップブック」というのは、チャップマンという行商人が荷物に入れて売り歩いたことから、後に、本のコレクターが総称するようになったイギリスの民衆本のことである。流布していたのは、17世紀後半から200年ぐらいの間である。一枚の紙の裏表に木版で刷られ、さし絵がついていることが多い。それを、折りたたんで、8か16か32ページなどの小型本にして、発売した。

本を読むという行為が社会のかなりの人々に広がり、19世紀に入ると人口の約半数が識字できたといわれている。それに加えて、印刷技術の普及によって、地方にも家内工業ではあるが、出版業が成立していったことが、チャップブックがイギリス全域で普及した背景にあった。

チャップブックは、簡単に印刷できるので、話題性のある出来事や流行している小話や唄、占いなども含めて、多岐にわたるテーマを取り扱っており、18世紀末になると、明らかに、子ども読者向きとおもわれるものも出てくるようになった。ヨークのケンドリューやバンバリーのラッシャーなど19世紀前半には、子ども向けのシリーズを出版する者もあらわれてくる。こうした民衆本によって、その時代の読者に受け入れられ、普及したタイトルが何であったのか、また、稚拙な木版に表現された図像によって表象されているものが持つ意味を考察することができる。

この復刻コレクションは、主に、19世紀前半の地方出版のものが中心になっている。同一タイトルの人気作品が、各地の出版社でみられるなど、教育的な立場から、否定的に扱われていた民衆の好む伝承性の高い作品—昔話やロマンス、マザーグース、特にノンセンスな唄など—が多数みられることは注目に値するだろう。また、教育的な材料である「ABC絵本」も楽しいものにできあがっているし、「ロンドンの物売り」などのタイトルは、当時の物売りの声や風俗を知ることが出来る。児童文学、伝承文学、文化史、社会史、読者論、図像学など、さまざまな分野に関わる方々に興味深いコレクションになっている。

# 女性フェアリー・テイル作家復刻選集

オーノワ夫人 / アン・サッカレー・リッチー / メアリー・ド・モーガン

全4巻+別冊日本語解説

## Literary Fairy Tales by Women Writers

【監修】松村昌家 / 【編集・解説】村井まや子（神奈川大学）

2010年9月刊行 A5判・約1,860頁（白黒図版多数） 本体セット価 ¥98,000 - （+税） ISBN 978-4-902454-66-6

英国の読者に最も古くから親しまれた文芸フェアリー・テイルを著したフランスのオーノワ夫人、オーノワ夫人に直接的な影響を受けた、英国のアン・サッカレー・リッチーに加え、モリス、ラスキン、ロセッティ兄妹などラファエル前派との家族ぐるみの交流のなかで育ち、ヴィクトリア時代の女性の視点から辛辣な社会批判に満ちた幻想物語を創造したメアリー・ド・モーガン。これら3作家の主要作品を網羅する復刻文献集です。ウィリアム・ド・モーガン、ウォルター・クレインなどによる貴重な挿絵も多く含みます。近年再評価の進む、近代フェアリー・テイル文芸の発展と、女性作家が果たした役割を考察する上で欠かせない作品群であり、児童文学研究のみならず、女性史・社会史・比較文化の研究にもお薦めいたします。



### ◆収録内容◆

**VOL.1** (c.530 pp.)

Madame d'Aulnoy,

*'The Tales of the fairies'*

(Chap. IV of *The Diverting Works of the Contess d'Anois*,

2nd edition), London: John Nicolson, 1715

De Morgan, Mary,

*On a Pincushion, and Other Fairy Tales*,

London: Seeley, Jackson & Halliday, 1877

(with Illustrations by William de Morgan)

**VOL.2** (c.465 pp.)

De Morgan, Mary,

*The Necklace of Princess Fiorimonde, and Other Stories*,

London: Macmillan & Co., 1880 (with Illustrations by Walter Crane)

De Morgan, Mary,

*The Windfairies*,

London: Seeley & Co., 1900 (with Illustrations by Olive Cockerell)

**VOL.3** (c.430 pp.)

Ritchie, Anne Thackeray,

*Bluebeard's Keys and Other Stories*,

London: Smith, Elder & Co., 1874

**VOL.4** (c.440 pp.)

Ritchie, Anne Thackeray,

*Five Old Friends and a Young Prince*,

London: Smith, Elder & Co., 1868

(with Illustrations by Frederick Walker)

ロバート・チェンバーズ編著

# スコットランド歌謡・バラッド・伝承詩集成 全4巻+別冊日本語解説

Scottish Songs, Ballads and Popular Rhymes, edited by Robert Chambers

【監修・解説】 照山顕人（関東学園大学）

2010年12月刊行 B6判・c.1,555 pp. 本体セット価¥88,000-（+税） ISBN 978-4-902454-65-9

- 18世紀以降のナショナリズムの高まりに呼応し創作された、スコットランドのナショナルソング、バラッド、さらに発掘された伝承古謡・古詩を注釈・解説と共に集成。後のチャイルド版の重要な資料の一つとなった。
- 「チェンバーズ教育叢書」「チェンバーズ百科」など、19世紀のエジンバラで数々の百科事典・啓蒙書を執筆、雑誌を刊行した文人・出版人のロバート・チェンバーズが編纂。
- 明治以降の日本でも『小学唱歌集』などの音楽教科書で取り上げられた、スコットランドのナショナルソングおよびバラッドを集大成した2巻、伝承古謡・古詩などの言語伝承を紹介、解説した1巻を同時復刻。

## 【収録内容】

Vol. 1 & Vol. 2 : *The Scottish Songs; Collected and Illustrated*. Edited Robert Chambers, Edinburgh: William Tait, 1829. lxxix, 254 pp. ( vol. 1 ) / vii, 399 pp. ( vol. 2 )

Vol. 3 : *The Scottish Ballads; Collected and Illustrated*. Edited by Robert Chambers, Edinburgh: William Tait, 1829. vii, 399 pp.

Vol. 4 : *Popular Rhymes of Scotland*, new edition. by Robert Chambers, London and Edinburgh: W & R Chambers, 1870. vii, 402 pp.

最盛期のヴィクトリア時代英国と黎明期の明治日本を結んだ歴史的エンサイクロペディア  
チェンバーズ編

# インフォメーション・フォー・ザ・ピープル 全2巻+別冊

Chambers's Information for the People

残部僅少

edited by William and Robert Chambers

【監修・解説】 松永俊男（桃山学院大学）

2005年9月刊行 本体セット価 ¥78,000-（+税） ISBN 978-4-902454-13-0

底本 ■Fifth Edition, 1874. W. & R. Chambers, Edinburgh., B5判・約1,650頁

## 文部省訳『百科全書』の英文原書、 初の復刻が実現！

- 雑誌「エジンバラジャーナル」や『英国歳時記 (*Book of Days*)』等で名高いヴィクトリア朝期の出版人チェンバーズ兄弟が、すべての階級の人々に向けて執筆・出版し大成功した啓蒙書
- 明治初期日本の西洋文化移入に大きな役割を担った、文部省訳『百科全書』の原書（初の復刻）
- 「歴史」「思想」「教育」「経済」「政治」「文学」「自然」などすべての分野にわたる「知の宝庫」



Fig. 1.—Caucasian.



Fig. 2.—Mongolian.



Fig. 3.—African.



Fig. 4.—American.



Fig. 5.—Malay.

# 19世紀英国家庭と子どものための 職業読本 全6巻+別冊解説

Book of Trades: A Collection of the Nineteenth-Century Handbooks

【編集・解説】小林章夫

2008年11月刊行 A5判・2,450頁(図版白黒多数) 本体セット価 ¥128,000-(+税) ISBN 978-4-902454-48-2

## 本書の特色

- 産業革命の広がりとともに誕生した、様々な近代的職業に関する子ども向けガイドや大衆向けの絵入り事典など7点の復刻集成。
- 時代とともに細かく分業化していく職業や使用される道具、そして商業製品などを、これから子ども、学生そして一般の人々に多くの図版とともに紹介した、ヴィクトリア朝時代の多様な文献集。
- ロンドンそしてグラスゴーで出版された最初期の稀覯ガイド本から、ヴィクトリア朝最盛期にいたる半世紀をカバー。
- 19世紀英文学の背景研究そして文化史、教育史、産業史等の広い分野の資料として利用可能。

## ◆収録文献内容◆

VOL. 1:

*The Book of English Trades and Library of the Useful Arts, A New Edition Enlarged, with 500 Questions for the Exercise of Students*, London: Richard Phillips & Co., 1824, c.480pp.

VOL. 2:

*The Book of Trades or Circle of the Useful Arts*, Glasgow: Richard Griffin & Co., 1835, c.370pp.

VOL. 3:

*The Handbook of Trade and Commerce or, A Concise Dictionary of the Terms and Principles of Trade, Commerce, Manufactures, Commercial and Common Law, etc., with Tables of Money, Weights, and Measures*, New Edition., London: Darton and Clark, 1842, c.330pp.

VOL. 4:

*The Dictionary of Trade, Commerce, and Navigation: Explanatory of The Objects, Terms, Statistics, Laws and Regulations of the Excise, Customs, Public Affairs, Banking, Monies, Weights, Shipping, Fisheries, Imports, Exports, Book-Keeping, Commercial Geography, National Flags, and the General Affairs of Business Corrected up to the Latest Period*, London: Brittain & Paternoster, 1844, c.390pp.

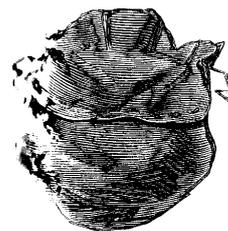
VOL. 5:

*The Book of Trades, Arts, & Professions, relative to Food, Clothing, Shelter, Travelling and Ornament for the Use of the Young* by Peter Paley, London: Darton and Co., 1855, c.125pp.

*The Boy's Book of Trades and the Tools Used in Them*, London: George Routledge & Sons, 1866, c.320pp.

VOL. 6:

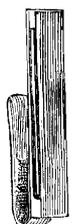
*The Book of Trades: A Circle of the Arts and Manufactures, Adapted for Schools, Colleges and Families, New Edition*, by James Wylede, London & Edinburgh: Gall & Inglis, 1878, c.414pp.



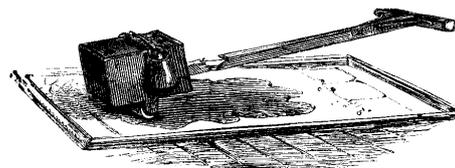
Apron.



Gloves.



Whetter.



Roller.



Leoline.



# エイダ・バリン著作集

【復刻集成】14タイトル・合本4巻

Ada S. Ballin:

Motherhood Childhood and “Baby, The Mothers’ Magazine”

【編集・解説】三井（山本）淳子（津田塾大学）

2011年4月刊行 A5判・約1820頁 本体セット価¥88,000-（+税） ISBN 978-4-902454-63-5

## ヴィクトリア時代の育児論

健康推進、育児、幼児教育のエキスパートとしてヴィクトリア後期の英国で活躍したエイダ・バリンの著作の初めての集成（復刻版）です。大英帝国が繁栄を続けるこの時代、産業革命による社会の変革に加え、科学の進歩や進化論思想の広がり、育児や社会に求められる母親のありかたにも大きな変化が生じていました。ロンドン大学（UCL）にて公衆衛生学を学んだバリン（Ada S. Ballin, 1863-1906）は、科学的な子育てや乳幼児の健康管理を広く提唱し、母親向けの雑誌 *Baby, An Illustrated Monthly Magazine for Mothers* を創刊、この雑誌を基盤に *Baby’s Exhibition* を開催するなど、英国中流家庭に発言を続けました。ちょうど、バリン自身も講演した国際健康博覧会が1884年にロンドンで開催されるなど、衛生問題や健全な子育てに関心が高まっていた19世紀後半の英国で彼女の活動は広く受け入れられ、*Baby* 誌も35年に亘り刊行が続きます。

19世紀から20世紀にかけての英国での母親像の変化や母子に関わる衣食住環境の近代化について、あらたな視点をあたえてくれる資料集です。

### 【収録内容】

VOLUME 1: Introduction by Junko MITSUI -YAMAMOTO

*Children’s Dress. A lecture, etc.*

W. Clowes & Sons: London, 1884, [International Health Exhibition Lectures, 1884, vol. 1] pp.27

*The Science of Dress in theory and practice. With ... illustrations.*

Sampson Low & Co.: London, 1885, pp.xvi. 273

VOLUME 2: *Personal Hygiene.*

F. J. Rebman: London, 1894, pp. xii. 227

BALLIN, Ada S., and WELLDON (Elinor A.)

*The Kindergarten System explained.*

London : F. L. Ballin, [1896], pp. vii, 132

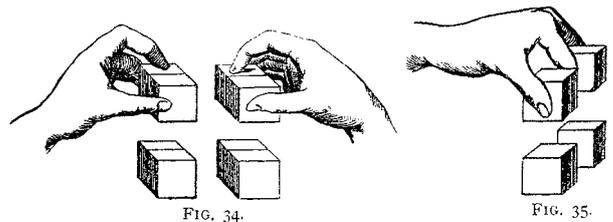


FIG. 34.

FIG. 35.

VOLUME 3: *From Cradle to School. A book for mothers.*

A. Constable & Co.: London, [1902], [Constable’s New Home Series] pp. vii. 344.

BALLIN, Ada S. (ed.) & PILLOW, H.

*Nursery Cookery*

London : F. L. Ballin, [1900], vii, 107,

VOLUME 4: *Mothers’ Guide Series.* Office of “Baby,” etc.: London, [1896-1914]

No. 1: How to Feed our Little Ones

No. 2: Baths and Bathing

No. 3: Early Education

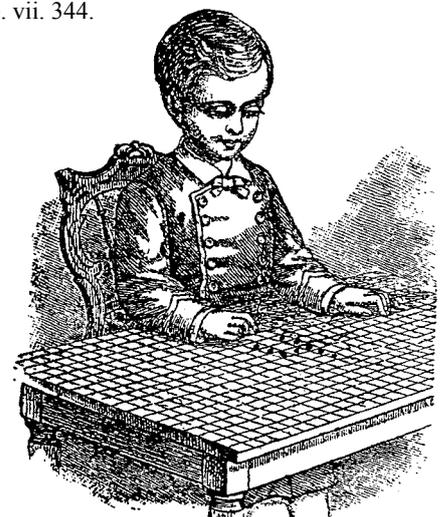
No. 4: Children’s Aliments

No. 5: The Expectant Mother

No. 6: Baby’s First Year

No. 7: The Skin Diseases of Childhood

No. 8: The Health Nursery



KINDERGARTEN TABLE.

# 子どもの文化史 – 英国 16-18 世紀文献集成 –

## 第 1 回 18 世紀初期文献集 全 4 巻 + 別冊日本語解説

Books on Children in 16th-18th Century Britain, Series I (1701-1750)

【シリーズ監修】島田孝右 第 1 回配本編集 / 解説 ■同志社大学 圓月優子

残部僅少

2006 年 12 月刊行 本体セット価 ¥98,000- (+税) ISBN 978-4-902454-31-4

- 近代的な「子ども観」の成立とその変遷を数多くの文献から探る史資料集。
- 16 世紀から 18 世紀末まで 45 件強の文献を復刻集成、各配本編者の解説付き。
- 第 1 回では 18 世紀前半の育児書、作法書、宗教・教育書など 17 点を収録。

## 第 2 回 18 世紀後期文献集 全 4 巻 + 別冊日本語解説

Books on Children in 16th-18th Century Britain, Series II (1751-1800)

【シリーズ監修】島田孝右 第 2 回配本 編集 / 解説 ■フェリス女学院大学 向井秀忠

2009 年 4 月刊行 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-30-7

- 18 世紀後半に刊行された稀覯文献 14 点を復刻集成。

### ■内容明細■

VOL. 1: 262pp.

Bourn, Benjamin

*A sure guide to Hell. In seven sections, containing directions to parents in the education of their children*, New edition, London, 1751, c.96pp.

Anon.

*The young student's assistant; or literary entertainer... Part 3: Some serious reflections on the melancholy consequences which too naturally attend the neglect of parents, in the education of their children*, London, 1752, c.13pp.

Well-Wisher to the Souls of Men

*Five letters of advice: humbly offered I to parents: concerning the education of their children in the fear of God, II To children to excite them to remember their creator in the days of their youth*, London, 1754, c.84pp.

Dawson, Benjamin

*Some assistance offered to parents with respect to the religious education of their children*, London, 1759, c.28pp.

Kennett, White

*The excellent daughter: a discourse very necessary to be given by all parents to their children, c To which is added several proper lessons of the duty of daughters*, 7th ed., London, 1760, c.36pp.

VOL. 2: 313pp.

Taylor, Philip, of Liverpool

*Virtuous children the joy of their parents. A sermon to young people*, London, 1771, c.22pp.

Anon.

*The laws respecting women, as they regard...the obligations of parent and child, Book the Fourth, Of the laws concerning parents and children; and the interests of infants* (pp.349-449 only) 1777, c.110pp.

Lancaster, Thomas

*A plan of education, for a limited number of young gentlemen... those parents, who regard the health, comfort, and virtue of their children...*, 1794, c.79pp.

Beddoes, Thomas

*A guide for self preservation & parental affection; or plain direction for enabling people to keep themselves and their children free from several common disorders.*, London, 1793, c.24pp.

Anon.

*Advice to parents on the management of their children in natural small pox, and during inoculation*, 2nd ed., London, 1797, c.66pp.

VOL. 3: 413pp.

Salzmann, Christian Gotthilf

*Elements of morality for the use of children, translated from the German*, 2 vols. in 1, London, 1793, c.410pp.

VOL. 4: 415pp.

Lawson, George

*The joy of children in wise children. A sermon*, Edinburgh, 1798, c.34pp.

Lovechild, Mrs.

*Parsing lessons for young children: resolved into their elements for the assistance of parents and teachers*, London, 1798, c.70pp.

Berquin, Amaud

*The family book, or, children's journal. Consisting of moral and entertaining stories...From the French*, London, 1798, c.300pp.

シリーズ

# 子どもの文化史—英国16-18世紀文献集成—

## 第3回 16-17世紀文献集 17文献・合本5巻+別冊日本語解説

### Books on Children in 16th-18th Century Britain, Series III (1571-1699)

【シリーズ監修】島田孝右 第3回配本編集 / 解説 ■静岡大学 鈴木実佳

2010年11月刊行 A5判・約2,250頁 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN 978-4-902454-32-1

『子どもの文化史—英国16世紀～18世紀文献集成シリーズ』の第3回（最終配本）は、16-17世紀の子どもに関する文献の復刻集成です。ルネサンスの文化・宗教変革期を過ぎ、革命、内乱の17世紀の渦中、近代化へ向かうこの時代の英国では、新たな時代のため、子どもの教育や親の役割を考え、子どもの存在を論じる書籍やパンフレットなどが盛んに出版されます。後の子ども観に大きな影響を及ぼすロックの教育論が発表されたのもこの時代です。

本文献集では、16世紀後半から17世紀末の間、教育者、聖職者、思想家などが発表した多様な育児論、教育論から、今日入手の困難な文献でこの時代の特徴的な教育書、子ども論17点を収録。編者による概説と各書の解説が別冊に付録されています。

#### ■内容明細■

##### VOL. 1: (c.360pp)

Plutarch, Translated and partly augmented by E. Grant

*A president for parents, teaching the vertuous training of children and holesome information of young men*, London, 1571.

Kempe, William

*The education of children in learning: declared by the dignities, utility, and method thereof...*, London, 1588.

Lyster, John

*A rule how to bring up children, a treatise wherein is declared, how the father appropeth his sonne in the holy Scripture...*, London, 1588.

##### VOL. 2: (c. 560pp)

Anon.

*The office of Christian parents: shewing how children are to be governed throughout all ages and times of their life*. Cambridge, 1616.

Leigh, Dorothy

*The Mothers Blessing: or, the godly Counsaile of a Gentlewoman not long since deceased, left behind her for her children...*, London, 1616.

##### VOL. 3: (c.550pp)

Anon. (W.C.)

*A schoole of nurture for children or The duty of children in honouring their parents...*, London, 1656.

Anon.

*The school of learning; or, A guide for children...*, London, 1668.

Stockton, Owen

*A treatise of family instruction wherein it is proved to be the duty of parents and master of families to train up their children and servants in knowledge of the scriptures...*, London, 1672.

Anon.(H.P.)

*A looking-glass for children. Being a narrative of God's gracious dealings with some little children...*, London, 1673.

##### VOL. 4: (c.440pp)

Lawrence, Edward

*Parents groans over their wicked children several sermons on Prov. XVII, 25*, London, 1681.

Wait, Joseph

*The parents primer and the mothers lookingglasse. Or, Counsel for parents in the education of children...*, London, 1681.

##### VOL. 5: (c. 310pp)

Lawson, Thomas

*A serious remembrancer to live well written primarily to children and young people...*, London, 1684.

Burgess, Daniel

*Advice to parents and children, the sum of a few sermons, contracted, and published at the request of may pious hearers*, London, 1690.

Heywood, Oliver

*The best entail, or, Dying parents living hopes for their surviving children grounded upon the covenant of Gods grace, with believers and their seed...*, London, 1693.

Bellers, John

*An epistle to Friends, concerning the education of children*, London, 1697.

Curtois, John

*An essay to persuade Christian parents to educate their children in virtue and piety from the consideration of God's commands...*, London, 1697.

Ainsworth, Robert

*The most natural and easie way of institution containing proposals for making a domestic education less chargeable to parents and more easie and beneficial to children...*, London, 1699.

# マザーグース初期英米選集コレクション

## 全6巻+別冊解説

### Mother Goose Library 1: Collection of Early Editions

【編集】藤野紀男 【別冊日本語解説】藤野紀男&夏目康子

2004年10月刊行 約2150頁(図版白黒多数) 本体セット価¥138,000-(+税) ISBN 978-4-902454-04-8

- マザーグース・英国児童文学研究のための学究版コレクション。
- 最初期のマザーグース集から、19世紀末までの英米の選集13点を収録。
- 英米文学研究だけでなく、英米大衆文化、出版文化史研究資料としても重要。

#### 【内容明細】

VOL.1: *Mother Goose's Melody: or, Sonnets for the Cradle*, in Two Parts., London, Francis Power, 1791, Reprinted from A Facsimile Reproduction, 1904, with an introduction and notes by Colonel W. F. Prideaux.

*Mother Goose's Melodies, The Only Pure Edition*, 1833.

VOL.2: Halliwell, James Orchard, *The Nursery Rhymes of England, Obtained principally from Oral Tradition.*, 2nd ed., 1843.

*Nursery Rhymes, Tales, and Jingles*, 2nd ed., 1846.

VOL.3: *Mother Goose's Melodies, selected and arranged by My Uncle Solomon*, 1850.

*Mother Goose's Melodies Illustrated*, c1860.

*Melodies for Children, or Songs for the Nursery, with Notes, Music, and an Account of the Goose or Vergoose Family and with illustrations by Henry L. Stephens and Gaston Fay*, 1869.

VOL.4: *Mrs. Partington's Mother Goose's Melodies containing All the original rhymes of Mother Goose, besides many others of a similar character*. Edited by Uncle Willis, 1874.

Tileston, Mary Wilder., *Sugar and Spice and All That's Nice*, 1885.

*Favourite Rhymes for the Nursery, with Numerous Pictures and Picture-Pages*, 1887.

VOL. 5: Baring-Gould, Sabine, *A Book of Nursery Songs and Rhymes*, with illustrations by members of The Birmingham Arts School under the direction of A. J. Gaskin, 1895.

*Mother Goose's Nursery Rhymes and Melodies*, Complete Edition, c 1894.

VOL.6: Lang, Andrew, *The Nursery Rhyme Book*, illustrated by L. Leslie Brooke, 1897.

## 英国妖精文学：19世紀文献集成シリーズ

### 第2集：物語集 第1期 全5巻

残部僅少

### Victorian Sources of Fairy Tales: Pt.2 A Collection of Stories (A)

【編・序】Robert A. Gilbert 2003年1月刊行 本体セット価¥98,000-(+税) ISBN 4-901481-33-9

19世紀に刊行され人気を博した物語集。チャールズ・ラムによる「美女と野獣」のように著名な文学者による児童書から、この時代の作家により再編集された物語集など計7作がまとめられています。

#### ■内容明細■

VOL. 1: General Introduction by Robert A. Gilbert

*Fairy Tales, or, The Court of Oberon: containing thirteen choice pieces* / by the celebrated Queen Mab, Mother Goose, Mother

Bunch, Master Puck, and other distinguished personages... (1824)

Charles Lamb, *Beauty and the Beast* (1887)

Charles Lamb, *Prince Dorus* (1887)

シェイクスピア戯曲にも登場するマブ女王や妖精パックを主人公とする13の物語集とチャールズ・ラム版絵入「美女と野獣(アンドリュー・ラングの序文付)」と「プリンス・ドラス」を収録。

VOL. 2: Anthony Hamilton, *Fairy Tales and Romances* (1849)

アントニー・ハミルトンによる18世紀妖精物語の選集。

VOL. 3: Mrs D.M. Craik, *The Fairy Book. The best popular fairy*

*stories selected and rendered anew* (1863)

「ブラウニーの冒険」の作者ダイナ・マライア・クレイクによる子供向けの妖精物語集。31の昔話が彼女の手により書き直されている。

VOL. 4: George MacDonald, *Dealings with the Fairies* (1867)

子供と大人両方向けのファンタジー作家として、19世紀を代表するジョージ・マクドナルドのオリジナル妖精物語集。作者はラスキンやルイス・キャロルとも親交、その作品はC. S. ルイスの「ナルニア国物語」にも大きな影響を与えた。

VOL. 5: E.H. Knatchbull-Hugessen [Lord Brabourne], *Friends and Foes from Fairyland* (1886)

「チャーリーと妖精たち」の作者エドワード・H・ナッチブル＝ヒューゲッセンによるオリジナル物語3作。当時大変人気のあった作品集。

# スピリチュアリズムと近代社会

～英米スピリチュアリスト文献集成 全4巻

## Spiritualism and Anglo-American Society, 1840-1930

Edited and introduced by Patricia Pulham, Univ. of Portsmouth, Christine Ferguson, Univ. of Glasgow, Rosario Arias, Univ. of Málaga, Spain & Tatiana Kontou, Univ. of Sussex

2014年1月刊行 約1,600pp. 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-86166-177-8

近代科学や進化論の普及する19世紀英国の社会の一方で広がった、魂の不死を信じそれを証明しようとするこの主義・思潮は、宗教家、思想家だけでなく作家、文学者から精神医学者、心理学者など科学者をも巻き込んでゆきました。20世紀にいたるまで社会の様々な側面に影響を与え続けたスピリチュアリズムは、英国文化研究の大きな主題の一つで、これまでも資料集はいくつか編集されています。それら資料集の大部分が「スピリチュアリズムに関する」資料集であるのに対し、今回のコレクションは19世紀～20世紀初頭のスピリチュアリズムの実践家やその信奉者の著述を中心に選択され、より直接的なヴィクトリア朝スピリチュアリズムへのアプローチを可能にするものです。70点近い資料を「人間(人種と優生学)」、「文学」、「科学・技術」という3つの分野に大別し3巻に収録、さらにこの時代の反スピリチュアリストによる文献を1巻にまとめ加えます。各巻に編者の解説が書き下ろされ、最終巻末には索引を備えています。

### 【収録内容】

Volume 1: Spiritualism: Health, Race, and Human Variation

Edited by Christine Ferguson

Volume 2: Spiritualism in Literature

Edited by Patricia Pulham

Part 1: Spiritualism in Poetry

Part 2: Spiritualism in the Novel

Part 3: Communing Spirits

Part 4: Seances and Clairvoyance

Part 5: Spirit Writings

Part 6: Hauntings

Volume 3: Spiritualism, Science and Technology

Edited by Rosario Arias

Part 1: Spiritualism and Science before Psychic Research

Part 2: Spiritualism, Science and Psychic Research

Part 3: Spiritualism, Science and Technology

Volume 4: Anti-Spiritualism

Edited by Tatiana Kontou



※収録文献の詳細は

<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-177-8.html> でご覧いただけます。

# ファン誌選集コレクション

## 6タイトル・合本3巻+別冊日本語解説

### FUN - A Collection of Books from the Victorian Weekly Magazine

【監修・解説】新井潤美（東京大学）

2010年1月刊行 本体セット価¥58,000-（+税） ISBN 978-4-86166-126-6

総頁数：約1,050頁（ほぼ全頁に図版入）/サイズ：B5判

## 『パンチ』のライバル誌『ファン』掲載の諷刺画、漫画、記事を精選した 6タイトルを復刻集成

### 本書の特色

- ‘Poor man’s Punch’または‘Funch’と称され、ヴィクトリア朝の諷刺雑誌『パンチ』としのぎを削った『ファン』誌の編集部が、雑誌の全盛期1870-80年に雑誌掲載のカリカチュア、漫画（カートゥーン）や諷刺記事を選び出版した、精選集6点を復刻集成。
- 『パンチ』より低所得者層を対象読者として1ペニーで販売された週刊誌で、よりリベラルな編集方針のもと1861年より約40年間にわたり刊行が続き、特に今回復刻される諸選集が編まれた70年代には、発行部数も2万部に上ったとされる。
- 当初『パンチ』誌用の図版製作に携わっていた著名な彫版工ダルジエフ兄弟が1870年より出版者となり、トム・フッドを編集長に、アンブローズ・ビアス、G・R・シムズなどの諷刺作家を執筆者に起用し、なかでもサヴォイ・オペラの作者W・S・ギルバートが本誌に深く関わったことが広く知られている。
- 『ファン』誌を所蔵する図書館は極めて少なく、『パンチ』に比し今まで研究対象とされることは少なかったが、今回は雑誌全盛期編まれた主要精選集を復刻し、そのエッセンスを研究・教育用に提供する。
- 英国19世紀文化・社会史研究を初め、西洋漫画史の資料としても重要な文献。

### ■収録明細■

VOLUME 1: c.490 pp.

Preface by Megumi ARAI

*The Essence of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood*

London: The “Fun” Office, 1872, c.255 pp.

*The Cream of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood*

London: The “Fun” Office, 1873, c.220 pp.

VOLUME 2: c.250 pp.

*The British Working Man by One who does not Believe in him and other*

Sketches, by J. F. Sullivan, Engraved by Dalziel Brothers

London: The “Fun” Office, 1878, c.115 pp.

*The British Tradesman and Other Sketches including The Complete Builder, by J. F. Sullivan, Engraved by Dalziel Brothers*

London: The “Fun” Office, 1880, c.120 pp.

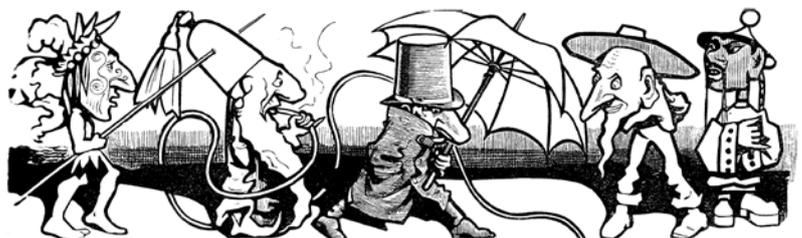
VOLUME 3: c.300 pp.

*One Hundred Cartoons from the Pages of Fun*

London: The “Fun” Office, 1880, c.100 pp.

*The Extract of Fun, A Cordial for Young and Old with Hundreds of Comic Illustrations*

London: The “Fun” Office, [c.1800] c.200 pp.



# 英国近代郵便の成立～19世紀文献集成～

## 全8巻＋別冊解説

### The Foundations of the Modern Post

-Office in Britain; A Collection of the Nineteenth Century Sources

【編集・解説】新井潤美（東京大学）

2015年1月刊行 A5判・約3,000頁 本体セット価¥138,000-(+税) ISBN 978-4-902454-87-1



17世紀に始まった英国郵便（ロイヤル・メール）は、18世紀後半には郵便馬車による配達が始まり、郵便網も徐々に広がってゆきましたが、その近代化は1830年代にローランド・ヒルが郵便改革をとねえ、全国一律の郵便料金と料金の前納制度を確立、そして世界初の郵便切手（ペニー・ブラック）が創設されたことにより本格的に始まります。鉄道網が発達する19世紀半ばには郵送手段も馬車から鉄道に置き換えられ、街頭に郵便ポストが設置されたことなどもあり取扱量が飛躍的に増大します。その後郵便小包や郵便為替などサービスも多様化し、英国社会における情報、コミュニケーションや物流の、質、量、スピードのすべてに大きな変革をもたらしました。

本文献集は、これまで資料がまとめられていなかった、この19世紀の英国郵便近代化に関する同時代の主要著作8点を収録する復刻集です。英国郵便史の概説書や、ローランド・ヒルを始め郵便近代化に関わった人物自身による著作を中心に、ヴィクトリア期の英国郵便の実態をできる限り生き生きと伝えてくれる文献を集め、一次史資料集として提供いたします。

郵便改革の影響はヴィクトリア期の人々の生活のすみずみにおよび、19世紀英国の社会経済や生活史の研究には不可避なテーマの一つとなっています。手紙が多用される文学作品の研究でも、郵便の近代化が作り出した新たな社会環境は作品理解のためにも重要な研究対象といえます。本文献集をどうぞ広くご利用ください。

#### 【収録文献】

Vol. 1:

Joyce, Herbert

The History of the Post Office from its Establishment down to 1836

London: Richard Bentley & Son, 1893, c.470 pp.

Vol. 2:

Norway, Arthur H.

History of the Post-Office Packet Service between the Years 1793-1815

London: Macmillan & Co., 1895, c.325 pp.

Vol. 3:

Hill, Rowland

Post Office Reform: Its Importance and Practicability

London: Charles Knight, 1837, c.115 pp.

Smyth, Eleanor C.

Sir Rowland Hill: The Story of a Great Reform, Told by His Daughter

London: T. Fisher Unwin, 1907, c.340 pp.

Vol. 4:

Lewins, William

Her Majesty's Mails: History of the Post-Office and an Industrial Account of its Present Condition, 2nd ed.

London: Sampson Low, Marston & Co. 1865, c.355 pp.

Vol. 5:

Hyde, James Wilson

The Royal Mail: Its Curiosities and Romance, 2nd ed.

Edinburgh & London: William Blackwood, 1885, c.405 pp.

Vol. 6:

Tombs, R. C.,

The Bristol Royal Mail, Post, Telegraph and Telephone

Bristol: J. W. Arrowsmith, nd. [c.1899], c.295 pp.

Vol. 7 & 8

Baines, F. E.,

Forty Years at the Post-Office, A Personal Narrative, Volume 1 & 2

London: Richard Bentley & Son, 1895, c.700 pp.

# イングランドの地方都市

—ヴィクトリア期・エドワード期のガイドブックコレクション—

## Provincial Towns in Victorian and Edwardian England:

A Collection of Local Town Handbooks for the British Association of the Advancement of Science

【編集・解説】 伊藤航多（津田塾大学）

- 産業革命とともに近代化が進んだ、19世紀～20世紀初頭の英国の主要地方都市に関する同時代のガイドブックの復刻集成。
- 1831年に創立された英国科学振興協会（The British Association [for the Advancement of Science]）が、英国内各都市で巡回開催した年大会用に作成した参加者向けの開催都市ガイドから選書し、ヴィクトリア期・エドワード期英国地方都市研究のための同時代一次資料集として提供。
- 各ガイドの編集は各都市協会支部に委ねられ、いずれもそれぞれの都市の郷土史家や科学愛好家などが中心となり執筆された。各地の地理、歴史、経済、産業、教育、芸術から生態系などを簡潔にまとめ紹介しており、この時代の地方都市の客観的な史資料として信頼できるソースになっている。
- 第1期北部編、第2期中部・南部編全12巻にイングランド16都市のガイド17点を収録、多数の折込地図なども含め完全復刻。
- 多くのイギリス19世紀文学の中にも頻繁に使われる舞台となったこれらの都市の同時代のや地図は、イギリス近代史、都市・地方史研究の一次資料としてだけでなく、文学・文化研究の資料としても有用。

COMPARATIVE MORTALITY RETURNS, 1894.  
TWELVE LARGEST ENGLISH TOWNS.  
PER 1,000 POPULATION.

	POPULATION.	PERSONS TO AN AC.	BIRTH RATE.	DEATH RATE.	EMIGR. RATE.	FEVER DEATH RATE.
London ..	4,431,055	50.2	30.2	18.6	3.74	0.14
Liverpool ..	652,512	47.8	34.9	22.7	3.91	0.32
Manchester ..	529,364	41.0	33.0	22.6	3.43	0.23
Birmingham ..	501,741	39.5	32.6	20.8	3.57	0.23
Leeds ..	402,119	48.7	30.7	18.8	2.28	0.21
Sheffield ..	347,278	37.7	34.9	19.3	2.91	0.29
West Ham ..	261,297	55.3	32.6	16.1	3.00	0.23
Bristol ..	230,623	48.6	27.0	18.9	1.90	0.08
Nottingham ..	229,773	24.0	28.9	17.5	2.47	0.34
Bradford ..	225,899	23.2	25.5	16.5	1.58	0.12
Hull ..	220,841	26.8	31.9	18.9	3.32	0.28
Newcastle ..	212,223	39.5	31.1	18.5	2.68	0.15
Average 13 Large Eng. Towns ..	10,816,971	35.1	30.7	18.9	2.86	0.19

## 第1期：北部編 9文献・合本6巻＋別冊解説

### Part 1: Northern England

2014年11月刊行 A5判 総頁数：約2,350頁（折込地図・図版多数）

本体セット価：¥128,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-88-8

#### ■収録明細■

**Volume 1:** [Newcastle-upon-Tyne] *A Hand-book to Newcastle-on-Tyne*, 1863, c. 350 pp.

**Volume 2:** [York] *A Handbook to York*, 1906, c. 380 pp.

**Volume 3:** [Leeds and Airedale] *Handbook for Leeds and Airedale*, 1890, c.140 pp.

[Bradford] *Handbook to Bradford and the Neighbourhood*, 1900, c. 200 pp.

**Volume 4:** [Sheffield] *Handbook & Guide to Sheffield*, 1910, c. 510 pp.

**Volume 5:** [Manchester] *Handbook of Manchester*, 1887, c. 125 pp.

[Manchester] *Manchester in 1915*, 1915, c. 120 pp.

[Liverpool] *Handbook to Liverpool*, 1896, c. 200 pp.

**Volume 6:** [Southport] *Southport: A Handbook of the Town and Surrounding*, 1903, c. 260 pp.





…本シリーズに収録したガイドブックの多くが、市庁舎や図書館、学校や病院といったアメニティの紹介に紙数を割いているのも、そうした[社会が時を追ってより高いステージへと進歩し続けるというヴィクトリア朝的]都市の近代性という理念の表れであろう。このような地域社会の進歩という筋書きは、国民意識の問題とも無関係ではない。それぞれの地域における産業や文化の発展が、ローカルな次元にとどまらず、イングランド/イギリスの国全体の繁栄に寄与してきたという「国民の歴史(ナショナル・ヒストリー)」の文脈で語られたのである。英国科学振興協会のガイドブックは、このように郷土誌をより広い視点から捉え直すのに適した一次史料であり、今後こうした文献のさらなる分析をおして、近代イギリスの社会や文化に関する研究がますます深まっていくことに期待したい。

(伊藤航多著 第2期解説「旅から郷土誌へ 英国科学振興協会のガイドブック」より)



## 第2期：中部・南部編 8文献・合本6巻+別冊解説

### Part 2: Middle & South England

2016年11月刊行 A5判 総頁数：約2,200頁(折込地図・図版多数)

本体セット価：¥128,000-(+税) ISBN: 978-4-902454-89-5

#### ■収録明細■

**Volume 1:** [Nottingham] *Allen's Illustrated Handbook and Guide to All the Places of Interest in Nottingham and Its Environs*, 1866, c.290 pp.

**Volume 2:** [Leicester] *A Guide to Leicester and District*, 1907, c. 450 pp.

**Volume 3:** [Birmingham] *Handbook of Birmingham*, 1886, c. 380 pp.

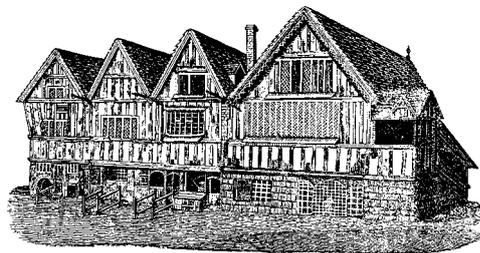
**Volume 4:** [Canterbury] *Handbook to the City of Canterbury*, 1899, c. 100 pp.

[Dover] *Handbook to Dover*, 1899, c. 130 pp.

**Volume 5:** [Portsmouth] *Handbook and Guide to Portsmouth*, 1911, c. 250 pp.

**Volume 6:** [Bath] *Handbook to Bath*, 1888, c. 290 pp.

[Bristol] *Handbook to Bristol*, 1898, c. 240 pp.



THE TOWN HALL AND PRISON, AS IT APPEARED IN 1741.

# 英国芸術家列伝 全6巻+別冊日本語解説

The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects,  
by Allan Cunningham

【監修・解説】 潮江宏三（京都市美術館館長）

2009年10月刊行 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-902454-55-0

B6判・約2,175頁（図版白黒多数） 底本：London: John Murray, 1830-1833

## 本書の特色

- ジョルジョ・ヴァザーリの著名な『(ルネサンス) 美術家列伝』にならい、19世紀前半のスコットランド人著述家アラン・カニンガム (1784-1842) を数年間に亘り執筆した、英国画家・彫刻家・建築家の人物事典。その刊行には *Quarterly Review* の編集長ジョン・ギブソン・ロックハートやロバート・サウジーなどが協力した。
- エリザベス期からホルバイン、アントニオ・モア、ルーカス・デ・ヘール、ファンダイク、ピーター・レリー、ゴドフリー・ネラー、ジェイムズ・ソーンヒルら18世紀初頭までの画家を概説した後、英国で活躍した47名の主要美術家の生涯と業績を肖像画とともに詳しく紹介\*。
- ポケットサイズで出版され、ヴィクトリア朝期の英国上・中流家庭で広く愛用された。また、その人気は海を渡り、米国ではハーパー社が3巻の抄録版を刊行している。
- 英国美術を網羅的に扱った本格的なレファレンスとして最初期のもので、今日でも美術史の資料として価値を失っていない。同時に19世紀英国国内での自国美術の評価や人気などの研究にも貴重な文献。
- 美術・芸術系大学図書館や英文学・文化研究の学科に必携。



\*収録されている47名の詳細は <http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-55-0.html> でご覧いただけます。

## 本書を推薦する。

京都市美術館館長 潮江宏三

スコットランド生まれの文人、アラン・カニンガム (Allan Cunningham 1784-1842) の *The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects* (『英国芸術家列伝』) は、標題に *Lives* の文字があるように、イタリア・ルネサンスの『芸術家列伝』を著した画家、ジョルジョ・ヴァザーリの故事に倣い、書かれたものである。近代的な意味での「美術史」ではない。しかしながら、ヴァザーリの『列伝』が、美術史を含む広汎な意味での文化史研究にとって、同時代および歴史的な証言と考察という点から、未だに新たな解釈と見解を抽出し得る尽きせぬ泉であるように、カニンガムの『列伝』もこれまでその役割を果たしてきた。しかも、この『列伝』が扱っている時代は、「絵画の偉大な世紀」(ゴント)と名づけられる、英国固有の画派が確立した時代である。まさに、イギリスのヴァザーリと呼ばれる所以である。

このカニンガムの『列伝』でまず注目されるのは、その人選である。それは、今日の美術史的価値評価と同じではない。多少は出身地への臆目を含みつつも、アカデミーという権威からだけではなく、ブレイクへの希少な言及など、当時話題となった芸術家が広くその対象となっている。エピソードや証言を通して芸術家の予想外の顔に出会うことができるだけでなく、当時の、むしろ標準的とも言える知識人が、こと芸術に関して、どのような関心の持ち方をしていたのかも感じ取ることができるのである。

学として整理される前の、このようなジャーナリスティックな内容こそが、『列伝』のおもしろさであり、新たな解釈構築の種となるものであろう。時代は、英国がまさにヨーロッパの、そして世界のリーダーとなろうとしている時代のことであり、その意味においては、美術史や文化史の研究者はもちろんのこと、文学や社会史・社会思想の研究者にとっても、是非とも一読に値する原典として本書を推薦するものである。

クリストファー・ドレッサー 他 著

図版入り・復刻版

# ヴィクトリア朝

## 産業デザイン・技術教育百科 全4巻

The Technical Educator: An Encyclopaedia of Technical Education

2003年10月刊行 本体セット価 ¥98,000-(+税) ISBN 978-4-901481-71-7

■底本 Cassell, Peter & Galpin, 1870-73 B5判約1700頁(図版入り)

残部僅少

### 本書の特色

- ジャポニスムやモダン・デザインの中心人物ドレッサーらが執筆した百科
- 豊富な図版はヴィクトリア朝時代の視覚的資料としても貴重
- 詳細な索引でクロス・レファレンスが可能

19世紀後半の英国では、ウィリアム・モリスのアーツ・アンド・クラフツ運動に代表される中世の手工芸への回帰の風潮がある一方、勃興した中産階級と、その生活を支える機械工業と大量生産の時代を受け入れ、工業製品や生活様式にあらたな機能的美しさを求める運動がありました。ドレッサー -Christopher Dresser (1834-1904)-はこの流れの中心的インダストリアル・デザイナーで、家具、食器、テキスタイルなどヴィクトリア朝時代の生活装飾に大きな影響を与えました。今日でも、モダン・デザインは彼から始まったと、その功績は高く評価されています。また、彼は明治9年に日本各地を訪れ、英国の工芸品を紹介すると同時に日本美術を学び、ジャポニスムをデザインのなかに取り入れたことでも知られており、「クリストファー・ドレッサーと日本」と題した展覧会が昨年日本を巡回しました。

本書は工業デザインや技術教育の必要性が認識された1870年代に、ドレッサーらが中心となり編集・執筆された百科事典です。ドレッサーはデザインの基本と色彩理論の項目を執筆、その他にも *Illustrated London News* の副編集長 John Timbs、写真家のパイオニアの一人 Phillip Delamotte、Royal Academy の教授 A. H. Church、Royal College of Science の教授 Sir Robert Ball など多彩な執筆陣が、工業だけでなく建築、農業、土木など幅広い産業に応用すべき、デザインや技術をカラーを含む多数の図版とともに解説したレファレンスです。

デザイン史や教育史の資料としてだけでなく、視覚的にヴィクトリア朝時代を読み解くための「目で見るレファレンス」としても、どうぞお役立てください。

### ■主な項目と執筆者■

AGRICULTURAL DRAINAGE, by J. Wrightson, Prof. Royal School of Mines

APPLIED MECHANICS, by Sir Robert Stawell Ball Brick and Tile Making, Gilbert Redgrave

BUILDER'S QUANTITIES AND MEASUREMENTS, by E. Wyndham Tarn Buttons, by Charles Hibbs

CHEMISTRY APPLIED TO ART, by George Gladstone

COLOUR, by A. H. Church

ELECTRICAL ENGINEERING, by Edward A O'Keefe

MAP AND PLAN DRAWING, by C. C. King

NOTABLE INVENTIONS AND INVENTORS, by John Tims

OPTICAL INSTRUMENTS, by Samuel Highley

PAPER AND CARDBOARD MAKING, by George Tindall

PHOTOGRAPHY, by T. C. Hepworth

PRACTICAL APPLICATION OF THE FINE ARTS, by Phillip Henry Delamotte

PRINCIPLES OF DESIGN, by Christopher Dresser

SEATS OF INDUSTRY (Manchester, Glasgow etc), by H. R. Fox Bourne

SILK CULTURE, by Alexander Wallace

STEAM-ENGINE, by J. M. Wigner

TECHNICAL EDUCATION AT HOME AND ABROAD, by Sir Philip Magnus



# ヴィクトリア朝の生活と芸術

【復刻版】 全12タイトル・合本4巻+別冊日本語解説

## The Art at Home

【監修・解説】 辻みどり

2010年2月刊行 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN 978-4-86166-100-6

B6判・約1,570頁 [Originally published by Macmillan in London, UK and Porter & Coates in Philadelphia, USA]

In these decorative days the volumes bring calm counsel and kindly suggestions, with information for the ignorant and aid for the advancing, that ought to help many a feeble, if well-meaning pilgrim along the weary road, at the end whereof, far off, lies the House Beautiful...,-*Examiner*, 1876

ヴィクトリア朝最盛期に一般向けの美術入門書、建築や名所旧跡ガイドの著者、編者として大活躍したロフティーの発案により創刊され、中流階級向けに家庭生活をいかに芸術で彩るかを解説し人気を博したマニュアル本シリーズ、*Art at Home* 全12点の復刻集成です。拡大してゆく中流層 (lower middle-class) を読者層に想定し、より豊かな生活を目指すこの階級の上昇志向に合わせるべく、編者のロフティーは上流階級 (upper-middle class) の女性を「中流階級の生活指導者」として、著者に多用します。また、英国で大成功したシリーズは、直ちに海を越え、米国フィラデルフィアでも刊行が始まり、東海岸の中流家庭の間でも「おしゃれな英国流生活」への入門書として広く読まれました。

シリーズの内容は、インテリアや衣服といった生活に密接に関わるものから、美術教育、美術品収集、音楽や芝居の楽しみ方など多岐にわたり、シリーズ後期にはアンドリュー・ラングのような著名作家による著作や、ケイト・グリナウェイが挿絵を入れたガイドも刊行されます。

イギリス19世紀の生活文化の資料としてだけでなく、研究が進むヴィクトリアン・アメリカの貴重な文献としても、どうぞ活用ください。

●収録内容● ※底本はすべて Macmillan, UK 刊を用います。

**VOL. 1:** c.410pp.

Introduction by Midori Tsuji

Loftie, W. J.

*A Plea for Art in the House, with Special Reference to the Economy of Collecting Works of Art, and the Importance of Taste in Education and Morals*, 1876, c.108pp.

Garrett, Rhoda and Agnes

*Suggestion for House Decoration in Painting, Woodwork, and Furniture*, 1876, c.98pp.

Hullah, John

*Music in the House*, 1877, c.90pp.

Orrinsmith, Mrs.

*The Drawing-Room: Its Decorations and Furniture*, 1877, c.100pp.

**VOL. 2:** c.390pp.

Loftie, Mrs.

*The Dining-Room*, 1878, c.140pp.

Barker, Lady

*The Bedroom and Boudoir*, 1878, c.130pp.

Oliphant, Margaret

*Dress*, 1878, c.115pp.

**VOL. 3:** c.400pp.

Pollock, Walter Herries & Lady Pollock

(illustrated by Kate Greenaway)

*Amateur Theatricals*, 1879, c.90pp

Glaister, Elizabeth

*Needlework*, 1880, c.140pp

Leland, Charles G.

*The Minor Arts: Porcelain Painting, Wood-Carving, Stencilling, Modelling, Mosaic Work, etc.*, 1880, c.170pp.

**VOL. 4:** c.370pp.

Lang, Andrew (illustration by Austin Dobson)

*The Library*, 1881, c.200pp.

Ellis, Tristram J.

(illustration by Stacy Marks)

*Sketching from Nature, A Handbook for Students and Amateurs*, 1883, c.170pp.



# ヴィクトリア期女性の 「美とファッション」

— 同時代文献復刻集成 — 29 文献・合本全 6 巻

Women, Beauty & Fashion

Edited by Monika Pietrzak-Franger (University of Siegen, Germany)

総約 2,000 頁 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-178-5 ※ プリント・オンディマンド版

女性の「美とファッション」というテーマは、女性の身体性の変遷といった視点からだけでなく、文化史学や美学における「理想とする女性の美しさ」、社会経済史や産業史における「ファッション産業とその消費者としての女性」、医学史における「健康と身体美」、そして教育史での「女性の身体教育」など、異なる分野で極めて広範に研究が展開されています。本資料集は、女性の社会進出とともに女性の美しさとファッションの概念が大きく変わっていった英国 19 世紀～20 世紀初頭を対象に、この時代出版された多様な立場の著者による文献を幅広く収録、本テーマへの横断的なアプローチを可能にすることを目的に編集される復刻文献集です。

全体を“Personal Beauty and Care”、“Beauty, Fashion and Health”、“Beauty Education and Self-Management”という3つの大項目に分類し、各テーマ年代順に文献を配列することにより、参政権運動など女性史に沿いながら、それぞれの時代の女性の美やファッションに対する意識や社会通念の変化を、同時代の文献で追ってゆきます。

今まで紹介されたことのないパンフレットや稀覯書を多数含み、女性史だけでなく、家政学（服飾史）、教育史（女性教育）から経済史、文学・文化史研究にいたるまで、非常に有用な一次資料集です。



## CONTENTS

Volume I: Personal Beauty and Care

Volume II: Personal Beauty and Care (continued)

Volume III: Personal Beauty and Care (continued)

Volume IV: Beauty, Fashion and Health

Part 1: Beauty vs. Fashion

Part 2: Corsetry

Volume V: Beauty, Fashion and Health (continued)

Part 3: Dress Reform

Volume VI: Beauty Education and Self-Management

Part 1: Beauty and (Physical) Education

Part 2: Self-Management, Economy and Women Consumer



# ジェームズ・ロード・ボウズ 日本美術工芸関連著作集成

【英文復刻版】全5巻＋別冊日本語解説

Collected Works of James Lord Bowes on Japanese Art

●解説● 桑和沙（日本女子大学）

Series: *Western Sources of Japanese Art and Japonism*

【監修】馬淵明子

2015年12月刊行 本体セット価¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-192-1  
全約2,030頁（カラー図版約110点） 判型：第1-4巻＝B5判／第5巻＝A4判

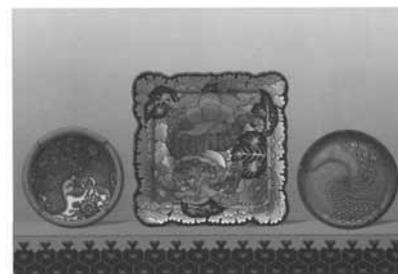


## ◆イギリス・ジャポニズムのもう一人の立役者ボウズの 著作など9文献を5巻に収録、カラー図版多数掲載◆

19世紀末の英国で、日本美術の蒐集やその紹介に大きな功績を残した、ジェームズ・ロード・ボウズ（James Lord Bowes, 1834-1899）の初めての著作集成です。産業革命期の英国の中心地の一つ、貿易都市リヴァプールの羊毛商として財をなしたボウズは、1867年のパリ万博で目にした日本の展示品から日本美術への関心を持ち、本格的なコレクションを始めたと言われています。横浜と直通航路が開通したりリヴァプールという地の利もあり、林忠正、南方熊楠、高橋義雄、加藤高明ら多くの日本人と親交をむすんだボウズは、彼らから得た情報なども使い、生涯に2600点を超える日本の美術工芸品を蒐集します。1888年にはリヴァプールの初代日本名誉領事に就任、1890年に自らのコレクションの展示を目的とする英国初の日本美術館、ボウズ美術館を開館、さらに自宅を日本風に装飾して行った演劇や音楽のイベント「ジャパニーズ・ファンシー・フェア」を催すなど、その後半生を日本美術と日本文化の英国への紹介に捧げます。

ボウズは、自身の美術館の手引き書を始め、陶器や七宝に関する研究書など、出版活動も積極的に行いましたが、本著作集では、それら書籍全点を復刻し、また関連資料としてその美術コレクション競売時の売立て目録を収録します。

死後、美術館が閉鎖され、コレクション全点は競売され散逸、その大半の所在が今日でも不明なため、彼の活動の全容を知ることは極めて難しくなっています。今回のこの著作集は、ボウズの英国での日本美術の受容において果たした役割を探る上で、大変貴重な資料となりますし、またボウズを通じ、ジャポニズムや19世紀英国と日本の文化接触に関する、新たな研究を展開するための一次文献集としても、広くご利用いただけます。



# 日英博覧会（1910年）－公式史料と関連文献集成－

【復刻集成版】 全11 文献・合本6巻＋別冊解説（日本語）

The Japan-British Exhibition of 1910:

残部僅少

A Collection of Official Guidebooks and Miscellaneous Publications

【監修・解説】 松村昌家

2011年9月刊行 約3,500頁（折込地図、図版（一部カラー）多数） 判型：第1-2巻：A5判 / 第3-6巻：A4判  
本体セット価：¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-75-8

## 20世紀初頭の英国に近代日本と台湾、朝鮮、満州を紹介した最大級のイベント

- 1910年にロンドンにて開催された日英博覧会に関する、英文公式史料と博覧会に合わせて刊行された関連英文文献をを集成する初の本格的史料・文献集
- 英国や日本で刊行された英文による入場者向けガイドやカタログ、開催後に発表されたレポートに加え、この博覧会開催に合わせて刊行されたロンドン・タイムズ紙の日本関連記事集成、日本の英字新聞ジャパン・ガゼット社刊行の英国産業界向けの日本案内、政治家で英文通信社の経営にも携わっていた望月小太郎が、博覧会記念に出版した800頁を超える日本を宣伝用の大著『今日の日本』など、周辺の英文書も同時に復刻

## 1862年国際博覧会

### （第2回ロンドン万国博覧会）資料総覧

～公式図解カタログと『絵入り家庭新聞』国際博覧会特集～ 【復刻版】 全5巻＋別冊解説

The International Exhibition of 1862, London:

Official Illustrated Catalogue & Cassell's Illustrated Family Paper Exhibitor

【監修・解説】 松村昌家

残部僅少

2014年2月刊行 本体セット価¥168,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-82-6

総約3,400頁（全5巻＋別冊）折込地図・図版（一部カラー）多数 / 判型：B5判（第1-4巻）、A4判（第5巻）

1862年にロンドンで開催された国際博覧会（第2回ロンドン万国博覧会）は、アルバード公死去翌年の開催だったこともあり、水晶宮で行われた第1回ほど華やかさに欠けてはいましたが、世界各地より39か国が参加、1862年5月から半年間に610万人が来場し、会場のスペース含めその規模において第1回ロンドン万博を上回るものでした。クリミア戦争や植民地インドでの反乱などを経験した英国でのこの万博は、大英帝国の国家主義が強く打ち出され、軍需産品や最新の工業製品が広く展示されましたが、また同時に、植民地各地の展示やライバルのパリ万博を意識した美術・工芸品の展示にも大きなスペースを割き、ヴィクトリア中期の大英帝国や世界の最先端の科学・技術、文化・芸術が結集した歴史的なイベントでした。

幕末の日本からは、正式な出展はなかったものの、初代駐日英国公使ラザフォード・オールコックが自身の日本美術品のコレクションを多数出品し、イギリスのジャポニスム・ブームに火をつけることになりました。また、開港延期の交渉に幕府より派遣されていた文久遣欧使節はこの万博の開会式に賓客として出席しましたが、使節団の中には福澤諭吉、福地源一郎らも含まれており、彼らがアームストロング砲など西洋の最新兵器や技術に大きな刺激を受けたことは想像に難くありません。

今回の復刻資料集には、第1回ロンドン万博から第2回万博に至る歴史などの解説を含む英国展図入り目録全2巻に、植民地や海外各国の目録各種をまとめ全4巻で刊行された公式資料集に、キャッセル社が発行した『絵入り家庭新聞』の国際博覧会特集を加え全5巻にて出版いたします。いずれも初めて復刻される資料です。博覧会史、ヴィクトリア朝研究、大英帝国史、日英交流史などから産業史、社会経済史研究まで、分野を超えてご利用いただける文献集です。

# 広告とモダン・アート

## － 20 世紀初期イギリス文献復刻集成－

### 8 文献・合本 6 巻＋別冊日本語解説

## Advertisement and Modern Art in Early Twentieth-Century England

編集・解説：菅 靖子（津田塾大学）

2014 年 9 月刊行 A5 判・総約 2,125 頁・図版多数（内カラー約 95 点）

本体セット価 ¥128,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-81-9

残部僅少

ヴィクトリア時代を終え消費文化の成熟期を迎えた 20 世紀初頭の英国では、拡大した中流層を対象とした産業が栄え、それとともに近代的手法を使った広告産業も大きな発展を遂げました。新たな印刷技術やグラフィックの技法が、それまでと異なる視覚的効果を雑誌や新聞広告、ポスター中のデザイン表現にもたらし、アール・ヌーヴォー、アール・デコ、そしてモダン・アートからの影響も受けた広告美術は、宣伝の一手法であると同時に、文化、芸術の一部として社会に認知され始めました。それとともに、広告産業、広告文化に関する様々な言説が発表されます。

本コレクションは、この 20 世紀初期に出版された広告と広告美術に関する英国の主要著作 8 点を復刻集成するものです。広告ビジネスに携わった者、広告美術を手がけたアーティスト、美術評論家など多様な著者による入門書、実践書から理論書や歴史書まで含み、それらの中には合計 100 点近いカラー図版を含むこの時代の広告図案サンプルも収録されています。広告研究、デザインやグラフィック・アートの歴史をはじめ、英国の大衆文化史、消費文化史、そしてモダニズム研究の資料としても大変有用な資料集です。

### CONTENTS

#### VOL. 1

SPARROW, Walter Shaw, *Advertising and British Art : An Introduction to a Vast Subject*, London : Bodley Head, 1924, c. 350 pp. (incl. 27 text illus., 36 colour plates, & 121 b/w plates)

#### VOL. 2

PRSTON, J. F. & Arch, E., *Advertising, Printing and Art in Commerce*, London: Chapman & Hall Ltd, c. 357 pp. (incl. 20 plates)

#### VOL. 3

DEAN, Arthur W., *Modern Publicity - A Plea for Art in Advertising*, London, New York [etc.]: Sir I. Pitman & Sons, 1921, c. 78pp.

HIGHAM, Charles, *Advertising, Its Use and Abuse*, London: Williams & Norgate / New York, H. Holt, 1925, c. 256 pp.

FRY, Roger, *Art and Commerce* (Hogarth Essays No.16), London: L. & Virginia Woolf at the Hogarth Press, c1926, c. 28 pp.

#### VOL. 4

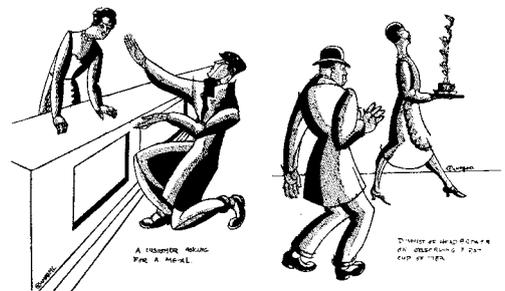
GOSSOP, R. P., *Advertisement Design*, London: Chapman and Hall, 1927, c. 430 pp. (incl. 144 (7 in colour) illus.)

#### VOL. 5

TWINING, E. W. & Hordich, D. E. M., *Art in Advertising - A Treatise on Artists' Work in Connection with All Branches of Publicity*, London : Sir I. Pitman & Sons, 1931, c. 300 pp. (incl. 142 (52 in colour) illus.)

#### VOL. 6

SHELDON, Cyril, *A History of Poster Advertising, together with a Record of Legislation and Attempted Legislation Affecting Outdoor Advertising*, London: Chapman & Hall, 1937, c. 325 pp.



1924. Drawings, by Horace Taylor, used in the Advertisements of Masters' Army and Navy Matches.

# ナショナル・トラスト創設関連文献復刻集成

オクタヴィア・ヒル、ロバート・ハンター、ハードウィック・ローンズリー

8 文献・合本 5 巻 + 和文解説

## Foundations of the National Trust

- Lives and Works of Octavia Hill, Robert Hunter and H.D. Rawnsley -

【編集および日本語解説・英語序文】大石和欣（東京大学）・出島有紀子（桜美林大学）

2011 年 1 刊行 総約 2,795 頁 本体セット価 ¥128,000- (+税) ISBN: 978-4-905211-00-6

- 英国最大の環境保護団体ナショナル・トラストの創立理念と歴史、背景の理解に欠かせない文献集
- 環境社会学、環境政策、生命環境、景観学、公共福祉、建築デザイン・都市計画、地域再生、ツーリズムなどの分野にも有益

ナショナル・トラスト（正式名称：The National Trust for Places of Historic Interest or Natural Beauty）は、ヴィクトリア時代末期の 1895 年、工業化が進み破壊の脅威にさらされる英国の自然環境と歴史的景観を保護すべく設立され、景勝地や歴史的な建造物や町並みの数々を国民財産として保護・公開するその運動を通じ、現在では英国最大の環境保護団体として、世界的に知られます。総計 892km の海岸線を含む約 25 万ヘクタールの土地と 300 を越える歴史的財産をその保護下に置くなど、環境・景観保護に大きな成果を挙げています。



本叢書は、社会改革者オクタヴィア・ヒル女史（1838-1912）、弁護士ロバート・ハンター卿（1844-1913）、聖職者ハードウィック・ローンズリー師（1851-1920）という、トラストの創立者たちが残した代表的な著作や書簡、および各人の生涯を描いた伝記を集成する初の復刻コレクションです。

### ◆収録内容◆

**VOL. 1:** [Octavia Hill] (c. 635 pp.)

Introduction for Vol. 1 & 2 by Yukiko Dejima

Maurice, C. Edmund (ed).

*Life of Octavia Hill as told in her Letters.*

London: Macmillan & Co., 1913. xi, 591 pp. 10 pl.

**VOL. 2:** [Octavia Hill] (c. 465 pp.)

Hill, Octavia.

*Our Common Land (And Other Short Essays).*

London: Macmillan & Co., 1877. vi, 206 pp.

Maurice, Emily S. (ed).

*Octavia Hill: Early Ideals from Letters.*

London: G. Allen & Erwin, 1928. 239 pp.

**VOL. 3:** [Robert Hunter] (c. 485 pp.)

Introduction for Vol. 3 by Kazuyoshi Oishi

Hunter, Robert.

*The Preservation of Open Spaces, and of Footpaths and Other Rights of Way: A Practical Treatise on the Law of the Subject.*

London: Eyre and Spottiswoode, 1896. xxii, 424 pp.

**VOL. 4:** [Hardwick Rawnsley] (c. 625 pp.)

Introduction for Vol. 4 & 5 by Kazuyoshi Oishi

Rawnsley, Hardwick D.

*Literary Association of the English Lakes,*

**Vol. 1: Cumberland, Keswick, and Southey's Country.**

**Vol. 2: Westmoreland, Windermere, and the Haunts of Wordsworth.**

Glasgow: James MacLehose and Sons, 1906. xiv, 245 pp. 15 pl. & viii, 260 pp. 17 pl.

**VOL. 5:** [Hardwick Rawnsley]

Rawnsley, Hardwick D.

*A Nation's Heritage.*

London: George Allen & Unwin Ltd., 1920. 160 pp. 8 pl.

Rawnsley, Hardwick D.

*A Reminiscence of Wordsworth Day.*

Cockermouth: Brash Bros., 1896. 88 pp., 4 pl.

Rawnsley, Eleanor F.

*Canon Rawnsley. An Account of his Life.*

Glasgow: Maclehorse, Jackson & Co. 1923. x, 276 pp. 9 pl.

\* 別冊解説（大石和欣 & 出島有紀子）

# フェミニズムとキリスト教信仰： ヴィクトリア朝～20世紀初頭文献集成 全6巻 Women and Belief, 1832-1928

【編集・解説】 Jessica Cox, University of Wales Lampeter

2012年10月刊行 約2,750 pp. 本体セット価¥128,000-(+税) ISBN 978-4-86166-128-0

残部僅少

西洋での女性の歴史のなかで、女性の解放と宗教信仰の関係の重要性は以前より言及されて来ましたが、最近より専門的学術研究のテーマとして論じられ始めています。本コレクションは女性運動が始まり、社会に広がったヴィクトリア朝時代から20世紀初頭まで、この問題につき論じた文献を書籍、雑誌記事、パンフレット類から選書し復刻で収録します。女性運動家、社会改革家、思想家、神学者、歴史家、経済学者、人類学者、心理学者などによる政治・宗教的論争、教会の説教、風刺小説、伝記、作法書等々多様な文献により、この時代の女性達の政治・社会的権利を求める信念と宗教上の信仰の間の葛藤を、あらゆる歴史的側面から探り、フェミニズムの発達の過程を明らかにします。対象とするのは英国からアメリカ、カナダ、そして植民地インドでのイスラム、ヒンドゥー、仏教に関する史・資料も含まれます。編者による総合解説と、各巻毎により詳細な文献解題と著者に関する伝記的注釈が加えられます。

## ◆収録文献明細◆

**VOLUME I:** General Introduction / Introduction & biographical notes.

Kavanagh, Julia. *Women of Christianity, exemplary for acts of piety and charity ... with portraits.* (London, 1852).

**VOLUME II:** Introduction & biographical notes.

1. Lee, Luther, *Woman's right to preach the Gospel* (1853).

2. Folio, Fred, *A Book for the Times: Lucy Boston, or, Woman's rights and spiritualism: illustrating the follies and delusions of the nineteenth century* (New York: J.C. Derby, 1855), including illustrations

**VOLUME III:** Introduction & biographical notes.

3. Landels, William, *Woman's sphere and work, considered in the light of scripture. A book for young women* (London: James Nisbet and Co., 1859).

4. Kay, William, *The Influence of Christianity on the position and character of Woman: A sermon [on Romans xvi.1]* (Calcutta, 1859).

5. Booth, Catherine Mumford, *Female ministry: or, woman's right to preach the Gospel* (London, 1859).

6. Seymour, Richard, *Woman's work: a speech delivered in the Lower House of Convocation on Tuesday, July 19, 1861* (London, 1862).

7. Armstrong, I.T., *Plea for modern prophetesses* (Glasgow, 1866).

8. Anon, *Female Franchise. Have Women Immortal Souls? The popular belief disputed. ... By a Clerk in Holy Orders* (London, 1868).

**VOLUME IV:** Introduction & biographical notes.

9. Bushnell, Horace, *Women's Suffrage: The Reform Against Nature* (1869).

10. Stagg, Annie Rollo, *The importance of religion to woman* (Stratford, Ont.? : s.n.), 1875).

11. Mandley, J. G., *Woman outside Christendom. An exposition of the influence exerted by Christianity on the social position and happiness of women* (London, 1880).

12. Machardie, Elizabeth, *What is Spiritualism? A paper read at the Annual Conference of the Christian Women's Union, held in Glasgow* (London, 1884).

13. Samson, Louisa, *Why women should be secularists* (London, 1891).

**VOLUME V:** Introduction & biographical notes.

14. Soulsby, Lucy Helen, *Religious Education for Women* (1894).

15. Stanton, Elizabeth Cady, Preface and Introduction to *The Woman's Bible* (1895).

16. Kare, B.H., *How is Woman treated by Man and Religion?* (Bombay, 1896).

17. Burt Gamble, Eliza, *The God-Idea of the Ancients or Sex in Religion* (1897), extract from conclusion.

18. Tyack, Lena, 'Joyce Maxwell's Mistakes' (1899).

19. Dietnick, Ellen Battelle, *Women in the Early Christian Ministry* (1897).

20. Gould, Frederick James, *Will women help? An appeal to women to assist in liberating modern thought from theological bonds* (London, 1900).

21. Dixie, Florence Caroline, "Towards freedom: an appeal to thoughtful men and women" *The Agnostic Journal* (London, 1904-5).

22. Hickey, Emily. *Thoughts for creedless women* (London, 1906).

**VOLUME VI:** Introduction & biographical notes.

23. Mordecai, Margaret. *Phases of Progress. A study of the evolution of religion, education and woman* (London & Edinburgh: Sands & Co., 1910).

24. Bushnell, Katherine. *God's Word to Women* (1910).

25. Keating, Joseph, S.J., "Christianity and 'Woman's Rights.'" [Catholic Social Guild Pamphlets. no. 16] (London: Catholic Truth Society, 1912).

26. Collegium, *The religious aspect of the women's movement: being a series of addresses delivered at meetings at the Queen's Hall, London, on June 19, 1912* (London: Collegium, 1912).

27. Ali, Syed Ameer, *The Legal Position of Women in Islam* (1912).

28. Despard, Charlotte, Theosophy and the woman's movement [Riddle of life series; no. IV] (London: Theosophical Publishing Society, 1913), including illustrations

29. Cohen, Chapman, *Woman and Christianity: The Subjection and Exploitation of a Sex* (London: The Pioneer Press, 1919).

30. Whitehead, George, *Religion and Woman* (London: Secular Society, 1928), extract from Chapter II.

英国反フェミニズム文献集成第2回配本

# 20世紀初頭の反フェミニズム文献 全6巻

## Anti-Feminism in Edwardian Literature

編集・解説：Lucy Delap and Ann Heilmann, University of Wales, Swansea

2006年3月刊行 本体セット価¥128,000- (+税) ISBN 978-4-901481-88-5

残部僅少

英国の反フェミニズム文献をまとめる復刻資料シリーズ第2回配本は、20世紀初頭の英国にて発表された文芸作品や様々な反フェミニズム評論と雑誌記事計11点を集成。女性参政権に反対したことで知られるこの時代の代表的な女性小説家Humphry Wardの反離婚小説、社会主義者・マルクス主義者からのフェミニズム批判論、英国植民地女性の反フェミニズム言説、優生学の立場からのフェミニズムへの反論等々、この時代の様々な社会の側面に影響を与えはじめていたフェミニズムに相対した、多様な立場の同時代人の危機感が、これらの文献から読み取れます。女性学、女性史研究だけでなく、広く20世紀初頭の社会学や文学、モダニズム研究に興味深い一次資料集です。詳細な解説が付されています。

### 【収録内容】

第1巻：[反離婚小説]

Mrs Humphry Ward, *Daphne or, Marriage à la Mode* (London: Cassell, 1911).

第2巻：[社会主義・進歩主義者の反フェミニズム論]

Belfort Bax, three chapters from *Essays in Socialism: New and Old* (London, Grant Richards, 1906).

Frederic Harrison, four essays from *Realities and Ideals* (London: Macmillan and Co, 1908).

Gasquoine Hartley, *The Truth About Women* (London: Eveleigh Nash, 1913).

第3巻：[雑誌に掲載された文芸作品および英国植民地における女性の反フェミニズム]

W. H. Mallock, 'Women in Parliament', *Nineteenth Century and After*, July 1912.

'The Suffragettes', *Dominica Chronicle*, May to October 1913 (with an introductory note and annotations by Sue Thomas).

Ardeshir Ruttonji Wadia, *Ethics of Feminism* (London, G. Allen & Unwin, 1923).

第4巻：[フェミニズム論への同時代の反論]

Ethel Colquhoun, *The Vocation of Woman* (London, Macmillan, 1913)

第5巻：[反女性参政権および母性・生命礼賛の反フェミニズム思想]

Marie Corelli, *Woman or Suffragette? A Question of National Choice* (London: C. Arthur Pearson, 1907). (40pp)

Arabella Kenealy, *Feminism and Sex Extinction* (London: Fisher Unwin, 1920). (313pp)

第6巻：[男性作家の女性論]

Arnold Bennett, *Our Women: Chapters on the Sex-Discord* (London: Cassell, 1920). (264pp.)

## 復刻版 フリー・ウーマン

### The Freewoman 全2巻+別冊日本語解説

復刻版監修・解説■出水純子 (大谷女子大学)

2006年11月刊行 本体セット価 ¥88,000- (+税) ISBN 978-4-902454-27-7

- 1911年にフェミニスト達が「性」を論じる場として創刊、英語圏におけるモダニズム運動の原動力となった雑誌『フリー・ウーマン (*The Freewoman*)』を初の完全復刻
- 女性運動、セクシュアリティ、ジェンダーに関する研究を始めとする人間性の問題に関する研究、20世紀初頭の英米思想史の研究に必備の重要文献
- 関与あるいは論議の対象とされた人物：パンクハースト夫人、J・バトラー、R・ウェスト、H・G・ウェルズ、H・エリス、E・カーペンター、S・ブラウン、O・シュライナー、ドライズデイル夫妻、O・ワイルド、D・H・ロレンス等

### 【収録内容】

Volume 1: No. 1 - No. 26 (1911年11月23日 ~ 1912年5月16日)

Volume 2: No. 27 - No. 47 (1912年5月23日 ~ 1912年10月10日)



# アイルランドのフェミニズム

【復刻文献集成】 全5巻

Irish Feminisms, 1810-1930

【編集・解説】 Mary Pierson and Ann Walsh, University College Cork, Ireland

[ES Series: Historical Sources on Women's Studies]

2010年1月刊行 c. 2,500pp. 本体セット価¥118,000- (+税) ISBN 978-4-86166-113-6

残部僅少

## アイルランドにおける近代フェミニズムの誕生から その変遷を追う、初めての一次資料復刻集

ヴィクトリア朝期からモダニズム期にいたる著作を、文学、思想、政治など様々なバックグラウンドを持つ作品から広く選書し、フェミニズムという多様な思想が、政治、宗教的にも複雑な位置にあり続けたアイルランドの社会、文化の中にいかに築かれていったのかを探るための、他に例のない史資料集です。収録する文献は単行本著作の抜粋やアイルランドでこの時代に発行されたパンフレット、雑誌、新聞記事などの一次資料を中心に、Lady Gregory、ALady Wilde(オスカー・ワイルドの母)、Parnells といった著名人の著作から無名の著者のものまで含みます。フェミニズムに対するアプローチの差異は、それぞれの著者の政治、宗教的背景により他の西洋諸国よりさらに色濃く出、アイルランド女性の置かれていた状況を時代の変遷とともに読み解くことを可能にします。収録される文献はほとんどが日本だけでなく海外図書館でも入手の不可能な文献ばかりです。

各巻以下の分野別構成で、各分野毎に詳しい解説が編者より書き下ろされています。

Volume I: Leading the Way

「フェミニズム思想の潮流」

Volume II: Land and Labour

「アイルランド土地戦争時代の政治変動と女性土地同盟」

Volume III: Eire Abu? - Ireland Forever ?

「新たなアイルランド社会のなかでの女性」

Volume IV: In the Real World

「アイルランド女性の社会、教育、性、結婚、宗教」

Volume V: Literary Approaches

「アイルランド文学者のフェミニズム」



\* 収録文献の明細は

<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-113-6.html>

でご覧いただけます。

メアリー・ヘイズ編著

# 【復刻版】 英国・ヨーロッパ女性伝記大事典

## 全6巻+別冊日本語解説

Female Biography; or, Memoirs of Illustrious and Celebrated Women, of all Ages and Countries by Mary Hays

【別冊日本語解説】 青山学院女子短期大学 梅垣千尋

2004年6月刊行 本体セット価 円118,000-(+税) ISBN 978-4-902454-01-7

■ 底本: 1803年刊初版 全2709頁

残部僅少

## フェミニストの視点で編集された世界で初めての女性史レファレンス

### 本書の特色

- 世界初の「女性による、女性のための、女性についての」大事典
- 西洋史に登場する約290名の女性を網羅
- ウルストンクラフトの親友ヘイズの編著

メアリー・ウルストンクラフトが女性の「理性」に期待をかけたフェミニストであったとすれば、その親友メアリー・ヘイズは、女性の「情念」に大きな意義を見いだしたフェミニストであったといえる。これまでウルストンクラフトの影に隠れてきたヘイズの存在は、その独創的な著述活動と特異な歴史的経験によって、近年新たな注目を集めつつある。

このたび復刻出版される本書は、ウルストンクラフト亡き後、ヘイズが保守派の集中的な攻撃にさらされるなかで執筆したものである。女性偉人を取りあげた書物は、イギリスではすでに18世紀中葉から見られるが、本書ほどの大著は過去に例がない。ヘイズがここで特に力を入れて描いたのは、クレオパトラからエカテリーナ2世にいたるまで、政治や哲学といった「男性的」とされる活動領域に比類のない情熱を傾けた女性たちであった。

本書を貫くのは、過去に生きた無数の女性たちが、ときには英雄的な活躍や悲劇的な受難によって歴史を動かしてきたことを証明しようとする強靱な意志である。女性史の意味を、その根源から問いかける古典的労作であることは間違いない。

青山学院女子短期大学 梅垣千尋

### ■ 収録人名 ■ (抜粋)

Adricomia  
Agnes Sorrel (or Sorreille)  
Agreda, Mary de  
Albert, Jane D'  
Aldrude, Countess of Berlinoro  
Bacon, Lady  
Basine (or Bazine)  
Bavaria Isabella of  
Baynard, Anne  
Boleyn, Anne  
Calphurnia, wife of Pliny  
Calpurnia, wife of Julius Caesar  
Capello, Bianca  
Carolina, wife to George II  
Catherine I of Russia  
Catherine II of Russia  
Catherine of Aragon  
Catherine of Medicis  
Cromwell, Elizabeth, wife of  
Oliver  
Dacier, Madame  
Damophila  
Dante, Theodora

Derby, Countess of  
Desmond, Countess of  
Dido, Queen of Carthage  
Didyma  
Egee, Queen of the Amazons  
Elizabeth, Queen of England  
Elizabeth, Countess of Lincoln  
Elstob, Elizabeth  
Emma, Queen of England  
Estrada, Maria d'  
Ethelfleda, Queen of England  
Eurydice  
Fannia  
Fidele, Cassandra  
Fielding, Sarah  
Galligal Leonora  
Gethin, Lady Grace  
Gonzaga, Cecilia de  
Gonzaga, Eleonora  
Gonzaga, Isabella de  
Gray, Lady Jane  
Guyon, Madame  
Harcourt, Harriet Euseria

Hardwick, Elizabeth  
Hastings, Lady Elizabeth  
Hyde, Ann  
Hypatia  
Inglis, Esther  
Isabella, Queen of Hungary  
Jane, Queen of France  
Killigrew, Katherine  
Labe, Louise  
Lambrun, Margaret  
Lane, Mrs. Jane  
Leapor, Mary  
Legge, Elizabeth  
Macaulay, Mrs.  
Maintenon, Madame de  
Margaret de Valois,  
Queen of Mary, Queen of Scots  
Mary, Queen of Hungary  
Octavia, wife to Marc Antony  
Octavia, wife to Nero  
Renata, Duchess of Ferrara  
Rohan, Marie Eleonore de  
Roland, Madame

Rufina, Claudia  
Russel, Lady Elizabeth  
Russel, Lady Rachel  
Sappho  
Scala, Alexandra  
Scudery, Madeline de  
Seguier, Anne de  
Semiramis  
Seymour, Lady Arabella  
Sforza, Catherine  
Sforza, Isabella  
Sheridan, Mrs. Frances  
Sophronia  
Theano  
Thymelet  
Tishem, Catherine  
Toliet, Elizabeth  
Tymicha  
Valeria  
Vigne, Anne de la  
Warwick, Countess of  
Weston, Elizabeth Jane  
Zenobia

# 復刻版 オシアン協会会報 1853-1858

## 全6巻+別冊解説

Transactions of Ossianic Society, 1853-1858

【監修・解説】佐野哲郎（京都大学名誉教授）

2008年3月刊行 A5判・約1,775頁 本体セット価¥98,000- (+税) ISBN 978-4-902454-42-0

残部僅少



### 本書の特色

- 1853年にダブリンで設立された、オシアン協会の会報全号を完全復刻。
- 18世紀にスコットランドのジェームズ・マクファーソンにより収集され、スコットランドで書かれたものと誤って伝えられた、ケルトの一連の叙事詩「オシアン」の源は、アイルランドにあると主張した、ジョン・ドノヴァン、ユージーン・オカーリなどアイルランドの研究者達が設立した協会で、アイルランド研究に大きな足跡を残した。
- 後のアイルランド文芸復興運動の糸口ともなった本協会の発表の場となったこの雑誌は、アイルランド文学・歴史、そしてケルト文化全般の様々な研究に利用できる貴重な文献。

### 監修者の言葉

京都大学名誉教授 佐野 哲郎

1853年3月17日、セント・パトリックス・デーを期して、ダブリンのトリニティ・カレッジに近いある書店に、数人の人物が集まった。彼らがオシアン協会を設立したのは、その2か月後の5月9日だった。この協会の目的は、フェニアン伝説、すなわちフィン・マク・クールを頭領に戴くフェニアン（戦士）たちを主人公とした詩や物語を、古文書や民間伝承のなかから掘り起こして、アイルランドの言語と文字で印刷し、忠実な翻訳とともに、世に問おうというものだった。

協会の活動は短かった。1854年に会報の第1号を刊行してから、あしかけ9年で、活動は終わった。その間に刊行された会報は、全6巻だった。しかし、第1巻の『ガウラの戦い』は、フェニアンの最後の戦いとして、また彼らの最大の勇者であったオスカルの死を語る物語として、今ではよく知られている。また、第3巻の『ディアミッドとグラニアの追跡』は、『トリスタンとイゾルデ』の物語の原型とも言われる、有名な物語である。いずれも、完全な形で翻訳されたのは、初めてだった。

さらに見逃せないのが、第4巻の『常若の国のオシーンの歌』である。これは18世紀の詩人ミホール・コミンの作品である。フェニアンたちを主人公とした詩や物語は、アイルランドでは最も人気があり、18世紀に至るまで、次々と新しい作品が生まれ続けたが、これは、その最後を飾るものと言えよう。これが現代において注目されるのは、それまでオシーン（スコットランドではオシアン）を主人公として断片的に語り伝えられてきた「浦島伝説」の集大成が、この詩であったということのほかに、W・B・イェイツが1889年に発表して、いわゆるアイルランド文芸復興の発端となった『オシーンの放浪』が、この詩に想を得たからでもあった。さらに、イェイツは、第1巻、第3巻、および第4巻に収められた小品からも示唆を得ている。新しい文学運動のきっかけとなったのは、最後のフェニアン詩であった。

多くの作品には、詳しい注が付けてある。ときには、膨大な量に及んでいるものもあって、編者たちの意気込みをうかがわせる。彼らの脳裏には、18世紀に「オシアン詩」を世に出して、大評判となったスコットランドのジェームズ・マクファーソンがあったに違いない。つまり、フェニアン伝説は、本来アイルランドに起こり、それがスコットランドにも伝わったものであって、本家はこちらなのだ、という意識が、膨大な注釈となって現れたのだろう。アイルランド神話・伝説の研究は、20世紀に長足の進展を遂げたが、その重要な土台となった本協会の活動は、今も独自の光彩を放っている。

# ガヴァネス・ノヴェルズ

## 全3巻+別冊日本語解説

### A Collection of Governess Novels in the Nineteenth Century Britain

監修■横山茂雄（奈良女子大学） / 解説■杉村寛子（岡山県立大学）

2007年4月刊行 B6判 本体セット価¥78,000-（+税） ISBN 978-4-902454-28-4

#### 本書の特色

- ヴィクトリア朝盛期に成立した、近代イギリス小説のサブジャンル＝ガヴァネス（女家庭教師）小説から、18世紀末から19世紀初期にかけて出版され、現在では入手が不可能な初期作品をも含む、代表作6点を精選し復刻
- 教訓物語、社会小説、ビルドゥングスroman、シルヴァーフォーク小説等の多様な要素を内包するテキスト群
- 『ジェイン・エア』『アグネス・グレイ』『虚栄の市』…ガヴァネスを登場人物に据えた小説や、その社会背景および女性観の理解に不可欠の資料

#### ■収録文献■

VOL. 1: c.348 pp

S.,H. *Anecdotes of Mary; or, the Good Governess*

London, E. Newbery. First Edition, 1795. 163pp

ガヴァネスを主な登場人物とする本格的な小説としては最初期の作品で、8歳になる貴族の娘 Mary に施される教育とその成果を通じて児童教育の大切さを説く教訓物語である。反抗的な主人公が、ガヴァネスの指導に従い、次第に性格上の欠点を克服していく様子が描かれる。

Hofland, Mrs. *Ellen, the Teacher: A Tale for Youth*

London, J. Harris and Son, Second Edition, 1819. 207pp

神に帰依することによって主人公が苦難を乗り越え、精神的に成長していく過程や結末はのちの『ジェイン・エア』を彷彿とさせる。ブロンテ姉妹が読んでいたかもしれないとして、この小説の影響の可能性を指摘する研究もある。

VOL. 2: c.626 pp

Mathews, Mrs. *Ellinor: or The Young Governess, A Moral Tale*  
York, Thomas Wilson and Son. First Edition, 1809. 107pp

住み込みのガヴァネスと雇い主（家族）との関係をテーマとして取り上げた本格的なガヴァネス小説。厳しい境涯にある少女を主人公に、忍耐と刻苦勉勵の末にガヴァネスとして自立し、幸福をつかむ過程を描く。経済的理由からその道を選んだ、多くの現実のガヴァネスの人生を写しとっている。作者は自身スクール・ガヴァネスであった経験を生かし、子供を対象とする教育的な内容の本を執筆している。本作は死後出版されている。

Sewell, Elizabeth *Amy Herbert*

London, Longman, 1844 (two vols. bound in one), 519pp

10代の少年少女を対象にして書かれた長編小説。主人公の12歳の少女 Amy が母から信仰上、道徳上の訓練を受け、ガヴァネスとの交際などを通して精神の成長を遂げていく過程を追う。作者は、多くの小説を発表しており、ガヴァネスの問題に言及する教育書 *Principles of Education, Drawn from Nature and Revelation, and Applied to Female Education in the Upper Classes* (1865) も執筆している。

VOL. 3: c.356 pp

Sherwood, Mrs. [Mary Martha]

*The Governess: or, the Little Female Academy*

Wellington, F. Houlston and Son, Third Edition, 1822. 252pp

13章からなる物語で、9人の少女たちの過去の生活や行状が語られる。非常な人気を博したセアラ・フィールディングによるオリジナルの同名小説（1749）は版を重ね、19世紀に入ってからも広く読まれ続けた。寄宿舎学校を舞台とする点で厳密な意味でのガヴァネス小説ではないが、歴史的にみて重要性が高い。本集では、主に福音主義を基盤とした道徳的な内容の作品を著した作家、メアリ・マーサ・シャーウッドによる改作版（1822）を収録。

Craik, Dinah Mulock

*Bread upon the Waters; A Governess's Life*

London: Printed for the Governesses' Benevolent Institution, 1852 (Reprint, Leipzig, 1865), 99 pp

本作の表題は旧約聖書伝道の書の一節に由来し、「報酬を求めずに人に尽くす」の意で、大多数のガヴァネスが耐えた現実に忠実な結末を用意することにより、自己犠牲のもとに働くことの美徳を説く。著者はベストセラー *John Halifax, Gentleman* (1857) によって文学史に名をとどめる小説家。本作はガヴァネスへの経済的援助や年金制度の確立などを目的として設立されたガヴァネス援護協会 (Governesses' Benevolent Institution) の慈善活動の一環として書き下ろされた。



# ウィリアム・ホーン『英国歳時暦』【復刻版】全4巻

## The Every-Day Book By William Hone

底本：London: William Hone, 1826-1827

2013年11月刊行 1,716 p. + 白黒図版 320点 本体セット価 ¥98,000 (+税) ISBN 978-4-905211-04-4

19世紀前半の英国において、政治権力の乱用を激しく攻撃した急進的ジャーナリスト・風刺家であり、また出版の自由のために闘った気骨の書籍業者としても出版史にその名を残すウィリアム・ホーン（1780 - 1842）。彼が故事研究家・好古家としての知識を活用し、絵入り週刊紙として1825年から26年にかけて定期刊行、大衆に広く読まれることで彼自身を一躍有名にした本書は、暦書であり、また、詞華集であり、文芸書です。その内容は、一年を通じて各月・各日または季節ごとに、古代から伝わる古俗、慣習、行事、祝祭、娯楽、逸話、史実さらに文学作品の引用などを、G. クルックシャンクなどによる豊富でユーモアあふれる挿画と共に、紹介するものです。18世紀から20世紀まで、同趣向の書物は多数みられますが、本書は、英国文化史を語る際に、最も参照・引用された名著として、現在もその価値は不変といえます。年鑑としての再編集の際、各巻に巻末索引が付されています。

# 英国モダニズム文学に描かれた女性参政権 全6巻 Women's Suffrage Literature

【編集・解説】 Katharine Cockin, University of Hull, Glenda Norquay, Liverpool, John Moores University & Sowon Park, Corpus Christi College, Oxford University

2007年1月刊行 c. 2600pp. 本体セット価 ¥138,000- (+税) ISBN 978-4-86166-046-7

残部僅少

- 女性参政権運動が一般に広がった英国 20世紀初頭の文学、演劇作品集
- 6編の長編小説と雑誌などに発表された短編や戯曲など約 50 の作品を復刻集成
- 全ての作品を抜粋でなく全文掲載
- 女性参政権論者による作品だけでなく、反参政権側の作品も収録
- 女性作家の団体 = **Women Writers' Suffrage League** や、女優の団体 = **Actresses' Franchise League** など異なる立場の女性参政権運動団体にも配慮し、今日の研究に必要な作品を限りなく広く網羅
- モダニズムや自然主義の文学とフェミニズム、ジェンダー、政治問題との関係を探るためのまたとない一次資料集
- 各巻毎に編者による詳細な解題入り

# 英語教育 (ELT) と英語音声学 全6巻 Phonetics in English Language Teaching

編集・解説：Paul Carley, University of Bedfordshire

2016年1月刊行 約2,400頁 本体セット価 ¥138,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-189-1

- 相互に深く関係しながら発展した英語音声学と英語教育学 (ELT) の関する初の文献集成。
- Harold Palmer, C. K. Ogden, Edmund Tilley, H. A. Harman, L. Tibbitts, P. A. D. MacCarthy, J. D. O'Connor など主要英語教育学者、英語音声学者の19世紀前半の著述を中心に関連の学術論文約 50 点を復刻集成する。
- 小社の既刊 *English Phonetics: Twentieth Century Developments* (2013) と合わせ、計約 130 点の文献を集成する応用言語学、英語音声学、英語教育学、英語史研究の貴重な文献集成。

早稲田大学政治経済学部教授・慶應義塾大学名誉教授

# 坂本達哉英文著作集

## David Hume and Adam Smith, A Japanese Perspective

By Tatsuya Sakamoto

Foreword by Ryu Susato / 壽里 竜 (慶應義塾大学経済学部教授)

2020年10月刊行 全1巻 (B5判変・318頁) 本体価格9,800円 (+税) ISBN: 978-4-86166-221-8

『ヒュームの文明社会 勤労・知識・自由』(創文社1995年。1996年サントリー学芸賞、2001年日本学士院賞)、『ヒューム希望の懐疑主義ある社会科学の誕生』(慶應義塾大学出版会2011年)、『社会思想の歴史 マキアヴェリからロールズまで』(名古屋大学出版会2014年)等の著作で知られる、坂本達哉教授の初めての英文単著です。それまで二つの異なる側面として論じられることの多かった、ヒュームの経済学と社会思想を統合的にとらえた著者の研究は当初より国際的にも高く評価され、日本イギリス哲学会(2014-2016年会長)、社会思想史学会(2016-2019年代表幹事)、そして今なお唯一のアジアでの年次大会(東京大会2004年)開催に尽力した[国際]ヒューム学会など、坂本教授は国内外の学術団体に広く活動、今日もヒュームとアダム・スミス、啓蒙思想、社会思想史の研究に大きな役割を担っています。

1990年から2017年までに公刊された10点の学術論文を収録する本書は、40年近い著者の研究活動のなかで英文学術誌、英文論集に発表された7点(ヒューム、スミス研究の大家D.D.ラファエル教授との共著論文1点をふくむ)と、日本語による公刊論文から今回初めて英訳された3点の論文を収録、自身のヒューム研究を主題の時系列順に編集した第1部と、明治維新以来のスミス、ヒュームらの日本での受容を、福澤諭吉、内田義彦への影響を中心に論じた第2部からなります。すべての論文において最新の研究状況を反映する大幅な改訂、増補が行われており、一例としては、著者の問題提起による「ヒューム「初期草稿」論争」にさらなる一石を投じる内容ともなっています。

全体として本書は、ヒューム、スミスを中心とする国際的な研究動向に新たな展開を促し、大きな指針と刺激を与える注目の著作といえるでしょう。

新世代のヒューム研究を国際的にリードする壽里竜教授による解題(「前書き」)も必読です。

### CONTENTS

Preface / Acknowledgements/Abbreviations of David Hume's and Adam Smith's Writings

Foreword by Ryu Susato

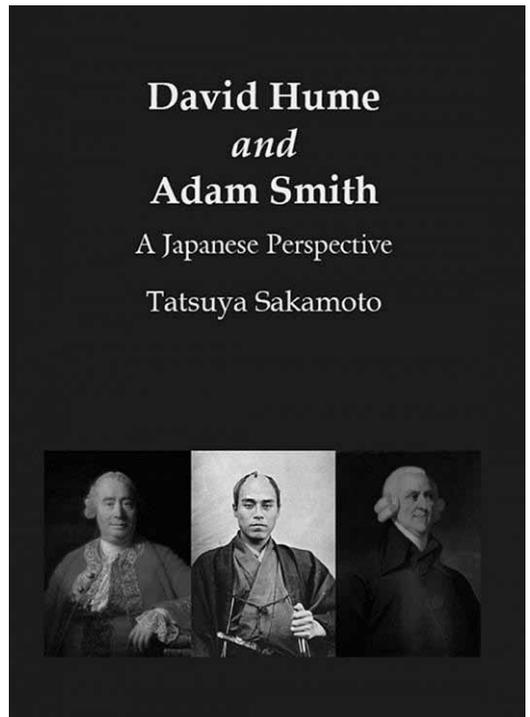
PART I: Hume's Economic Thought in Historical Contexts

1. Hume's Philosophical Economics / 2. The "Dominion of Learning" and the "Dominion of Conversation" in the Scottish Enlightenment / 3. Hume's Political Economy as a System of Manners / 4. Hume's "Early Memoranda" and the Making of His Political Economy / 5. Hume's Economic Theory / 6. Anonymous Writings of David Hume, co-authored with David D. Raphael / 7. The Ambivalence of the "Middle Station of Life" and Eighteenth-Century Civilized Society

PART II: Hume and Smith in Japan

8. Adam Smith and Yukichi Fukuzawa: A Tension Between "sympathy (共感)" and "independence and self-respect(独立自尊)" / 9. Adam Smith's Dialogue with Rousseau and Hume: Yoshihiko Uchida and the Birth of The Wealth of Nations / 10. Adam Smith's 'SYMPATHY' in Modern Japanese Perspectives

Bibliography / Name Index



# 経済学史研究と日本

—田中敏弘（関西学院大学名誉教授）英文論文集—

JAPAN AND THE STUDY OF THE HISTORY OF ECONOMIC THOUGHT

Collected English Essays by Toshihiro Tanaka, Professor Emeritus, Kwansei Gakuin University

【編・解説】井上琢智（関西学院大学元学長）

2020年3月刊行 A5判・上製（函入り）・280頁 本体価：13,800円（+税） ISBN: 978-4-86166-222-5

田中敏弘（関西学院大学名誉教授）が国内外の学会誌等に英文で発表された論文・記事27編の集成です。戦後若くして米国へ留学した著者は、コロンビア大学、シラキューズ大学で学び、修士号取得後帰国、その後関西学院大学で長く教鞭をとりました。その間、経済学部長、図書館長を歴任、同大学の経済学、経済学史教育、研究の発展に尽くすと同時に、経済学史関連の貴重文献、資料の収集にも精力的な活動をしました。学外でも経済学史学会やアメリカ経済学史研究会などの中心人物の一人として活躍、海外でもグラスゴウ大学やケンブリッジ大学での研究や吉林大学での教育、さらにオーストラリア経済学史学会設立の支援などにも尽力、経済学史研究の日本と海外の架け橋ともなりました。本英文論文集は、マンデヴィル、ヒューム研究から、著者が特に力をいれたJ. B. クラークを中心としたアメリカ経済学史研究、そして日本における経済学史研究を海外に紹介した雑誌記事など幅広く網羅し、編者による注釈、書誌解説が加えられます。

## CONTENTS:-

Introduction by Takutoshi Inoue

Part I: Bernard Mandeville

Mandeville and Smith — In Connection with Economic Theory / Mandeville and Keynes / Adam Smith's *Theory of Moral Sentiments* and Bernard Mandeville

Part II: David Hume

David Hume as an Economist/ Hume to Smith: An Unpublished Letter

Part III: J. B. Clark and American Economic Thought

The Economic Thought of J. B. Clark: An Interpretation of 'The Clark Problem' / J. B. Clark and Alfred Marshall: Some Unpublished Letters / Preface and Introductory essay to the Correspondence / In the Current of the Studies in the History of American Economic Thought / The Main Feature of *The Making of American Neoclassical Economics*

Part IV: The History of Economic Thoughts in Japan

The Society for the History of Economic Thought Japan (1981-1988) / Book Review: Recent Marshall Studies in Japan / Joseph Dorfman and the Studies in the History of American Economic Thought in Japan / Thorstein Veblen Studies in Japan: A bibliography / Preface of *Economic Thought and Modernization in Japan* / Australia and Japan and the Study of the History of Economic Thought / Professor Toshihiro Tanaka's words of remembrance for the late Professor Peter Groenewegen

Appendix. 1981 Inaugural Conference of the History of Economic Thought Society of Australia

Bibliographic Notes by Takutoshi Inoue

## ●田中敏弘さんの国際的視野から学ぶこと●

高 哲男（九州大学名誉教授）

本書は田中敏弘関西学院名誉教授が執筆されてきた英文論文の集成であるが、氏の研究分野と業績を貫いている大きな特徴は、独自の国際的な視野である。おそらくそれは、20世紀におけるアメリカ経済思想史研究をけん引したコロンビア大学のJ. ドーフマンの下で学び、練り上げてきた思想や方法、さらに、同窓の多くのアメリカ人研究者との交流の上に展開されたものである点で、実に貴重な類をみない仕事なのである。若いときにT. ヴェブレン研究に集中したドーフマン、壮年になってJ. B. クラーク研究に集中した田中という違いはある。だが、J. B. クラークは、現代アメリカ経済思想の形成・転換という奔流の中で苦闘しつづけた経済学者であった。しかもクラークには、ヒューム・スミスに始まる伝統的な自由競争重視の思想に対するアメリカ経済思想の運命的苦悩が貫いている。この点も含め、歴史的な制度や思想の転換・生成のプロセスを、マンデヴィル、ヒューム研究にも共通する、あくまでも原史料・資料に内在し、外国の研究者との交流・研究成果の発信をつうじて解明し続けた田中先生の業績から我々が学ぶことは、実に大きなものがある。広く推薦する次第である。

名古屋大学附属図書館蔵

# 『水田文庫貴重書目録』

The Mizuta Library of Rare Books in the History of European Social Thought: A Catalogue of the Collection Held at Nagoya University Library

【編者】中井えり子／【序】坂本達哉

2015年1月刊行 B5判・400頁上製 本体¥29,800- (+税) ISBN: 978-4-86166-191-4

発売元：(株)極東書店

- アダム・スミス研究で世界的に著名な水田洋（日本学士院会員、名古屋大学名誉教授）が長年にわたり収集
- ヨーロッパ啓蒙思想・社会思想史分野の世界有数の個人コレクション
- 現在、名古屋大学附属図書館所蔵の西洋古刊本の目録
- 幅広い著者の諸版本や各国語訳を収録

名古屋大学附属図書館が所蔵する水田洋旧蔵書は和洋の図書・雑誌 7100 冊余からなりますが、本書はその核をなす西洋古刊本の目録です。

アダム・スミスおよび西洋社会思想、啓蒙思想の研究者として世界的に知られる水田洋（日本学士院会員、名古屋大学名誉教授）が長年収集したこの古刊本コレクションは、2100 冊以上の洋書稀覯書（1850 年以前刊行本）からなり、ヨーロッパ啓蒙思想、社会思想史の個人コレクションとして世界有数のものとなります。Bodin、Lipsius、Hobbes など近世の思想家、Voltaire、Lord Kames、Smith、Priestley、Swift、Pufendorf などの啓蒙思想家、John Toland、Anthony Collins 等の理神論者、Coleridge、Madame de Stael、Chateaubriand、the Brothers Schlegel、Baader 等のロマン主義者など、幅広い著者の諸版本や各国語訳など貴重な文献が含まれます。

本蔵書目録の公刊と日本国内だけでなく世界各地の図書館への頒布は、戦後の西洋社会思想史研究の第一人者である水田氏の研究活動の基盤である文献収集の軌跡を通じ、現在この分野で世界トップレベルにある日本の研究の水準を海外に知らしめ、今後の日本と海外研究者間の相互研究の促進に役立てるものとなるでしょう

## ■目次■

- 1)List of the Plates
- 2)Foreword
- 3)Acknowledgements
- 4)Profile of Professor Hiroshi Mizuta
- 5)The Mizuta Library
- 6)Abbreviations
- 7)Catalogue of the Collection, Part I: Books
- 8)Catalogue of the Collection, Part II: Periodicals
- 9)Title Index



校訂版

# W・スタンレー・ジェヴォンズ選集 全2巻

W. Stanley Jevons

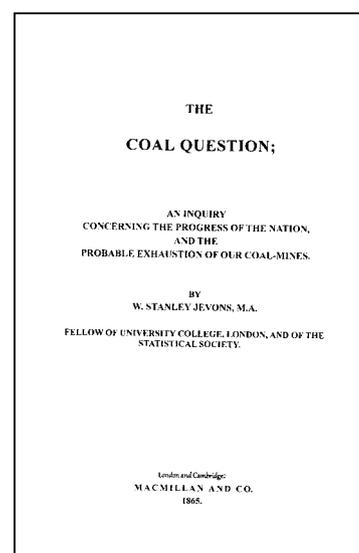
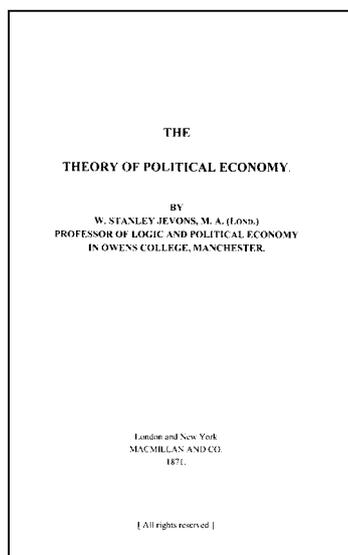
Selected Works in Variorum Editions in Two Volumes

【編集・解説】 井上琢智（元関西学院大学学長）

2018年11月刊行 B5判・総772頁 本体セット価：¥78,000-（+税） ISBN：978-4-86166-205-8

【国内総代理店】(株)極東書店

- 19世紀を代表する英国の近代経済学者の一人ウィリアム・スタンレー・ジェヴォンズ（William Stanley Jevons, 1835-1882）が生前に手を加え、版を重ねた経済学分野の主著2書『石炭問題』と『経済学理論』の初めての校訂版。
- 各初版を新組で収録し、死後に刊行された異版も含む、『石炭問題』第2～3版、『経済学理論』第2～5版およびブラック版との差異の詳細な比較対象を各章文末註に掲載。校訂注の数は4,700点近くにのぼり、全体の約半分のページがこれに割かれている。
- 各版の統計データや図表の変更なども可能な限り照合し、ジェヴォンズ生前の思考と著作活動の流れを明らかにする。
- 編者による序文、解説に加え、ジェヴォンズ没後のリプリント版などに加えられたジェヴォンズ研究者による重要な解説などの豊富な資料は合計31件の補遺として収録、さらに人名索引を各巻に収録し、加えて第II巻末には、ジェヴォンズの自然科学・論理学科学方法論等に関する論文・著作とその書評・翻訳、学会報告および追悼文を含む決定版ともいえる書誌を収録する。
- 今後のジェヴォンズ研究だけでなく、経済学史研究や英国19世紀経済史研究の指針ともなる重要文献。



## 推薦文 「独創的な経済学者ジェヴォンズ」

八木紀一郎（摂南大学学長・京都大学名誉教授）

ウィリアム・スタンレー・ジェヴォンズは19世紀半ばのイギリスにあらわれた天才の一人である。経済事情のため、学業半ばにしてオーストラリアに渡らなければならなかった青年は、試金技師としての業務のかたわら、その数理的素養を経済学に応用しはじめた。帰国後、当時支配的であった古典派経済学の教科書に不満をおぼえ、限界効用にもとづく価値論、あるいは「快樂と苦痛の微積分学」という自分のアイデアを論文にまとめた。彼は本著に収録されているこの論文を大英学術協会に送りその部会で読み上げさせたが、誰からも注目されなかった。1862年のことである。当時は、ジョン・スチュアート・ミルによって洗練された古典派経済学のもとで、価値の理論は完成したもののようと思われるのであった。その後数年して、気を取り直して『経済学理論』を執筆し、それを1871年に出版しなければ、彼は限界革命の「埋もれた先駆者」になっていたことであろう。

ジェヴォンズは思想から出発するのではなく、データのなかに問題を発見し、それを論理的あるいは数理的に取り扱うことで結論を引き出そうとする実際的な学者であった。思想家というよりも科学者であったと言ってもよい。イギリスの産業の支えであった石炭の枯渇可能性に注目し、当時可能なかぎりのデータにもとづいて警鐘を鳴らしたこと（『石炭問題』1865年）にも、その個性がよくあらわれている。

編者は英国および日本の経済学の文献に詳しい碩学である。30年以上前に『ジェヴォンズの思想と経済学—科学者から経済学者へ—』（1987年）を公刊し、欧米における研究と呼応して経済学史の研究領域をいわゆる「近代経済学」にまで広げることに貢献した。今回はジェヴォンズ若年の二著の版別の異同調査をおこなった集注版を刊行することで、海外も含めた後続する研究者に有益な研究ツールを提供した。古典派の衰退からアルフレッド・マーシャル『経済学原理』（1890年）の出現にいたる時代の英国経済思想の理解に資することは間違いない。

### CONTENTS:

Volume I: *The Coal Question, An Inquiry Concerning the Progress of the Nation, and the Probable Exhaustion of Our Coal-mines.* (Variorum edition based on the first edition in 1865 with editorial notes and appendixes.), approx. 405 pp.

W. Stanley Jevons (1835-1882) : From a Man of Science to an Economist, by Takutoshi Inoue

Headnote of *The Coal Question*, by Takutoshi Inoue

Textual Note of *The Coal Question*, by Takutoshi Inoue

Abbreviations

Acknowledgements

Introduction

Chapters I – XVII (Texts based on the first edition 1865 and end notes by Takutoshi Inoue)

Appendix I: Preface to the second edition

Appendix II: Index

Appendix III: Preface to the third edition

Appendix IV: Explanation of Plates

Appendix V: Name Index

Volume II: *The Theory of Political Economy* (Variorum edition based on the first edition in 1871 with editorial notes and appendixes.), approx. 380 pp.

Headnote of *The Theory of Political Economy*, by Takutoshi Inoue

Textual Note on *The Theory of Political Economy*, by Takutoshi Inoue

Preface and Introduction

Chapters I – VIII (Texts based on the first edition 1871 and end notes by Takutoshi Inoue)

Appendix I: Preface to the second edition

Appendix II: Logical Method of Economics

Appendix III: Disutility and Discommodity

Appendix IV: Theory of Dimensions of Economic Quantities

Appendix V: Popular Use of the Term Value

Appendix VI: Dimension of Value

Appendix VII: Analogy to the Theory of Lever

Appendix VIII: Negative and Zero Value

Appendix IX: Variation of the Price of Corn

Appendix X: Dimension of Labour

Appendix XI: Relations of Economic Quantities

Appendix XII: Joint Production

Appendix XIII: Dimension of Capital, Credit, and Debit

Appendix XIV: Dimension of Interest

Appendix XV: Peacock on the Dimension of Interest

Appendix XVI: List of Mathematico-Economic Writings

Appendix XVII: List of the Author's Economic Writings

Appendix XVIII: 'Notice of a General Mathematical Theory of Political Economy,' Report of British Association for the Advancement of Science, 1862 (1863), Notices and Abstracts of Miscellaneous Communications to the Section (Statistical Science), pp. 158-59.

Appendix XIX: 'Brief Account of a General Mathematical Theory of Political Economy,' Journal of the Statistical Society of London, vol. xxix (1866), pp. 282-87 (reprinted in the Theory of Political Economy, ed. by H. S. Jevons, 4th edition, 1911, Appendix III, pp. 303-14)

Appendix XX: 'Note by the Editor on the Author's Theory of Interest (Theory of Political Economy, ed. by H. S. Jevons, 4th edition, 1911, Appendix I, pp. 279-293)

Appendix XXI: A Fragment on Capital, Interested to form part of Chapter XXV, Author's Principles of Economics (Theory of Political Economy, ed. by H. S. Jevons, 4th edition, 1911, Appendix II, pp. 294-302)

Appendix XXII: Preface to the third edition by Harriet A. Jevons (1888, pp. li-lii.)

Appendix XXIII: Preface to the fourth edition by H. Stanley Jevons (1911, pp. lv-lix.)

Appendix XXIV: Preface to the fifth edition by H. Stanley Jevons (1957, pp. i-iii.)

Appendix XXV: Introduction and Notes to the Penguin Books's Edition by R. D. Collison Black (1970, pp. 7-39, 262-71.)

Appendix XXVI: Bibliographical List of W. S. Jevons's Writings, etc., by Takutoshi Inoue and Micheal V. White. With a list of the reviews and translations of his writings and obituaries of him, by Takutoshi Inoue

Appendix XXVII: Name Index

# J・S・ミル フランス日記

## 1820年5月～1821年7月

関西学院大学図書館所蔵未公刊日記手稿

ファクシミリ・リプリントおよび翻刻・注釈

【編集・解説】井上琢智（関西学院大学元学長）

### J. S. Mill's Journal and Notebooks of a Year in France, May 1820-July 1821:

A Complete Edition with A Facsimile Reprint of the Rediscovered  
Notebook of John Stuart Mill

in Kwansei Gakuin University and Transcribed Text, Annotation and  
Comparative Studies

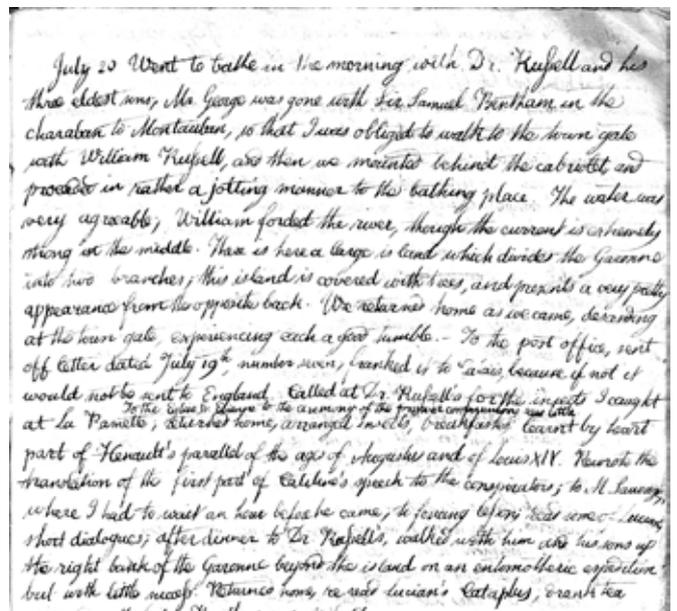


2014年1月刊行 A4判・総約300頁 本体価¥24,800- (+税) ISBN 978-4-86166-181-5

- 英国を代表する思想家、経済学者である John Stuart Mill が青年期に留学し、1年強を過ごしたフランスでの記録。
- ミルのフランス日記の原本はこれまで大英図書館とセント・アンドリュース大学所蔵の2種が知られ、これら2種のテキストはJ.S. ミル全集 *The Collected Works of John Stuart Mill* 中に翻刻収録されているが、本書はこれらとは異なる関西学院大学図書館所蔵の第3番目の原本をファクシミリ復刻。
- 合わせて、3種すべての原本のテキストを忠実に活字化し収録、詳しい注釈と3種のテキスト間の比較研究を加えている。
- 『J. S. ミル評伝』(A. ペイン著)に「... 最も重要な記録は彼が15世の時のフランス旅行」と記されるように、ジェレミー・ベンサム の指導を受け、ジャン＝バプチティスト・セイらから薫陶を受けたフランスでの経験は、若きミルの思想形成に最も重要な影響を与えたと言われている。
- 今回の日記完全版の公刊により、このミルのフランス時代の全貌が初めて明かされる。

#### ◆収録内容◆

- 1) Introduction
- 2) Editorial Notes and Acknowledgements
- 3) Facsimile Reproduction of the Notebook  
in Kwansei Gakuin University Library, 76 pp.
- 4) Transcribed Text of the Notebooks  
with Annotations, 220 pp.



▲ 手稿頁サンプル

# マルサス人口論の源泉

— 17-18 世紀文献復刻集成 — 全 6 巻 + 別冊

## Conceptual Origins of Malthus's 'Essay on Population'

【編集・解説】柳田芳伸（長崎県立大学） 2006 年 7 月刊行 本体セット¥118,000-（+税） ISBN 978-4-902454-14-7

- マルサスが『人口論』執筆の際、着想の源とした書物から、特に稀覯な諸著作を精選して収録
- 近年の人口政策問題の視点からも、活発に議論されるマルサス人口論の成立過程および史的背景の解説に不可欠な文献集成

### 【収録内容】

第 1 巻 ■ヘール『人類の原始的起源』

Mathew Hale, *The Primitive Origination of Mankind, considered & examined according to the Light of Nature* (1677) c.380pp.

第 2 巻 ■

アーサー・ヤング『北部旅行記』『東部旅行記』より（抜粋）

Arthur Young, *A Six Month's Tour through the North of England* (1770), Letter IV, XVI. 268 pp.

*The Farmer's Tour through the East of England* (1771), Letter IV. 67pp.

同『平易に述べられた食料不足問題と求済案』

*The Question of scarcity plainly stated and remedies considered* (1800), c.100 pp.

第 3 - 5 巻 ■タウンゼント『スペイン旅行記』

Joseph Townsend, *A Journey through Spain in the years 1786 and 1787* (1792), in 3 vols. vii,402 pp., iv,414 pp.,iv,356 pp.

第 6 巻 ■

ブルクナー『動物組織の理論』

John Brückner, *A Philosophical Survey of the Animal Creation* (1768), xxiv.,166pp.(Translation from French)

アンダーソン

『英国における現下の食料不足をもたらした諸事情の洞察』

James Anderson, *A Calm Investigation of the Circumstances that have led to the Present Scarcity of Grain in Britain* (1801), c.94 pp.

ブース『牧師 T. R. マルサスへの書簡』

David Booth, *A Letter to the Rev. T.R. Malthus, ...being an answer to the criticism, on Mr. Godwin's work on population, which was inserted in the LXXth number of the Edinburgh review: to which is added an examination of the censuses of Great Britain and Ireland.*(1823), iv,124 pp.

# 幕末・明治初期邦訳経済学書 全 7 巻

Western Economics in Meiji Japan: Collection of Early Japanese Translations, 1867-1880

【編集・解説】井上琢智（元関西学院大学学長）

2006 年 3 月刊行 A5 判・約 3000 頁 本体セット価¥138,000-（+税） ISBN 978-4-902454-09-3

残部僅少

- 明治期に西欧より導入された経済思想を、その主要邦訳書の系統的復刻によりたどる初めての試み
- 西洋経済学の名著の翻訳だけでなく、日本での経済学確立期に主要な役割を果たした文献やお雇い外国人の講義録の翻訳なども収録

### 【収録内容】

第 1 巻（約 300 頁）

解説 井上琢智、約 20 頁

○神田孝平重訳『経済小学』、1867 年

【（原書）Ellis, William: *Outlines of Social Economy*, 1846】

○小幡篤次郎訳述『生産道案内』、1870 年

【（原書）Whately, Richard: *Easy Lessons on Money Matters*, 1833】

第 2 巻（約 342 頁）

○福澤諭吉編纂『西洋事情外編』、1867 年

【（原書）Chambers, Willaim and Chambers, Robert (eds.): *Political Economy for Use in Schools, and for Private Instruction*, 1851】

第 3 巻（約 432 頁）

○何礼之訳『世渡りの杖——一名経済便蒙』、1872-74 年

【（原書）Wayland, Francis: *Elements of Political Economy*, 1873】（福澤諭吉）

第 4 巻（約 592 頁）

○永田健助訳述『宝氏経済学』、1877 年

【（原書）Fawcett, Millicent Garret: *Political Economy for Beginners*, 1870】（Francis Wayland）

第 5 巻（約 435 頁）

○永田健助編述『経済説略』、1879 年

【（原書）Fawcett, Millicent Garret: *Political Economy for Beginners*, 1870】

○堀越愛国訳『百科全書（経済論）』、1874 年

【（原書）Chambers, Willaim and Chambers, Robert (eds.): *Chambers's Information for the People*, 1833】

○大野直輔著『経済新話』、1877 年

【（原書）Cairnes, John Elliot: *Lectures on Political Economy*, University College】

○鬼頭悌次郎訳『経済叢書』第二号、1878 年

【（原書）Siebold, Heinrich Philipp Freiherr による未刊の講義録】（Millicent G. Fawcett）

第 6 - 7 巻（約 360・360 頁）

○川本清一訳『彼理氏著理財原論』、約 720 頁、1880 年

【（原書）Perry, Arthur Latham: *Elements of Political Economy*, 14th ed. 1867】

〈※本集成には原書（洋書）の復刻は含まれません〉

# 復刻シリーズ 西洋女性宣教師の語った日本

## Japan as Seen by Western Women in Christian Mission

英米プロテスタントの海外伝道事業が組織化されていった 19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて、多くの女性宣教師が日本含むアジア諸国へ派遣されてゆきます。彼女たちは、各地で男性宣教師とは異なる社会的役割をにない活動を行います。日本においてもミッション・スクールの設立や運営に深く関わり、日本・アジアでの女性教育の成立に大きく貢献したことが知られています。教育者でもあった女性宣教師の内には、宣教活動の記録と同時に滞在した日本の文化や生活を、女性ならではの視線で記述し残した者も多く、それらは今日、日本の近代キリスト教史の史料としてだけでなく、教育史、女性史など幅広い日本の近代化や西洋との文化交流史、そしてまたジェンダー研究、英米帝国史研究のための文献として読み直されつつあります。本シリーズでは第 1 回で英国人女性宣教師の著作を収録、第 2 回以降は米国人女性宣教師の著作を年代順に出版しています。



### 第 1 回配本

## 英国人女性宣教師の日本 全 5 巻+別冊解説

### Japan as Seen by British Women in Christian Mission

【監修・解説】並河葉子（神戸市外国語大学）

2009 年 11 月刊行 A5 判・約 2,250 頁 本体セット価 ¥118,000-（+税） ISBN 978-4-86166-115-0

#### 【収録内容】

VOLUME 1: (c. 410pp.)

PITMAN, Mrs. Emma Raymond, *Japan and Japanese - Extract from Central Africa, Japan and Fiji: A Story of Missionary Enterprise, Trials, and Triumphs*, pp.103-196, London : Hodder and Stoughton, 1882.

BUTLER, Annie R., *Stories about Japan*, London : Religious Tract Society, 1888.

WILSON-CARMICHAEL, Amy, *From Sunrise Land : Letters from Japan*, London : Marshall Bros., 1895, 195pp

VOLUME 2: (c. 500pp.)

PAGE, Jesse, *Japan: Its People and Missions*, London: S. W. Partridge, 1895.

AWDRY, Frances, *Daylight for Japan : The Story of Mission Work in the Land of the Rising Sun*, London : Bemrose & Sons, 1904.

VOLUME 3: (c. 525pp.)

FISHER, Gertrude Adams, *A Woman Alone in the Heart of Japan*, London : Sisley's, 1906.

ARNOLD, Miss Alfreda (comp.), *The Light of Japan, Church Work in the Dioceses of South Tokyo, Osaka and Kiushiu under the Church of England*, Hartford : Church Missions Publishing Co., 1906.

VOLUME 4: (c.500pp.)

ALLEN, Beatrice Julian, *Our Sister Beatrice : Recollections of Beatrice Julian Allen and Her Letters / collected by her sister Grace Grier...*, London : Longmans, Green & Co., 1907.

Bickersteth, Mrs. Edward, *Japan (Handbook of English Church Expansion Series)* London : A.R. Mowbray, 1908.

VOLUME 5: (c. 340pp.)

BALLARD, Susan, *Fairy Tales from Far Japan : translated from the Japanese; with a prefatory note by Mrs Isabella L. Bishop*, London : Religious Tract Society, 1898.

BALLARD, Susan, *Jottings from Japan*, Westminster: Society for the Propagation of the Gospel in Foreign Parts, 1912.

BALLARD, Susan, *More about Japan*, Westminster: Society for the Propagation of the Gospel in Foreign Parts, 1915.

#### 第 2 回●アメリカ人女性宣教師の日本 第 1 期：明治期編 13 タイトル・合本 5 巻+別冊解説

Japan as Seen by American Women in Christian Mission 1869-1910 【監修・解説】小檜山ルイ（東京女子大学教授）

2010 年 11 月刊行 A5 判・約 2,500 頁（図版白黒多数） 本体セット価 ¥128,000-（+税） ISBN: 978-4-86166-116-7

#### 第 3 回●アメリカ人女性宣教師の日本 第 2 期：大正・昭和初期編 14 タイトル・合本 5 巻+別冊解説

Japan as Seen by American Women in Christian Mission 1869-1910 【監修・解説】小檜山ルイ（東京女子大学教授）

2013 年 6 月刊行 A5 判・約 2,500 頁（図版白黒多数） 本体セット価 ¥128,000-（+税） ISBN: 978-4-86166-117-4



発行元: **Edition Synapse**

(エディション・シナプス)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-5-201

Tel: 03-6257-1030 Fax: 03-5521-0026 <http://www.aplink.co.jp/synapse>